

秋 田 市

『都市計画』および『バリアフリー』に関するアンケート調査 調 査 結 果 報 告 書

平成28年11月



秋 田 市

目 次

第 1 章 アンケート調査の概要等

1 調査の目的	3
2 調査項目	3
3 調査対象等	3
4 調査期間	4
5 調査方法	4
6 有効回答者数	4
7 集計等	4

第 2 章 調査結果の総括

第 1 節 都市計画について

1 居住地域の満足度等について	9
2 徒歩や自転車、自動車の交通環境	9
3 まちづくりの方針や土地利用の理解度	10
4 まちづくりへの住民参加	10
5 自由意見	10

第 2 節 バリアフリーについて

1 バリアフリー等の理解度	10
2 心のバリアフリーへの対応	11
3 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態	11
4 自由意見	11

第 3 節 都市計画に関する過年度調査との比較

1 居住地域の満足度等について	11
2 徒歩や自転車、自動車の交通環境	12
3 まちづくりへの住民参加	12

目 次

第 3 章 調査結果	
第 1 節 調査対象者の基本的属性について	
1 基本的属性	15
2 交通手段	20
第 2 節 都市計画について	
1 居住地域の満足度等について	24
2 徒歩や自転車、自動車の交通環境	56
3 まちづくりの方針や土地利用のルールを理解度	60
4 まちづくりへの住民参加	64
5 自由意見（都市計画の取組について）	70
第 3 節 バリアフリーについて	
1 バリアフリー等の内容の理解度	86
2 心のバリアフリーへの対応	88
3 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態	92
4 自由意見（バリアフリーの取組について）	94
第 4 章 都市計画に関する過年度調査との比較	
1 基本的属性	111
2 交通手段	114
3 居住地域の満足度等について	115
4 徒歩や自転車、自動車の交通環境	127
5 まちづくりへの住民参加	129
第 5 章 調査結果集計表	131
第 6 章 関係資料	143

第 1 章

アンケート調査の概要等

1 調査の目的

(1) 都市計画

第6次秋田市総合都市計画（平成23年3月策定）の中間評価とともに今後の施策の参考とするため、市民のまちづくりに対する満足度や意識等を把握する。

(2) バリアフリー

秋田市バリアフリー基本構想（平成23年6月策定）の中間評価とともに今後の施策の参考とするため、市民の心のバリアフリーに対する意識等を把握する。

2 調査項目

(1) 共通事項

調査対象者の基本的属性

(2) 都市計画

- ア 居住地域の満足度等について
- イ 徒歩や自転車、自動車の交通環境
- ウ まちづくりの方針や土地利用のルールを理解度
- エ まちづくりへの住民参加
- オ 自由意見（都市計画の取組について）

(3) バリアフリー

- ア バリアフリー等の内容の理解度
- イ 心のバリアフリーへの対応
- ウ 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態
- エ 自由意見（バリアフリーの取組について）

3 調査対象等

(1) 調査対象

秋田市内に居住する20歳以上の市民

(2) 標本の大きさ

項目	設計値	調査結果
母集団の大きさ N	267,952	267,952
要求精度 e	0.05	0.0463
信頼率 a	0.95	0.95
母比率 P	0.50	0.50
係数 k	1.96	1.96
標本の大きさ n	384	448

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{k}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$
$$n \geq \frac{267,952}{\left(\frac{0.05}{1.96}\right)^2 \frac{267,952-1}{0.5(1-0.5)} + 1}$$

(3) 調査人数

1, 000人

※ 標本の大きさ(n=384)と、過去の類似調査の回収率(40%程度)を踏まえ、 $384 \div 0.4 = 960 \div 1,000$ とした。

(4) 抽出方法

無作為抽出(男女・地域・10歳階級別の人口比による抽出)

区分	男							女							総数
	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	
20～29歳	12	16	5	8	14	1	2	13	15	7	9	14	1	2	119
30～39歳	20	16	9	13	20	2	1	20	16	9	13	19	2	1	161
40～49歳	20	13	8	12	18	2	1	20	14	9	14	19	2	1	153
50～59歳	19	16	9	13	22	3	2	20	18	10	14	24	3	2	175
60～69歳	17	16	10	12	22	3	2	20	18	11	14	25	3	2	175
70歳以上	18	16	10	11	22	4	3	29	26	15	17	36	6	4	217
計	106	93	51	69	118	15	11	122	107	61	81	137	17	12	1,000

4 調査期間

平成28年6月17日(金)から同年7月1日(金)まで

5 調査方法

郵送調査法による無記名アンケート

6 有効回答者数

448人(回収率44.8%)

7 集計等

(1) 集計

- ・都市計画に関する集計は、単純集計(以下「全体集計」という。)のほか、年代別、地域別のクロス集計を基本に行う。
- ・問9の「地域の生活環境の満足度」については、満足度グラフ(重要度×満足度)を作成する。
- ・バリアフリーに関する集計は、市内全域を対象にした設問のため、全体集計を基本とし、問20の「バリアフリー等の言葉の意味」の質問のみ、年代別のクロス集計を行う。
- ・「第4章 都市計画に関する過年度調査との比較」については、無回答を除いた集計を行う。

(2) レポート

- ・レポートは設問ごとに作成することとし、掲載のグラフとともに、傾向分析の結果を記載する。
- ・問9の「地域の生活環境の満足度」の各項目の記述については、「満足」「やや満足」を“満足”、「不満」「やや不満」を“不満”と定義し、それぞれの合計値によって整理する。
- ・傾向分析の記述については、紙面の構成上、制約があるため、語句を簡略化又は省略化して記載する場合がある。

(3) その他

- ・集計結果のパーセント値は、すべて小数第2位以下を四捨五入しているため、択一回答の構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答による設問の全体集計については、選択肢の回答数と回答者数の比率でグラフを作成する。クロス集計については、選択肢の回答数と回答総数の比でグラフを作成する。
- ・雄和地域は、回収数が少なく、回収率も他の地域と比較して低いことから、レポートにおける地域別のクロス集計に関する記述は行わない。

第 2 章
調 査 結 果 の 総 括

第1節 都市計画について

1 居住地域の満足度等について

(1) 居住地域の満足度

- ・全体の評価は、「普通」とする割合が約半数で最も高くなっている。「満足」の割合は約3割で、不満は1割台半ばとなっている。
- ・満足度が高い項目は、「緑の豊かさ」「上・下水道の整備状況」「小・中学校の近さ」「日常の買物の便利さ」「自然景観の美しさ」となっている。
- ・満足度が低い項目は、「電車・バスの便利さ」「福祉施設の近さ」「文化・スポーツ施設の近さ」「親子で利用しやすい施設の近さ」となっている。
- ・重要度が高い項目は、「医療施設の近さ」「道路などの歩きやすさ」「生活道路の整備」「まちなみの美しさ」「日常の買物の便利さ」となっている。
- ・重要度が高いとされながら満足度が低い項目は「道路などの歩きやすさ」となっている。

(2) 地域で問題となっている土地・建物

- ・地域で問題となっている土地・建物は、「特にない」が最も高く、次いで「空き家」「空き地」の順となっている。

(3) 現在の地域に対する居住意向

- ・現在の地域に対する居住意向は、不便かそうでないかは別に「現在の地域に住み続けたい」とする割合は7割を超えている。その傾向は年代が上がるにつれて高くなり、地域では「西部地域」で高くなっている。

(4) 住み替える場合に希望する地域のイメージ

- ・住み替えを希望する地域のイメージは、「商店や病院など生活利便施設がある地域」が半数を超え、次いで「鉄道やバスなどを利用しやすい地域」となっている。

2 徒歩や自転車、自動車の交通環境

(1) 徒歩や自転車の利用に際しての改善点

- ・徒歩や自転車の利用に際しての改善点で割合が高い項目は、「除雪」「路面の凹凸、段差」「歩道の広さ」「自転車のマナー」となっている。

(2) 自動車の利用に際しての改善点

- ・自動車の利用に際しての改善点で割合が高い項目は、「除雪」「住宅地の道路」「交通渋滞」「駐車場」となっている。

3 まちづくりの方針や土地利用の理解度

(1) 秋田市のまちづくりの方針

- ・まちづくりの方針について、「知らない」「言葉を聞いたことはあるが、その内容はわからなかった」とする人は、8割を超えている。

(2) 秋田市の土地利用のルール

- ・土地利用のルールについて、「知らない」「知っているが内容はわからない」とする人は、8割を超えている。

4 まちづくりへの住民参加

(1) まちづくり活動への参加状況

- ・まちづくり活動への参加状況は、「町内会、自治会の活動」「参加していない」とする割合がそれぞれ半数近くになっている。

(2) まちづくり活動への参加意向

- ・今後のまちづくり活動への参加は、「町内会、自治会」が半数を超え、「参加したくない」は、2割台半ばとなっている。

(3) まちづくりを進める上で、市民として大切だと思うこと

- ・「自分の住んでいる地域に関心を持つこと」が約8割を占めている。

5 自由意見

- ・都市計画に関する自由意見が多かったのは、「道路の整備や管理に関すること」「外旭川地区の大型複合商業施設構想に関すること」「バス交通に関すること」「秋田駅周辺のまちづくりに関すること」「中心市街地の活性化に関すること」「コンパクトシティに関すること」となっている。

第2節 バリアフリーについて

1 バリアフリー等の理解度

- ・“バリアフリー”を「知っており、大体説明できる」とする人は7割を超えている。
- ・“ユニバーサルデザイン”は、言葉だけの認知度は半数を超えているものの、内容の認知度は約2割となっている。
- ・“ノーマライゼーション”は、「知らない」とする人が6割を超え、内容の認知度は1割代半ばとなっている。

2 心のバリアフリーへの対応

- ・困っている人を見かけ、「手助けした」とする人の割合は7割を超えている。
- ・手助けの内容で多かったのは、「扉を開けたり閉めたりした」「道や場所を教えた」「乗り物で席を譲った」となっている。
- ・手助けしない理由で多かったのは、「手助けしていいものなのか分からなかった」「自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった」「急いでいた」となっている。
- ・手助けする行動を促進させる取組で多かったのは、「学校教育での指導」「児童生徒と高齢者や障がい者との交流」「ボランティアの育成」「広報やポスターなどによる啓発活動」となっている。

3 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態

- ・車いす駐車スペースの利用状況について、約6割の人が、一般車の利用が見受けられると回答している。
- ・多目的トイレの利用状況については、約6割の人が、歩行困難な人の利用の妨げにはなっていないと回答している。

4 自由意見

- ・バリアフリーに関する自由意見で多かったのは、「心のバリアフリーに関すること」「道路整備に関すること」となっている。

第3節 都市計画に関する過年度調査との比較

1 居住地域の満足度等について

(1) 地域の満足度

- ・全18項目中、前回調査より満足度が上昇したのは12項目となっている。
- ・低下がみられた6項目は、「生活道路の整備状況」「交通渋滞の状況」「上水道・下水道の整備状況」「小・中学校の近さ」「保育園・幼稚園の近さ」「医療機関の近さ」であるが、課題とするまでの開差はない。
- ・満足度が最も上昇したのは「まちなみの美しさ」で、次いで「自然景観の美しさ」となっている。

(2) 地域で問題となっている土地・建物

- ・地域で問題となっている土地・建物については、「特になし」の割合が低くなり、「空き地」「空き家」の割合が高くなった。

(3) 現在の地域に対する居住意向

- ・現在の地域に対する居住意向については、「不便を感じてないので住み続けたい」の割合が低くなり、「不便は感じているが住み続けたい」の割合が高くなった。

(4) 住み替える場合に希望する地域のイメージ

- ・住み替え先の地域に希望する地域のイメージについては、「鉄道やバスなどを利用しやすい地域」の割合が高くなり、「通勤・通学の場所に近い地域」の割合が低くなった。

2 徒歩や自転車、自動車の交通環境

(1) 徒歩や自転車の利用に際しての改善点

- ・徒歩や自転車の利用に際しての改善点で、割合が高くなったのは、「除雪」「路面の凹凸、段差」「自転車のマナー」となっている。
- ・割合が低くなったのは、「歩道の設置」「歩道の広さ」「駐輪できる場所」となっている。

(2) 自動車の利用に際しての改善点

- ・自動車の利用についての改善点で、割合が高くなったのは、「除雪」「住宅地の道路」「交通渋滞」「交通安全施設」となっている。
- ・割合が低くなったのは、「駐車場」「幹線道路」となっている。

3 まちづくりへの住民参加

(1) まちづくり活動への参加意向

- ・まちづくり活動への参加意向で、割合が高くなったのは、「町内会、自治会」となっている。
- ・割合が低くなったのは、「ボランティア組織」「NPO」「参加したくない」となっている。

(2) まちづくりを進める中で、市民として大切だと思うこと

- ・まちづくりを進める上で市民の役割として大切だと思うことで、割合が高くなったのは、「町内会や自治会などで地域活動を行うこと」となっている。
- ・割合が低くなったのは、「周辺の環境に調和した住宅づくりや緑化など、自分のできることから始めること」となっている。

第 3 章
調 查 結 果

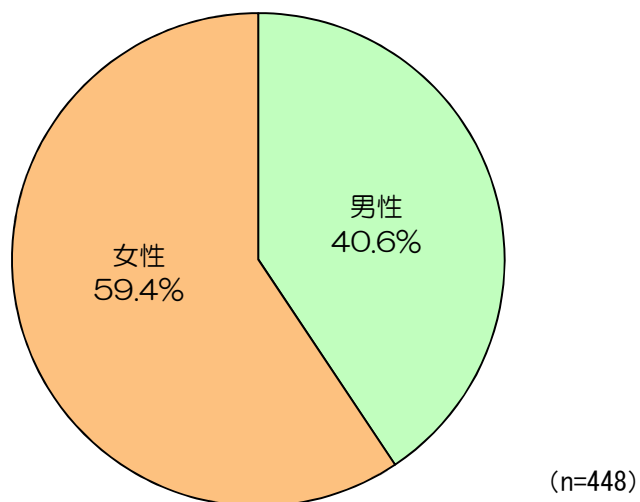
第1節 調査対象者の基本的属性について

1 基本的属性

(1) 性別

- 性別ごとの回答者の割合は、「男性」が40.6%、「女性」が59.4%であった。
- 配布数の割合と比較すると、「女性」からの回答が多く得られたという結果になった。

問1 あなたの「性別」をお答えください。(1つだけ選択)

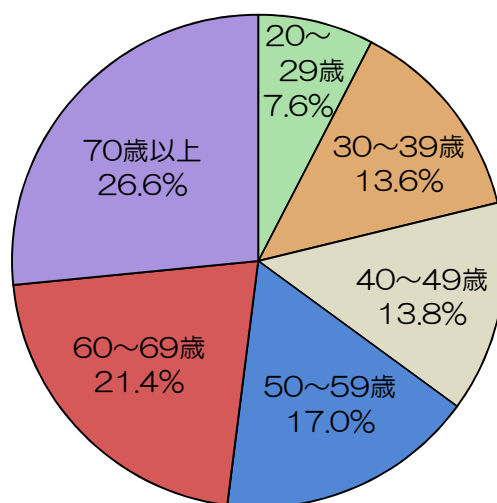


	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
男性	463	46.3%	182	40.6%	39.3%
女性	537	53.7%	266	59.4%	49.5%
計	1,000	100.0%	448	100.0%	44.8%

(2) 年齢

- 年齢別の回答者の割合は、「70歳以上」が26.6%と最も高く、次いで「60～69歳（21.4%）」「50～59歳（17.0%）」の順になっている。
- 配布数の割合と比較すると、年代が上がるにつれて回収率が高くなっていく。

問2 あなたの「年齢区分」をお答えください。（1つだけ選択）



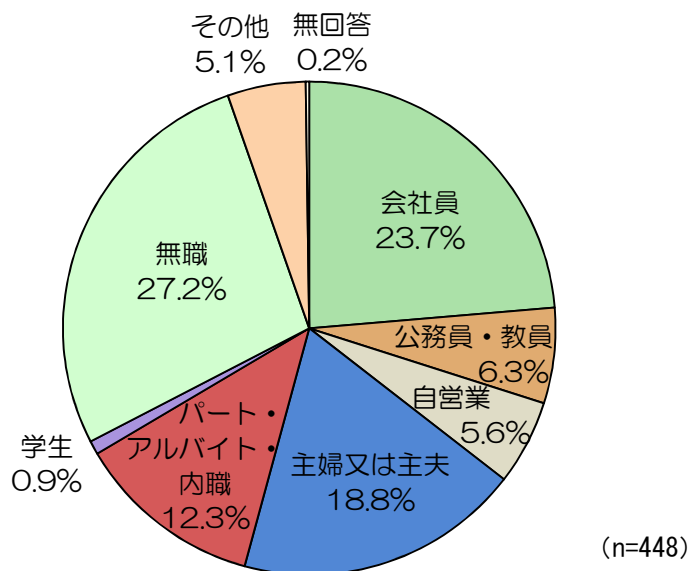
(n=448)

	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
20～29歳	119	11.9%	34	7.6%	28.6%
30～39歳	161	16.1%	61	13.6%	37.9%
40～49歳	153	15.3%	62	13.8%	40.5%
50～59歳	175	17.5%	76	17.0%	43.4%
60～69歳	175	17.5%	96	21.4%	54.9%
70歳以上	217	21.7%	119	26.6%	54.8%
計	1,000	100.0%	448	100.0%	44.8%

(3) 職業

- 職業別の回答者の割合は、「無職」が27.2%と最も高く、次いで「会社員（23.7%）」「主婦又は主夫（18.8%）」の順になっている。

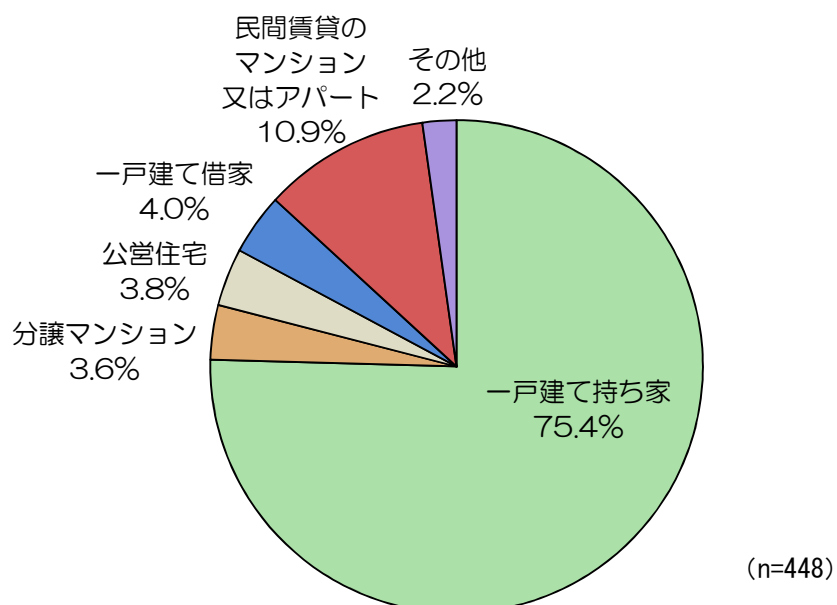
問3 あなたの「職業（主なもの）」をお答えください。（1つだけ選択）



(4) 居住形態

- 居住形態別の回答者の割合は、「一戸建て持ち家」が75.4%と最も高く、次いで「民間賃貸のマンション又はアパート（10.9%）」となっている。

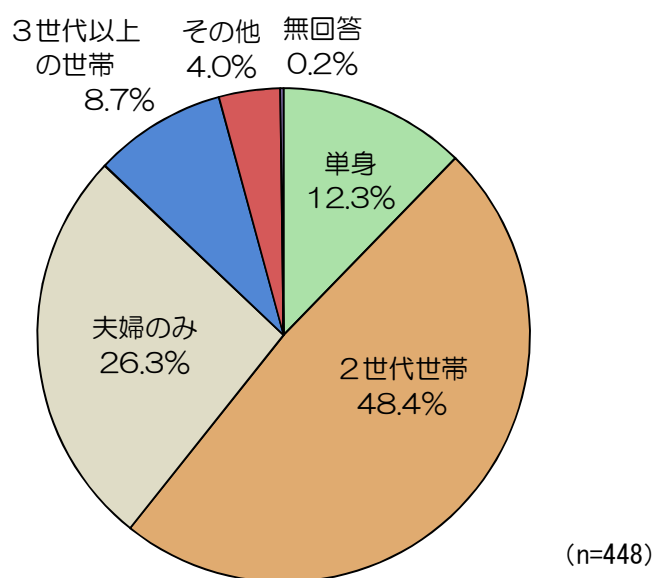
問4 あなたの「お住まい」の形態をお答えください。（1つだけ選択）



(5) 家族構成

- 家族構成別の回答者の割合は、「2世代世帯」が48.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ (26.3%)」「単身 (12.3%)」の順となっている。

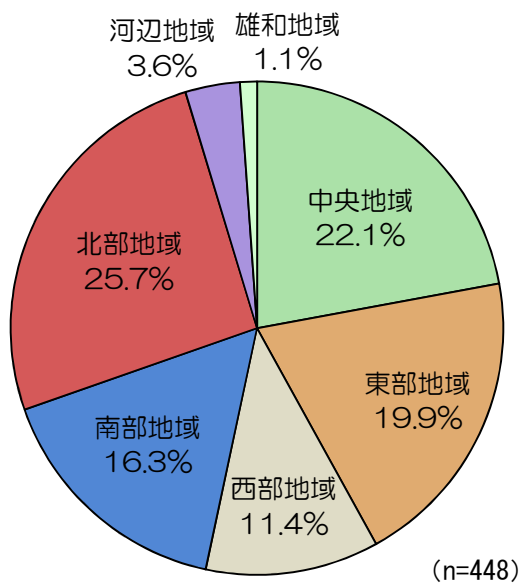
問5 あなたの「家族構成」をお答えください。(1つだけ選択)



(6) 居住地域

- 居住地域別の回答者の割合は、雄和地域を除き、各地域の配布枚数の割合とほぼ同じになっている。

問6 あなたの「お住まいの地域」をお答えください。(1つだけ選択)



中央地域	大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉 (JR線西側)、千秋、中通、南通、檜山、茨島、八橋
東部地域	東通、手形、手形(字)、手形山、泉 (JR線東側)、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別、広面、柳田、横森、桜、桜力丘、桜台、大平台、下北手、太平
西部地域	新屋、勝平、浜田、豊岩、下浜、向浜
南部地域	牛島東、牛島西、牛島南、卸町、大住、仁井田、御野場、御所野、四ツ小屋、上北手、山手台
北部地域	寺内、外旭川、土崎港中央、土崎港東、土崎港西、土崎港南、土崎港北、左記以外の土崎港、将軍野東、将軍野南、左記以外の将軍野、港北、飯島、金足、下新城、上新城
河辺地域	河辺
雄和地域	雄和

	配布数		回収数		回収率 (B/A)
	実数(A)	割合	実数(B)	割合	
中央地域	228	22.8%	99	22.1%	43.4%
東部地域	200	20.0%	89	19.9%	44.5%
西部地域	112	11.2%	51	11.4%	45.5%
南部地域	150	15.0%	73	16.3%	48.7%
北部地域	255	25.5%	115	25.7%	45.1%
河辺地域	32	3.2%	16	3.6%	50.0%
雄和地域	23	2.3%	5	1.1%	21.7%
計	1,000	100.0%	448	100.0%	44.8%

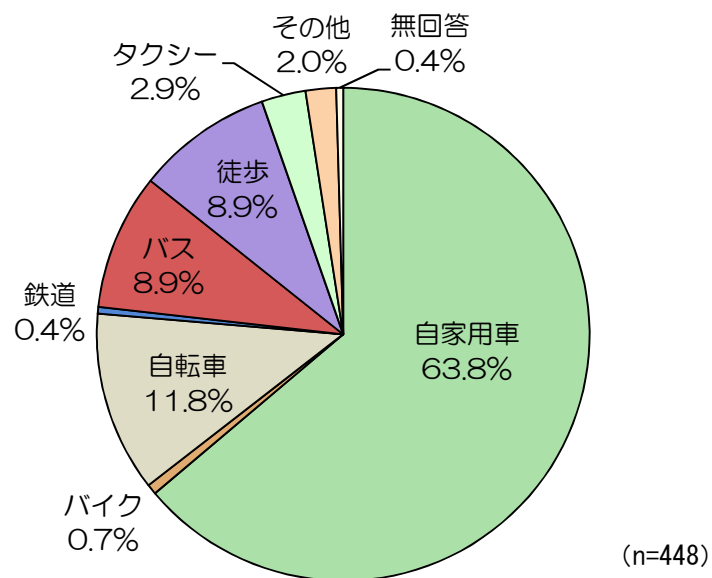
2 交通手段

(1) 交通手段（平日）

ア 全体集計

- 平日の交通手段の割合は、「自家用車」が63.8%と最も高く、次いで「自転車（11.8%）」「バス（8.9%）」「徒歩（8.9%）」の順となっている。

問7 あなたの「平日の主な交通(移動)手段」をお答えください。(1つだけ選択)

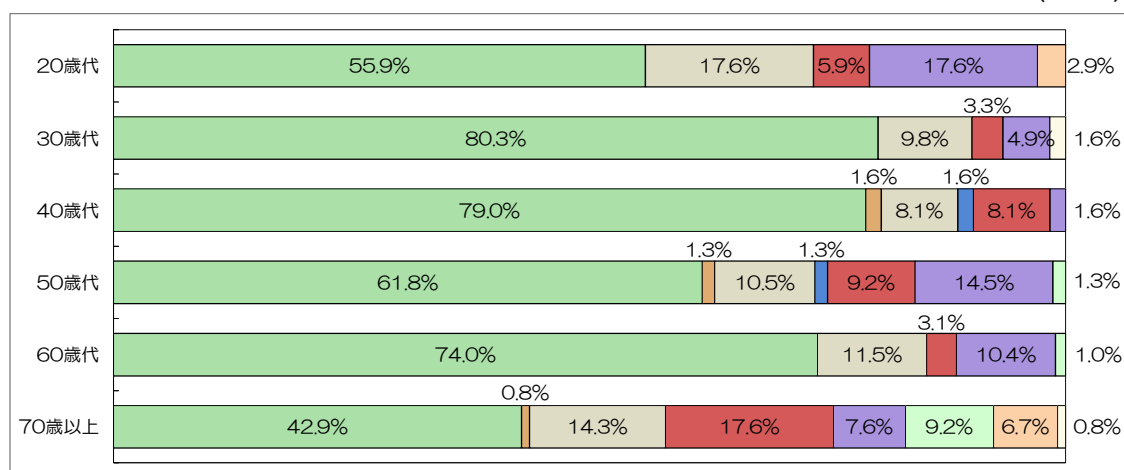


イ 「交通手段（平日）×年代」および「交通手段（平日）×居住地域」のクロス集計

- 年代別では、すべての年代で「自家用車」の割合が高く、「30 歳代（80.3%）」「40 歳代（79.0%）」「60 歳代（74.0%）」は際だって高くなっている。一方で、「20 歳代」「50 歳代」「70 歳以上」は、自家用車の割合が高いものの、他の年代と比較して、「20 歳代」は「自転車（17.6%）」と「徒歩（17.6%）」、「50 歳代」は「バス（9.2%）」「徒歩（14.5%）」、「70 歳以上」は「自転車（14.3%）」と「バス（17.6%）」が高くなっている。
- 地域別では、すべての地域で「自家用車」の割合が高くなっているが、「中央地域」は「自家用車（53.5%）」の割合が他の地域に比較して低く、その分「徒歩（18.2%）」の割合が高くなっている。「バス」は、「東部地域」「北部地域」の利用割合が高く 1 割を超えている。

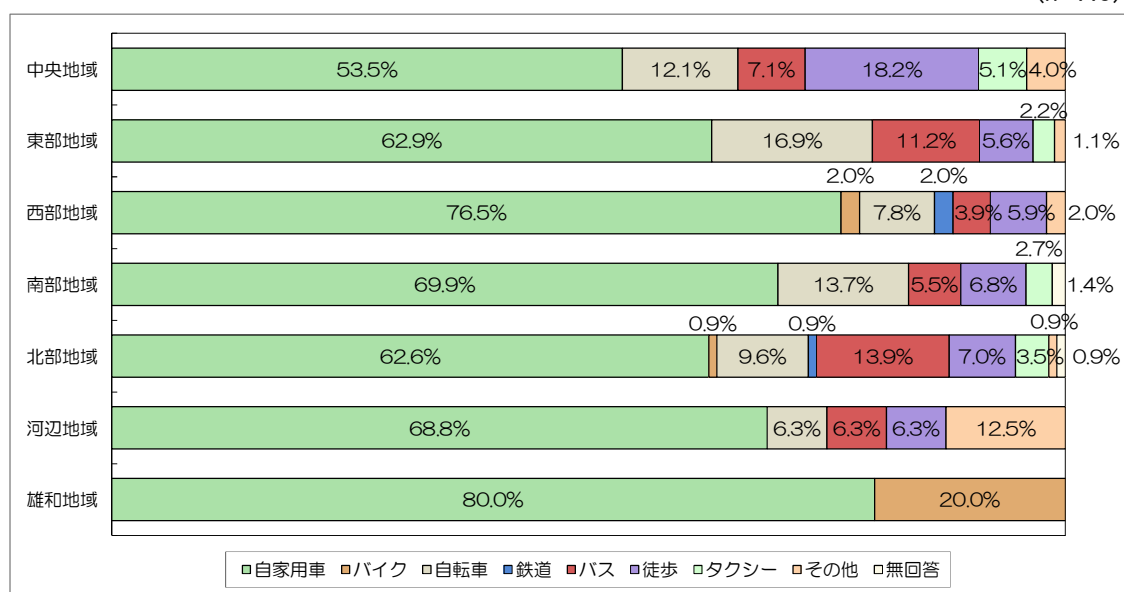
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

(n=448)

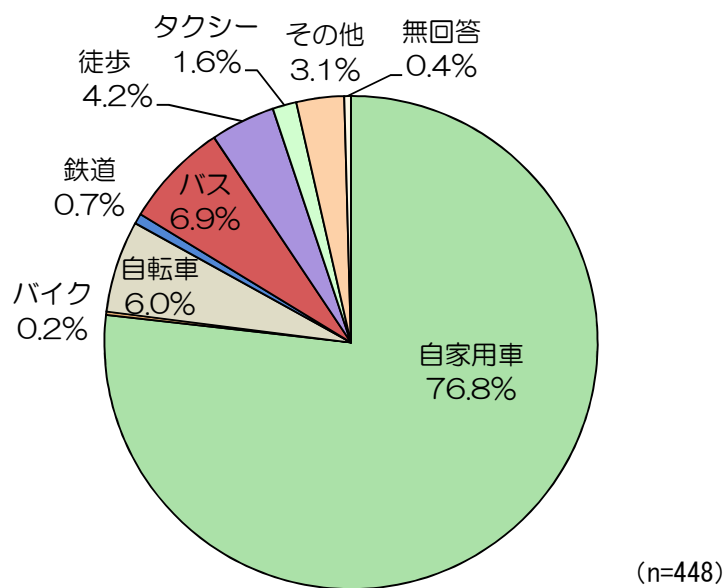


(2) 交通手段（休日）

ア 全体集計

- 休日の交通手段の割合は、「自家用車」が76.8%と大多数を占めている。

問8 あなたの「休日の主な交通(移動)手段」をお答えください。(1つだけ選択)

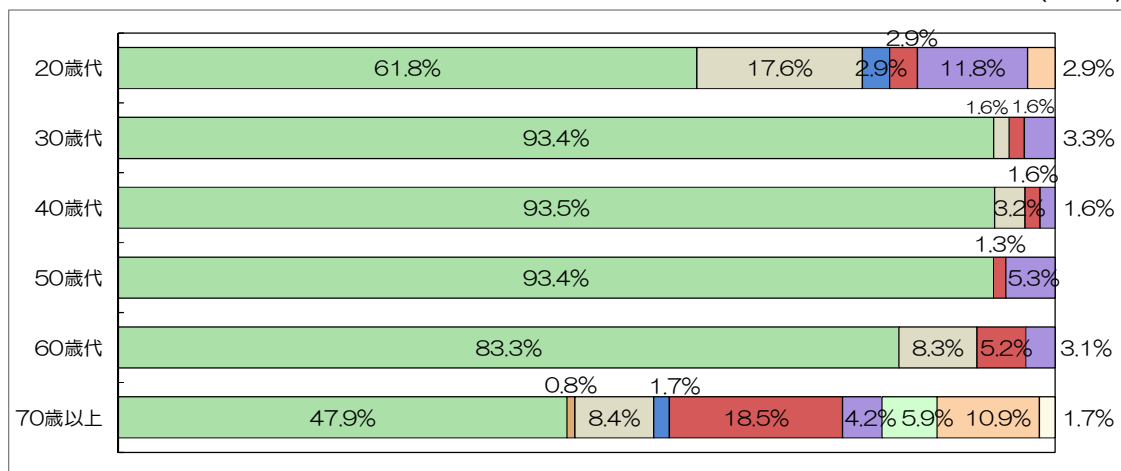


イ 「交通手段（休日）×年代」および「交通手段（休日）×居住地域」のクロス集計

- 年代別に見ると、すべての年代で「自家用車」の割合が高く、「30歳代」「40歳代」「50歳代」は9割を超えている。一方で、「20歳代」「70歳以上」は、自家用車の割合が高いものの、上記の年代と比較して、「20歳代」は「自転車（17.6%）」と「徒歩（11.8%）」、「70歳以上」は「バス（18.5%）」が高くなっている。
- 地域別に見ると、すべての地域で「自家用車」の割合が高く、7割～8割を占めている。

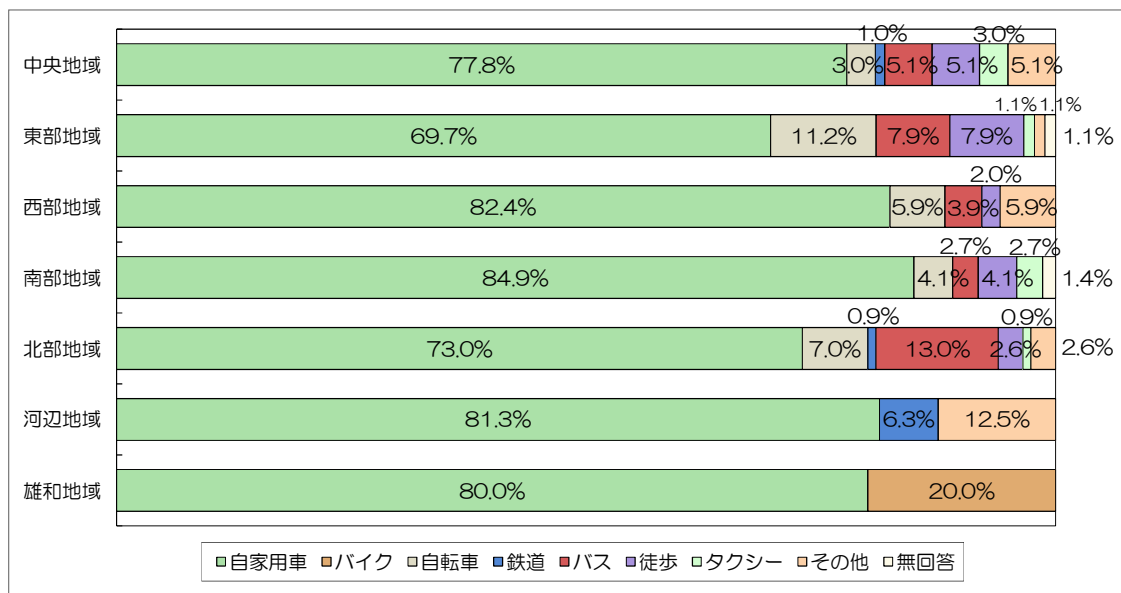
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

(n=448)



■自家用車 ■バイク □自転車 ■鉄道 ■バス ■徒歩 □タクシー □その他 □無回答

第2節 都市計画について

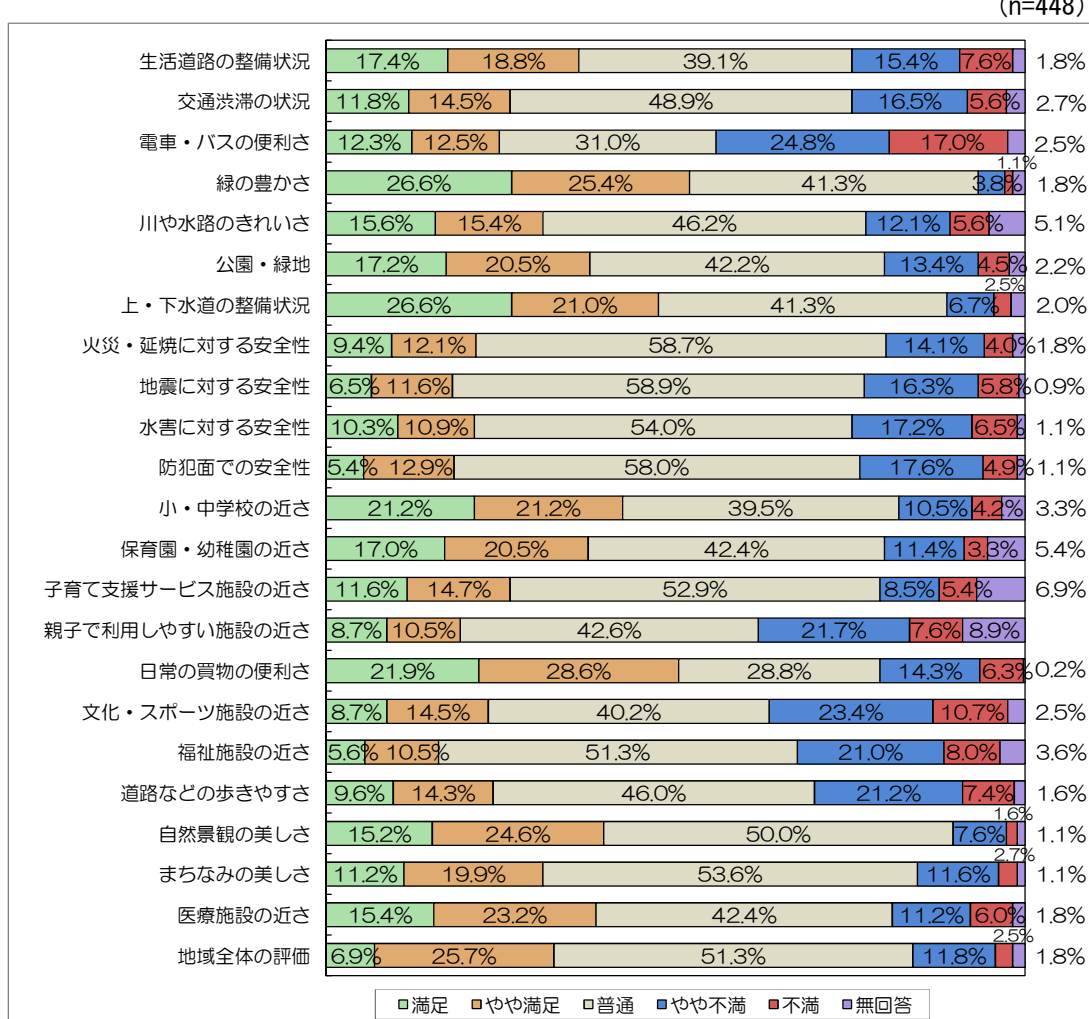
1 居住地域の満足度等について

(1) 地域の満足度

ア 全体集計

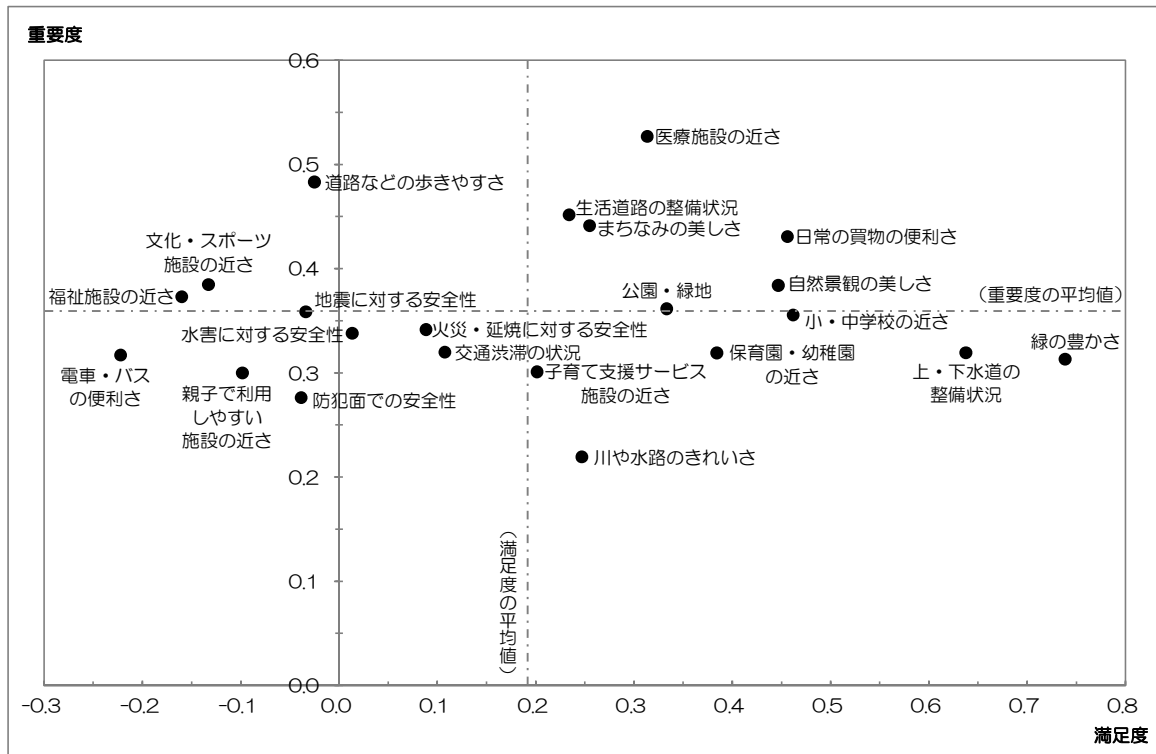
- 「地域全体の評価（グラフの最下段）」は、「普通」が51.3%で最も高くなっている。「満足」「やや満足」は32.6%で、「不満」「やや不満」(14.3%)を18.3^{ポイント}上回っている。
- 「満足」「やや満足」で高い項目は、順に「緑の豊かさ(52.0%)」「日常の買物の便利さ(50.5%)」「上・下水道の整備状況(47.6%)」「小・中学校の近さ(42.4%)」「自然景観の美しさ(39.8%)」「医療施設の近さ(38.6%)」「公園・緑地(37.7%)」となっている。
- 「不満」「やや不満」で高い項目は、順に「電車・バスの便利さ(41.8%)」「文化・スポーツ施設の近さ(34.1%)」「親子で利用しやすい施設の近さ(29.3%)」「福祉施設の近さ(29.0%)」「道路などの歩きやすさ(28.6%)」となっている。

問9 現在、あなたが住んでいる地域の生活環境の満足度を項目ごとにお聞きします。(項目ごとに1つだけ選択)



イ 地域の満足度×重要度

- 重要度では、「医療施設の近さ」が最も高く、次いで「道路などの歩きやすさ」「生活道路の整備状況」「まちなみの美しさ」「日常の買物の便利さ」の順となっている。
- 上記項目の満足度については、おおむね平均値以上となっているが、「道路などの歩きやすさ」は、負の値となっており、今後、重点的な取り組みが必要だといえる。



項目	加重平均値	相関係数
生活道路の整備状況	0.23	0.452
交通渋滞の状況	0.11	0.320
電車・バスの便利さ	-0.22	0.317
緑の豊かさ	0.74	0.313
川や水路のきれいさ	0.25	0.219
公園・緑地	0.33	0.361
上・下水道の整備状況	0.64	0.319
火災・延焼に対する安全性	0.09	0.341
地震に対する安全性	-0.03	0.359
水害に対する安全性	0.01	0.338
防犯面での安全性	-0.04	0.276
小・中学校の近さ	0.46	0.355
保育園・幼稚園の近さ	0.38	0.319
子育て支援サービス施設の近さ	0.20	0.301
親子で利用しやすい施設の近さ	-0.10	0.300
日常の買物の便利さ	0.46	0.431
文化・スポーツ施設の近さ	-0.13	0.385
福祉施設の近さ	-0.16	0.373
道路などの歩きやすさ	-0.02	0.483
自然景観の美しさ	0.45	0.384
まちなみの美しさ	0.26	0.441
医療施設の近さ	0.31	0.527
平均	0.19	0.360

※上記グラフの「満足度」は、各項目で得た選択肢の回答を加重平均により数値化した。また、「重要度」は、各項目と「地域全体の評価」の2変数間の相関係数とした。

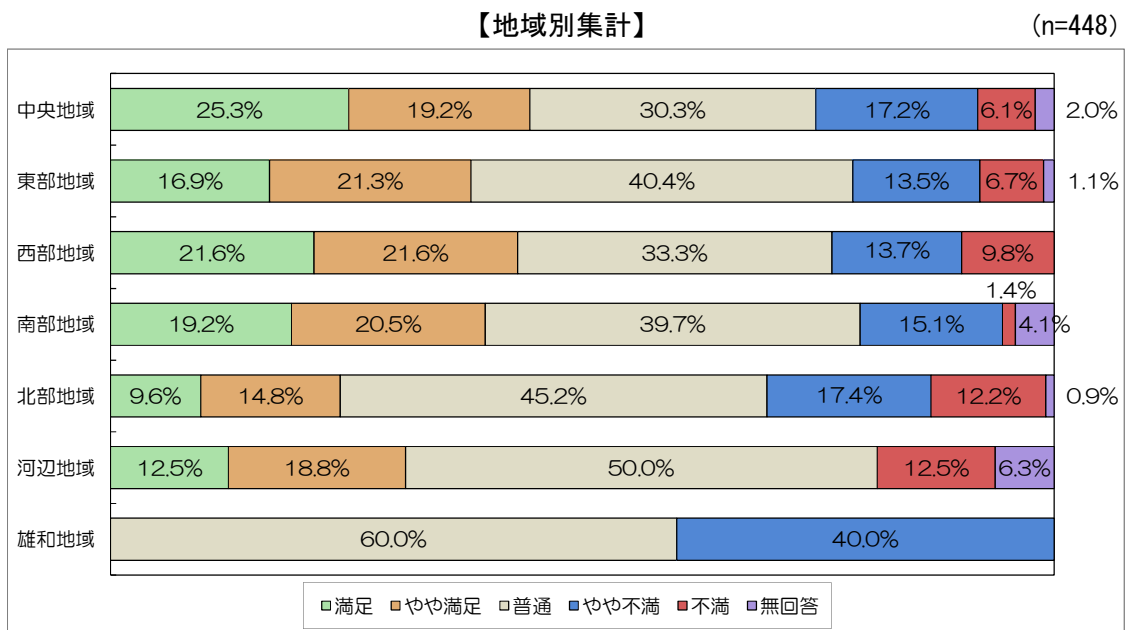
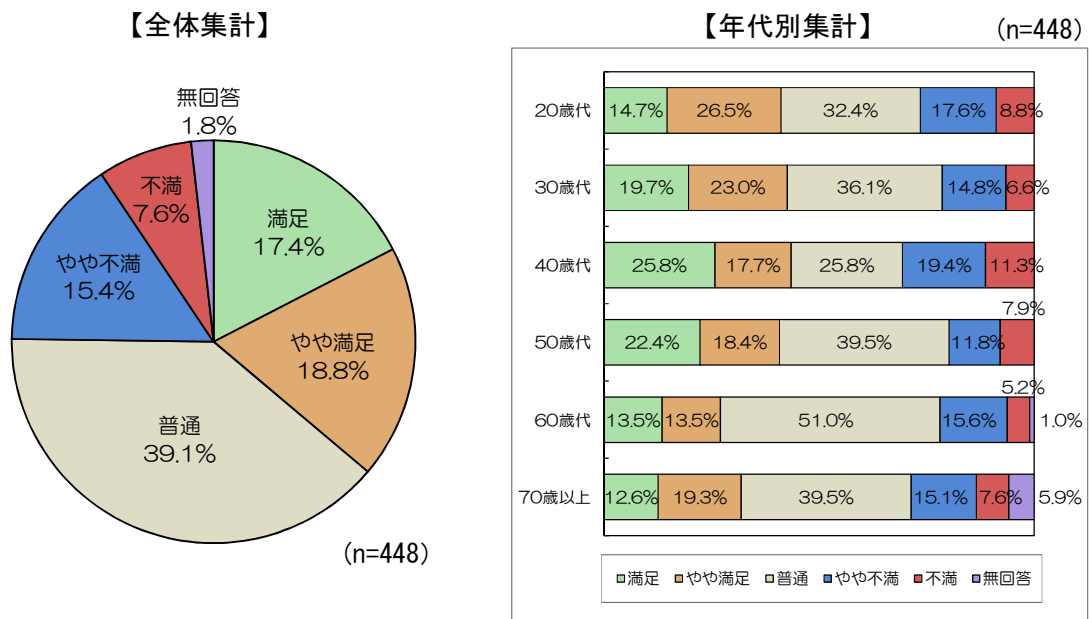
【加重平均の算出方法】

[満足×2 + やや満足×1 + 普通×0 + やや不満×(-1) + 不満×(-2)]
 / 選択者数

ウ 「地域の満足度×年代」および「地域の満足度×居住地域」のクロス集計

(7) 生活道路の整備状況

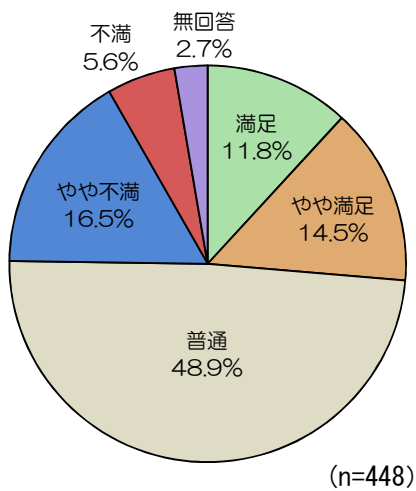
- 全体では、「満足」「やや満足」が36.2%、「普通」が39.1%、「不満」「やや不満」が23.0%となっている。
- 年代別では、年代が上がるにつれて「満足」「やや満足」の割合が減少する傾向がみられる。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(44.5%)」「東部地域(38.2%)」「西部地域(43.2%)」「南部地域(39.7%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「北部地域(24.4%)」「河辺地域(31.3%)」となっている。



(イ) 交通渋滞の状況

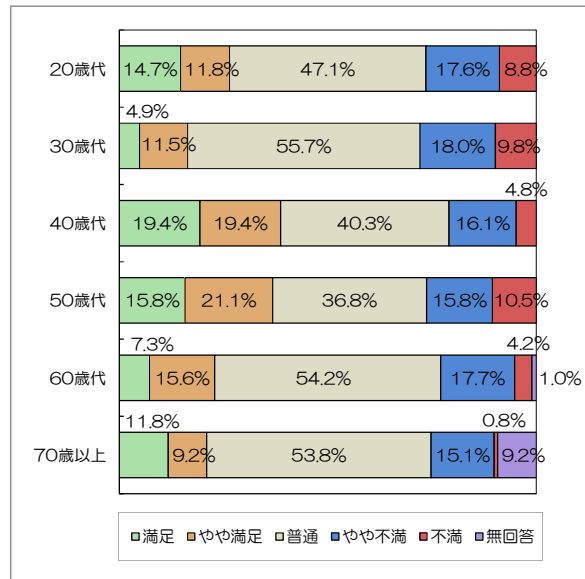
- 全体では、「満足」「やや満足」が26.3%、「普通」が48.9%、「不満」「やや不満」が22.1%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40歳代(38.8%)」「50歳代(36.9%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(37.4%)」「河辺地域(37.5%)」となっている。一方で、割合が低いのは「東部地域(20.2%)」「北部地域(19.1%)」となっている。

【全体集計】



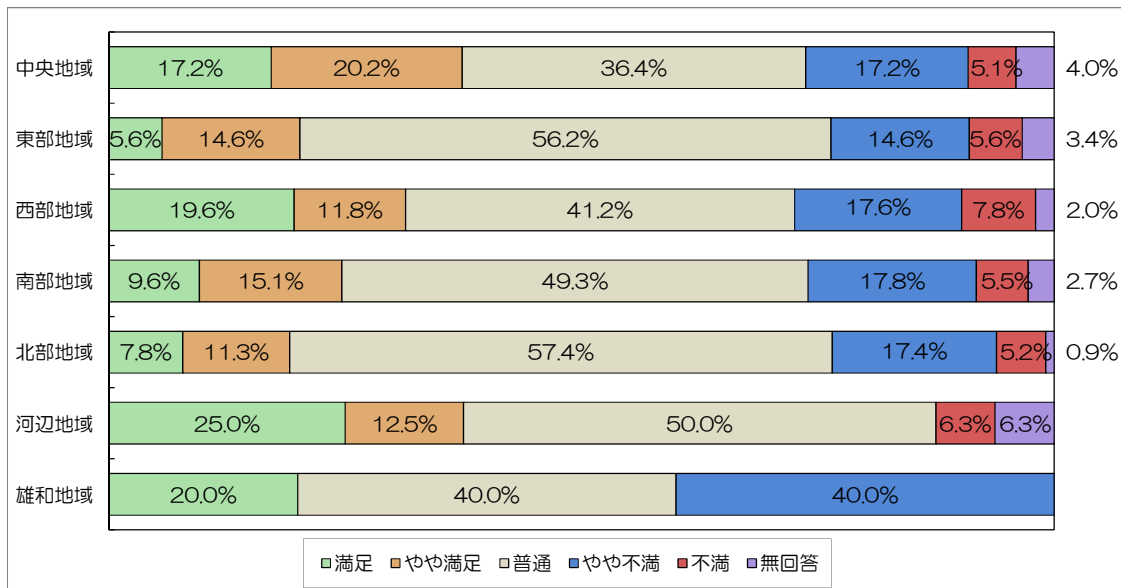
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

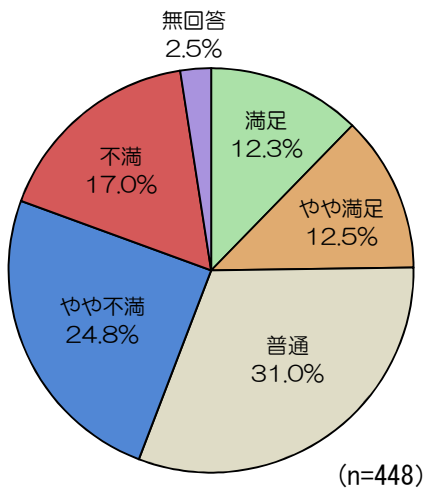
(n=448)



(ウ) 電車・バスの便利さ

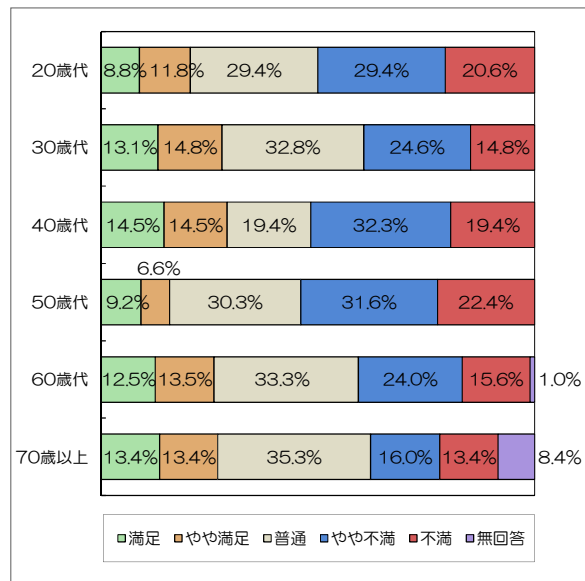
- 全体では、「満足」「やや満足」が24.8%、「普通」が31.0%、「不満」「やや不満」が41.8%となっている。
- 年代別で、「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「20歳代(50.0%)」「40歳代(51.7%)」「50歳代(54.0%)」となっている。
- 地域別で、「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「南部地域(57.5%)」「河辺地域(50.1%)」となっている。

【全体集計】



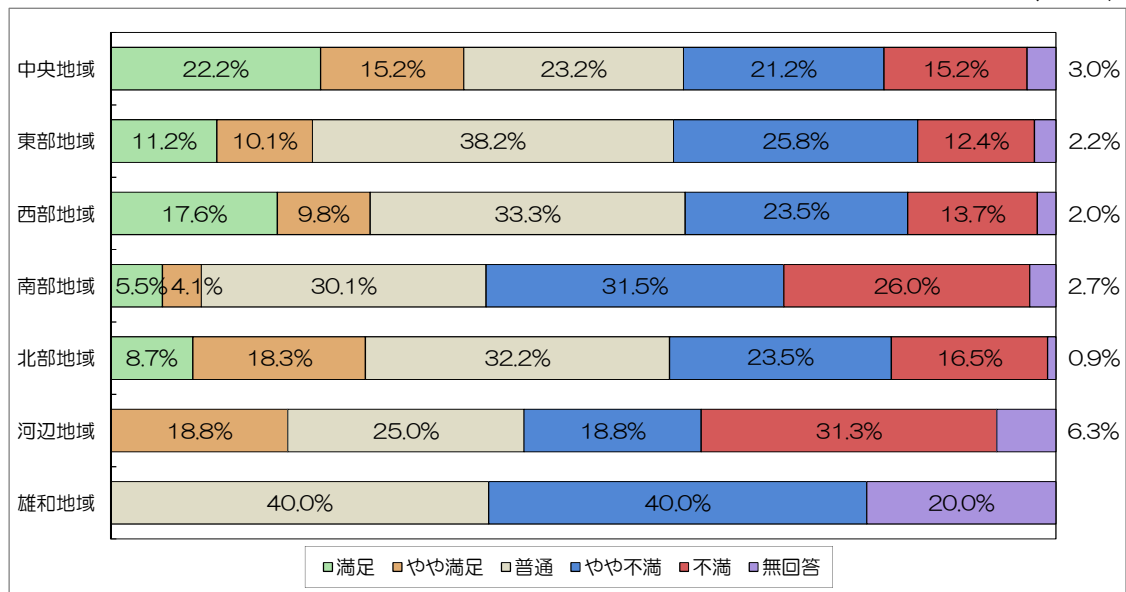
【年代別集計】

(n=448)



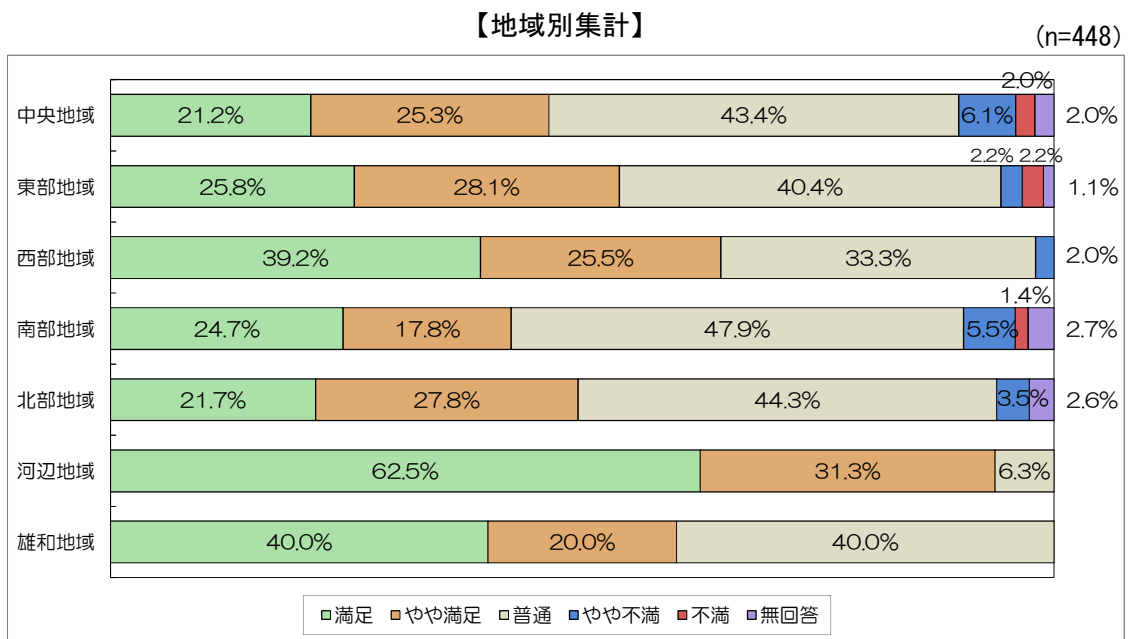
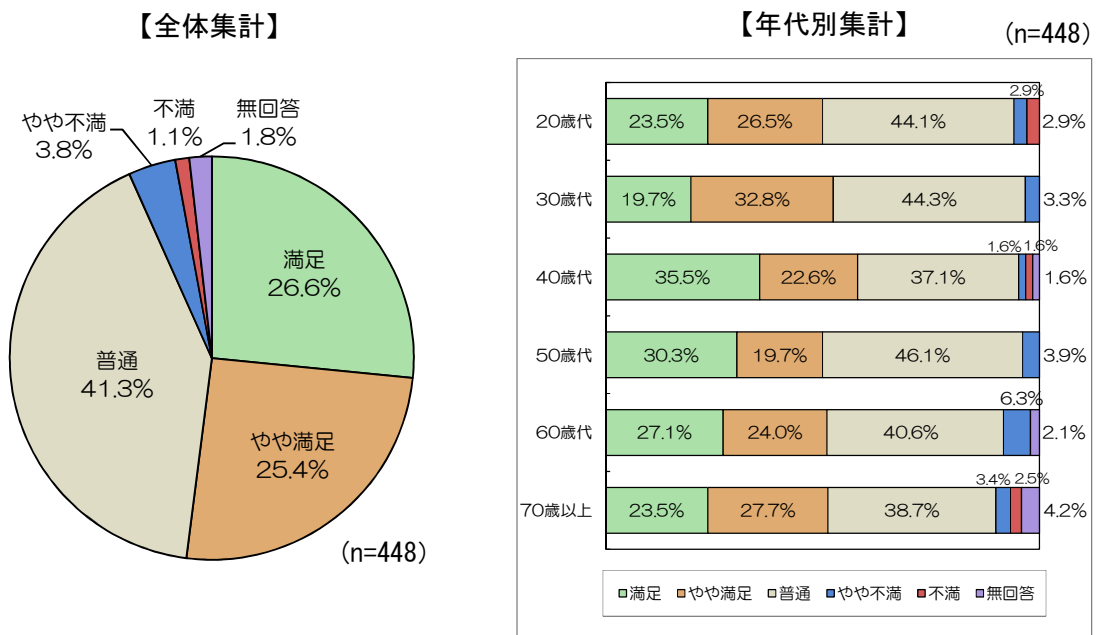
【地域別集計】

(n=448)



(I) 緑の豊かさ

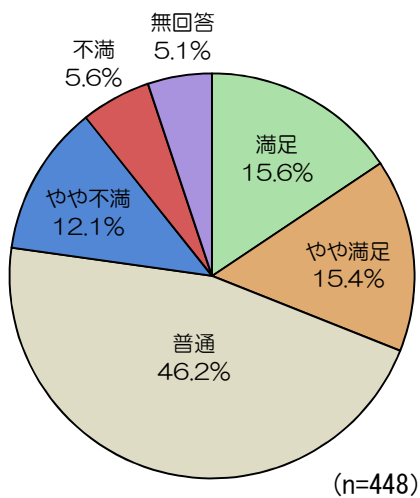
- 全体では、「満足」「やや満足」が52.0%、「普通」が41.3%、「不満」「やや不満」が4.9%となっている。
- 年代別は、各年代とも上記区分の割合とほぼ同じで、大きな差はみられない。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「西部地域(64.7%)」「河辺地域(93.8%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「南部地域(42.5%)」となっている。



(オ) 川や水路のきれいさ

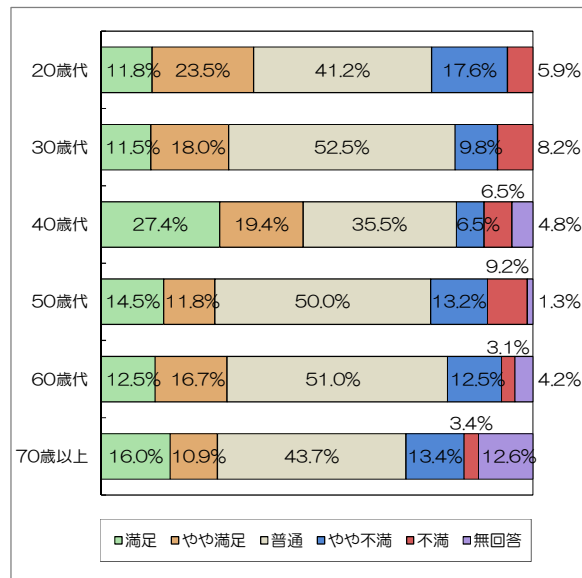
- 全体では、「満足」「やや満足」が31.0%、「普通」が46.2%、「不満」「やや不満」が17.7%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40歳代(46.8%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「西部地域(47.1%)」「河辺地域(75.1%)」となっている。

【全体集計】



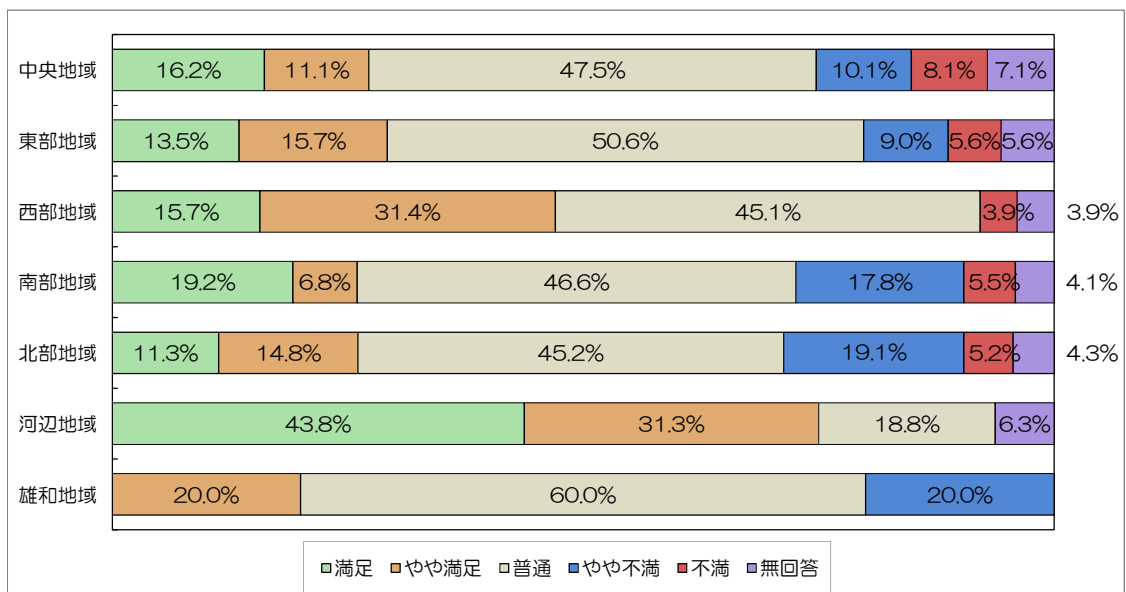
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

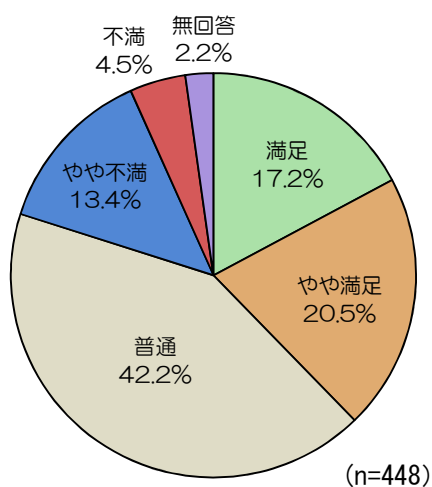
(n=448)



(カ) 公園・緑地

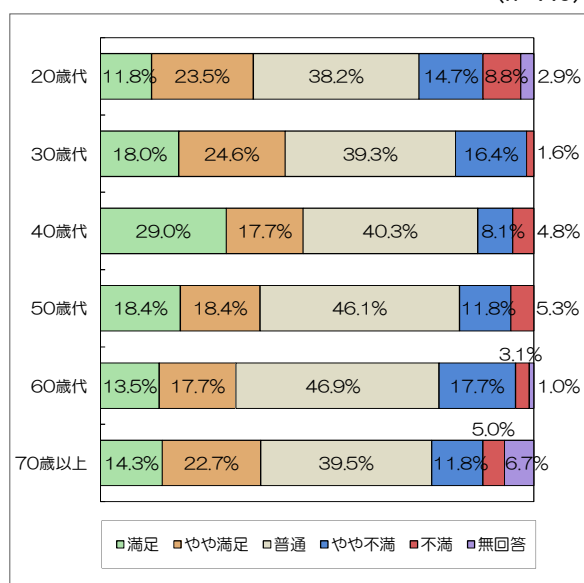
- 全体では、「満足」「やや満足」が37.7%、「普通」が42.2%、「不満」「やや不満」が17.9%となっている。
- 年代別は、各年代とも割合に大きな差はみられないが、その中で、「満足」「やや満足」の割合が低いのは、「60歳代(31.2%)」となっている。
- 地域別は、各地域とも割合に大きな差はみられないが、その中で、「満足」「やや満足」の割合が低いのは、「北部地域(31.3%)」となっている。

【全体集計】



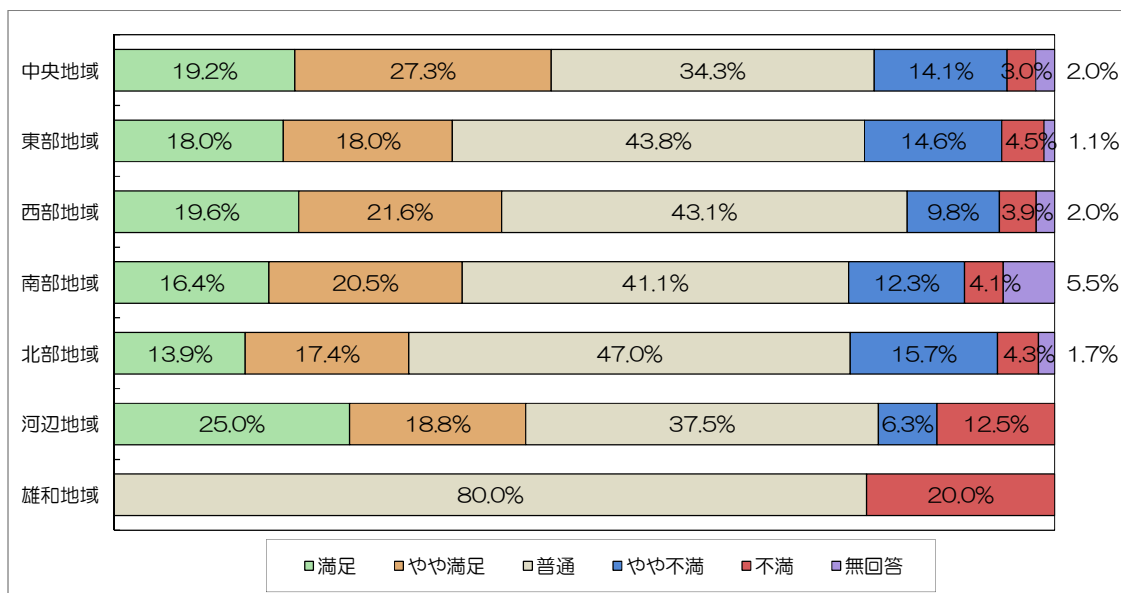
【年代別集計】

(n=448)



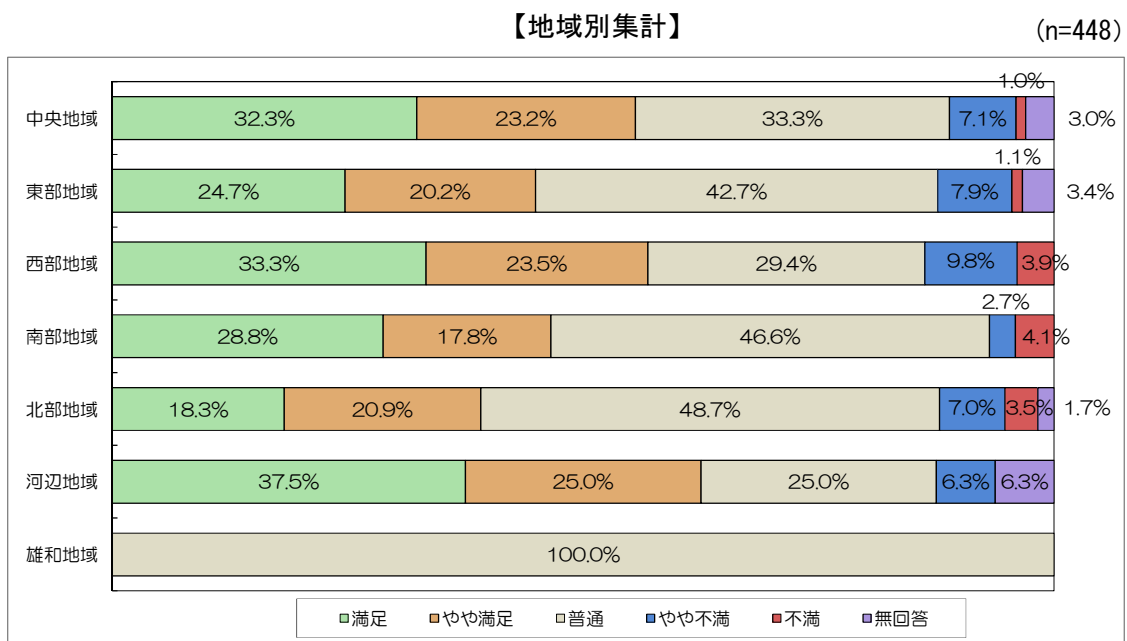
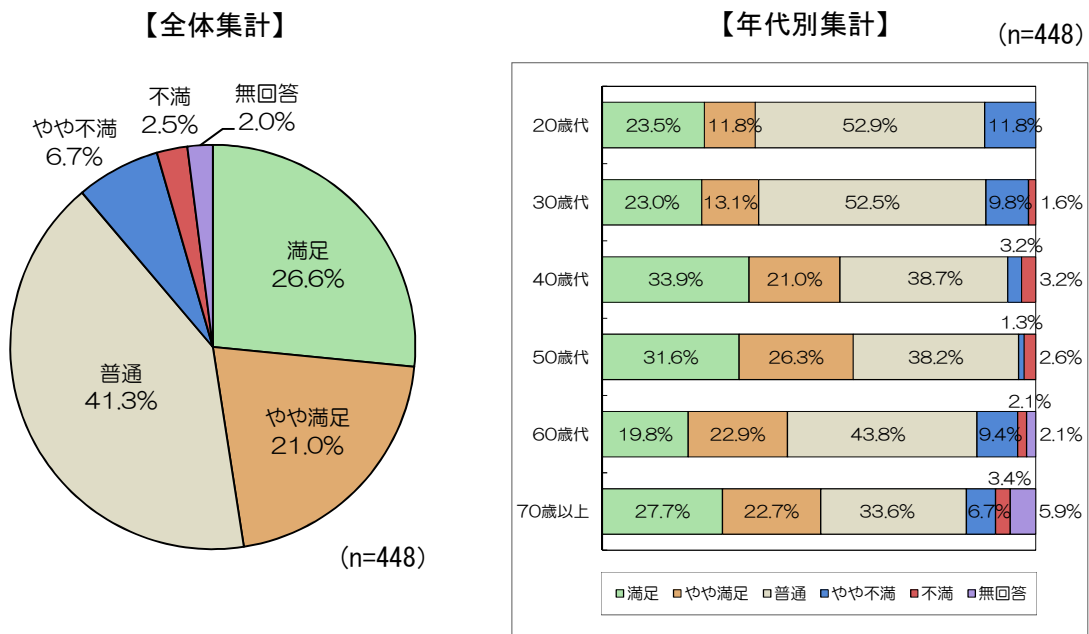
【地域別集計】

(n=448)



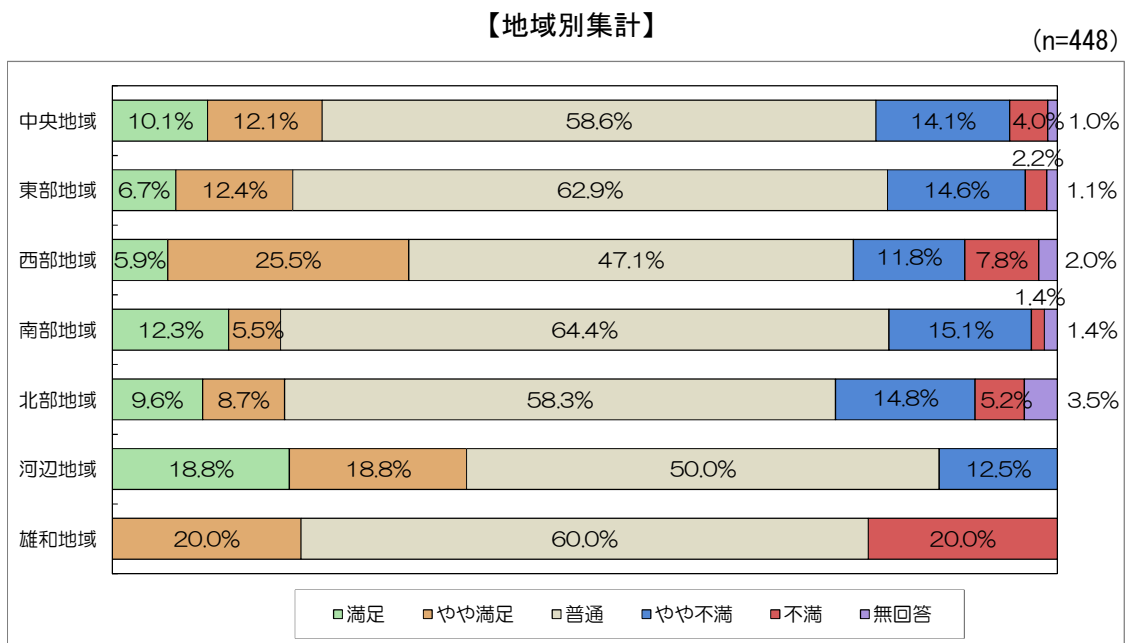
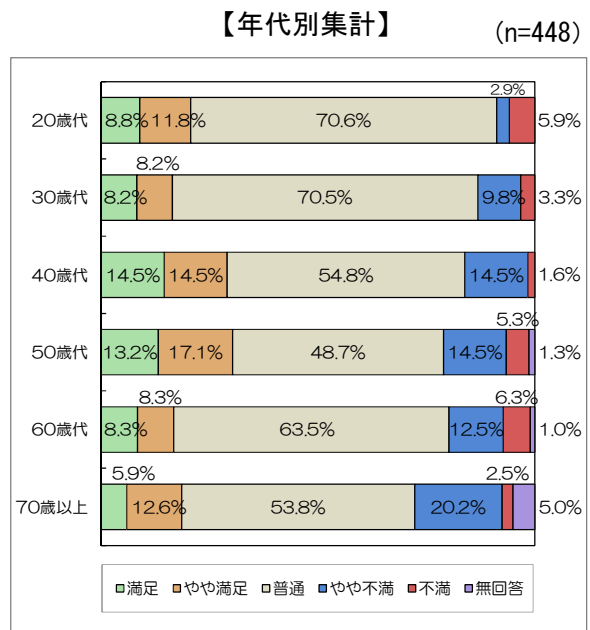
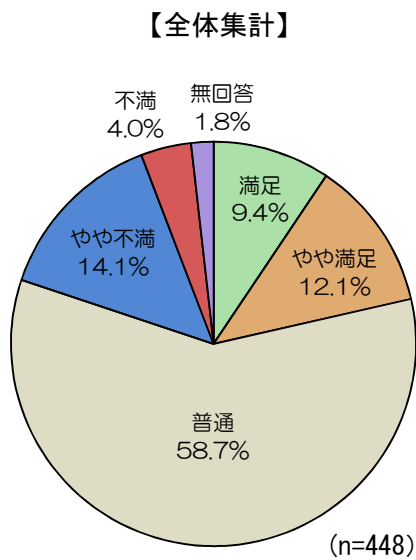
(キ) 上・下水道の整備状況

- 全体では、「満足」「やや満足」が47.6%、「普通」が41.3%、「不満」「やや不満」が9.2%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40歳代(54.9%)」「50歳代(57.9%)」となっている。一方で、その割合が低いのは、「20歳代(35.3%)」「30歳代(36.1%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」が高いのは、「中央地域(55.5%)」「西部地域(56.8%)」「河辺地域(62.5%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「北部地域(39.2%)」となっている。



(ク) 火災・延焼に対する安全性

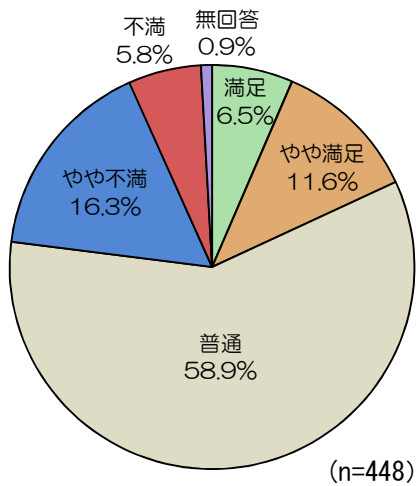
- 全体では、「満足」「やや満足」が21.5%、「普通」が58.7%、「不満」「やや不満」が18.1%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40歳代(29.0%)」「50歳代(30.3%)」となっている。なお、「不満」「やや不満」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「西部地域(31.4%)」「河辺地域(37.6%)」となっている。



(ケ) 地震に対する安全性

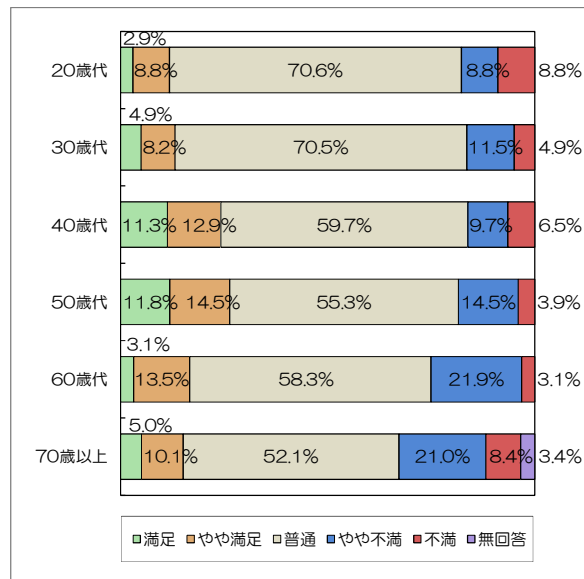
- 全体では、「満足」「やや不満」が18.1%、「普通」が58.9%、「不満」「やや不満」が22.1%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40歳代(24.2%)」「50歳代(26.3%)」となっている。なお、「不満」「やや不満」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「西部地域(33.3%)」「河辺地域(25.1%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「東部地域(15.7%)」「北部地域(13.1%)」となっている。

【全体集計】



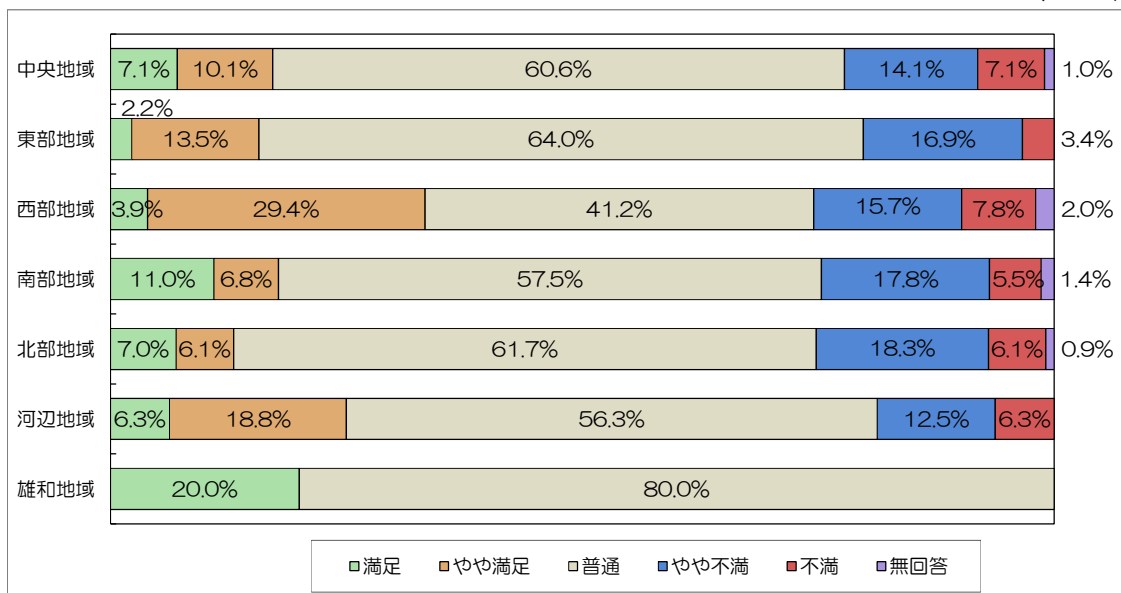
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

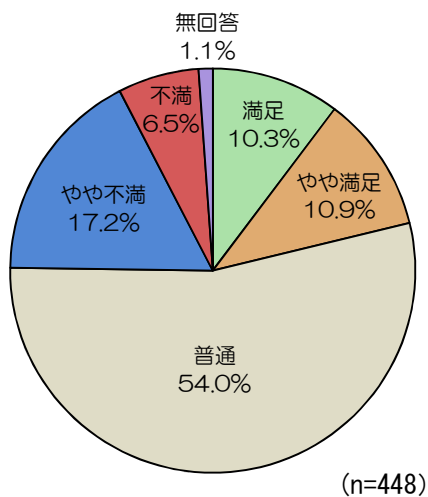
(n=448)



(2) 水害に対する安全性

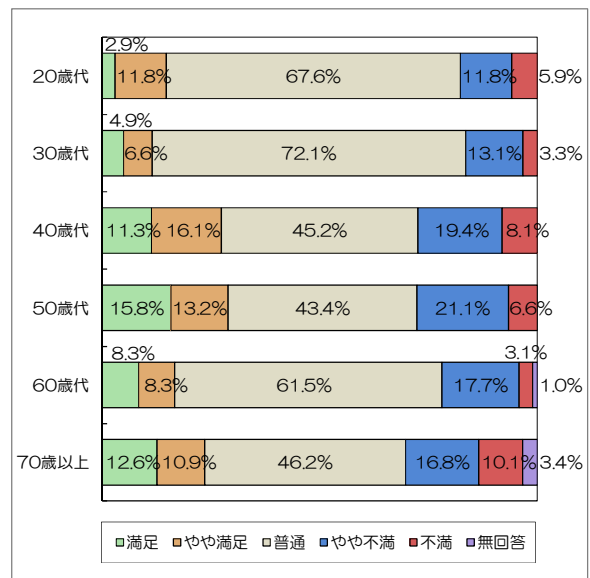
- 全体では、「満足」「やや満足」が21.2%、「普通」が54.0%、「不満」「やや不満」が23.7%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40歳代(27.4%)」「50歳代(29.0%)」となっているが、これらの年代は「不満」「やや不満」の割合も高い。また、「不満」「やや不満」の割合は、年代を上げるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「西部地域(37.3%)」「河辺地域(37.5%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「北部地域(14.8%)」となっている。

【全体集計】



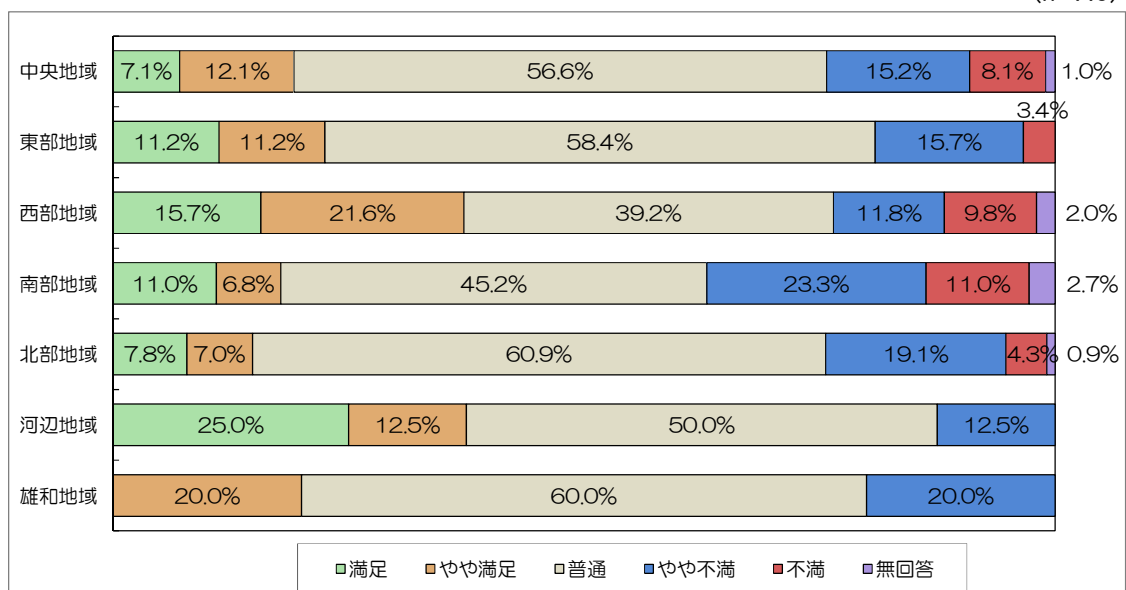
【年代別集計】

(n=448)



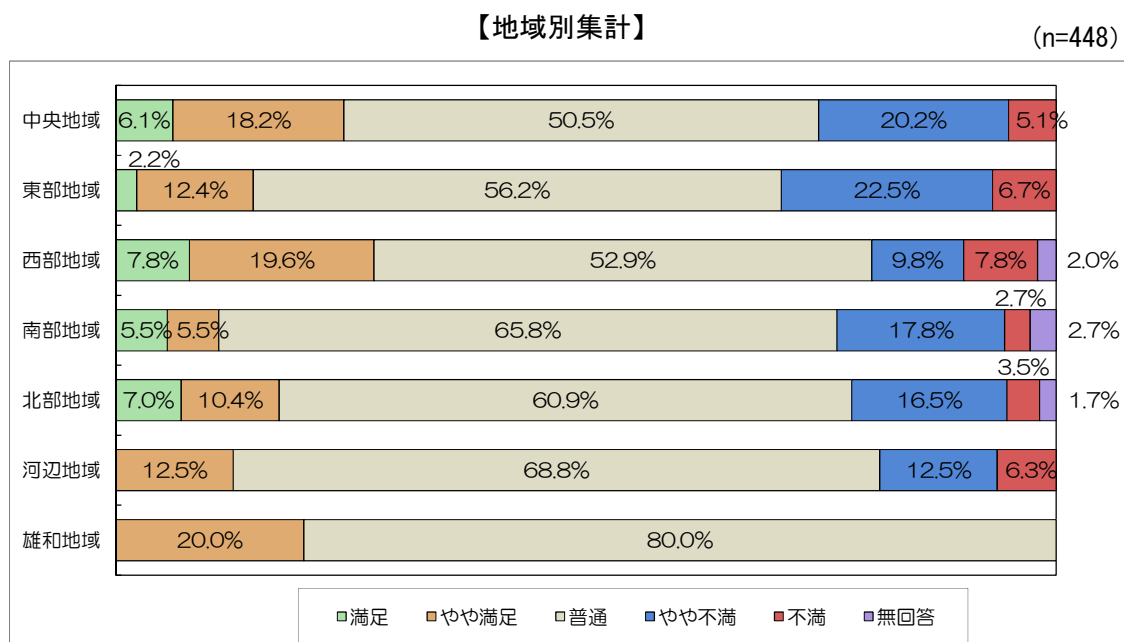
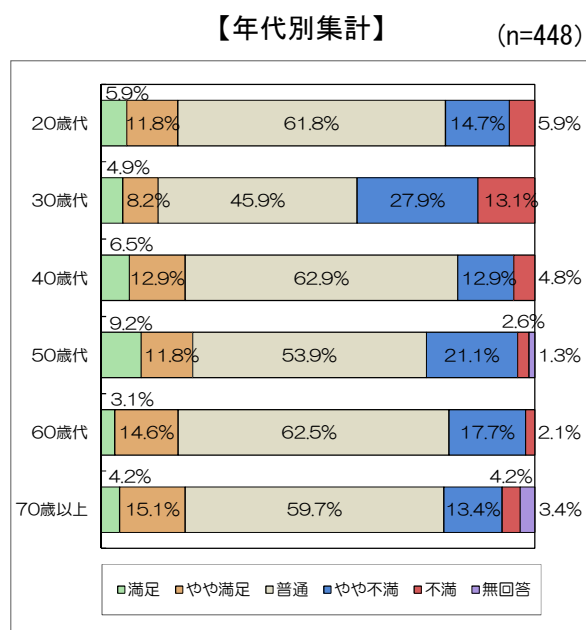
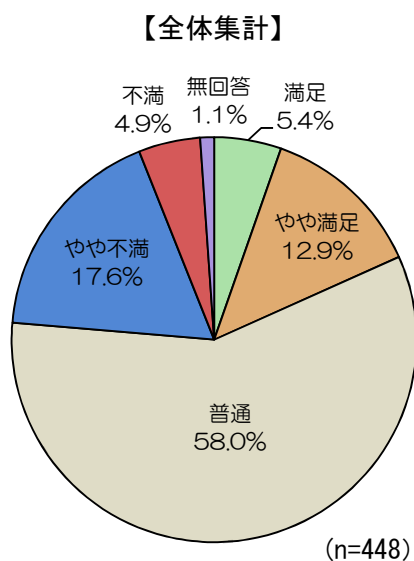
【地域別集計】

(n=448)



(サ) 防犯面での安全性

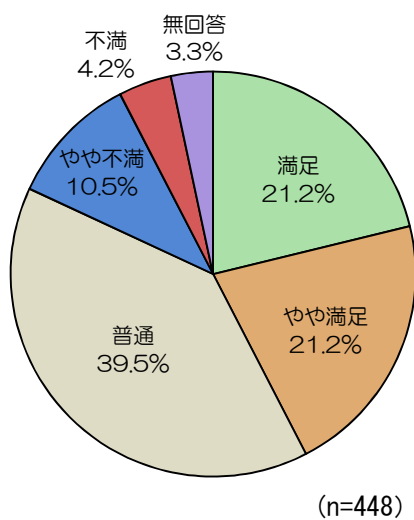
- 全体では、「満足」「やや満足」が18.3%、「普通」が58.0%、「不満」「やや不満」が22.5%となっている。
- 年代別は、「満足」「やや満足」が各年代ともほぼ同じ割合となっている。「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「30歳代(41.0%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(24.3%)」「西部地域(27.4%)」となっている。「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「中央地域(25.3%)」「東部地域(29.2%)」となっている。



(シ) 小・中学校の近さ

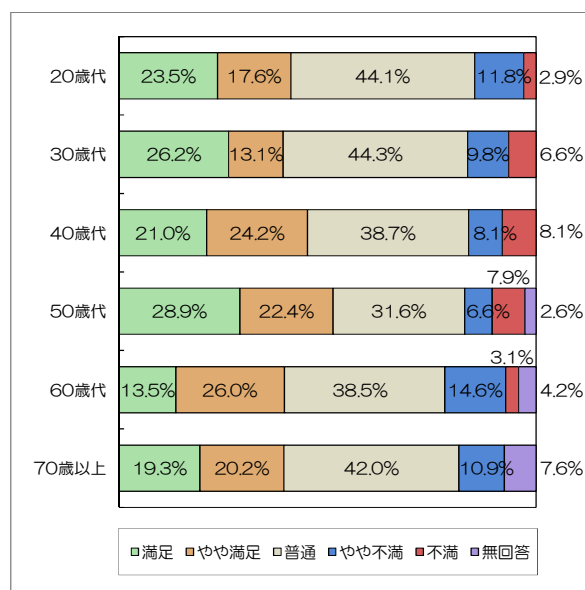
- 全体では、「満足」「やや満足」が42.4%、「普通」が39.5%、「不満」「やや不満」が14.7%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40歳代(45.2%)」「50歳代(51.3%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(54.6%)」「西部地域(47.1%)」「南部地域(46.6%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「東部地域(37.1%)」「北部地域(35.7%)」「河辺地域(25.1%)」となっている。

【全体集計】



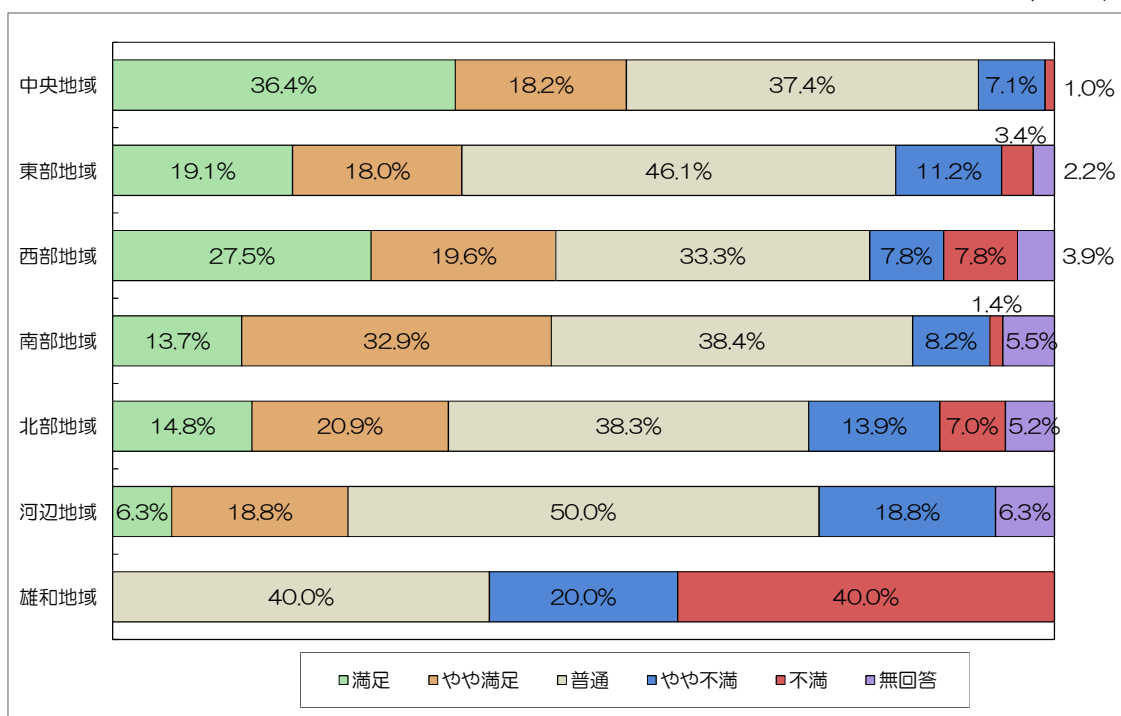
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

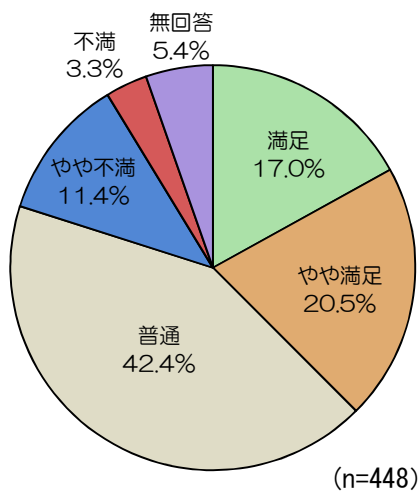
(n=448)



(ス) 保育園・幼稚園の近さ

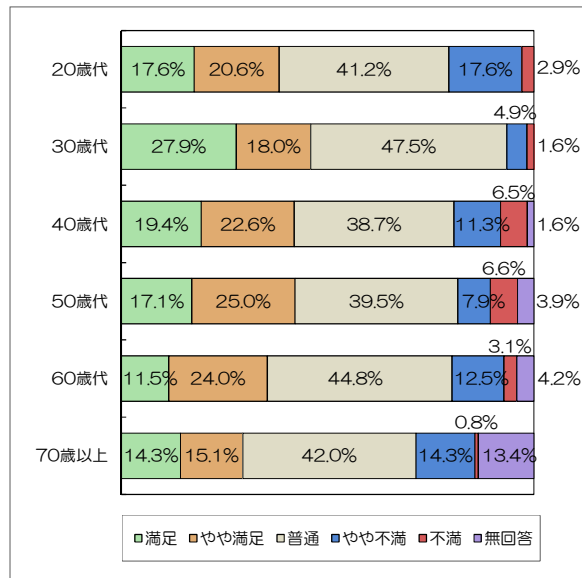
- 全体では、「満足」「やや満足」が37.5%、「普通」が42.4%、「不満」「やや不満」が14.7%となっている。
- 年代別は、年代が上がるにつれて「満足」「やや満足」の割合が低くなる傾向がみられる。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは「中央地域(46.5%)」「西部地域(47.1%)」となっている。一方で、割合が低いのは「北部地域(31.3%)」「河辺地域(31.3%)」となっている。

【全体集計】



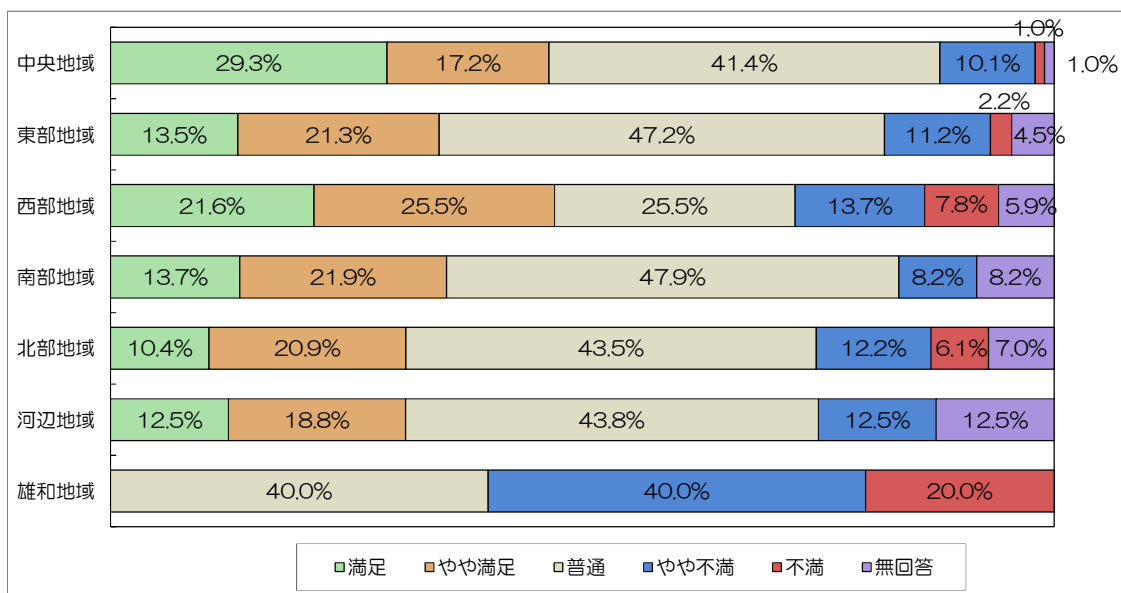
【年代別集計】

(n=448)



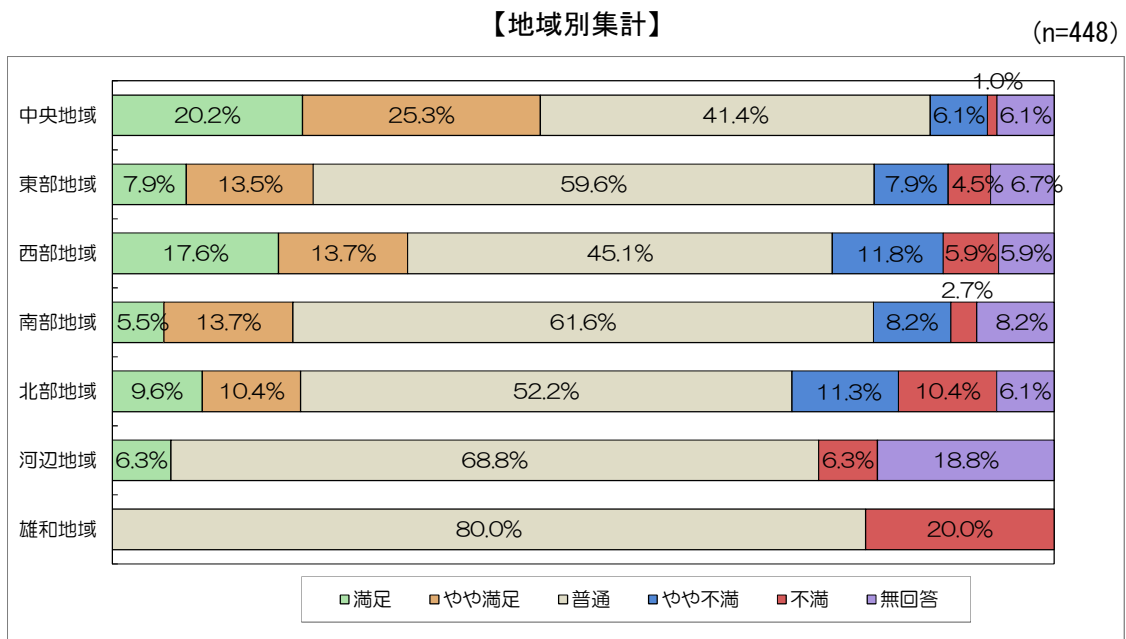
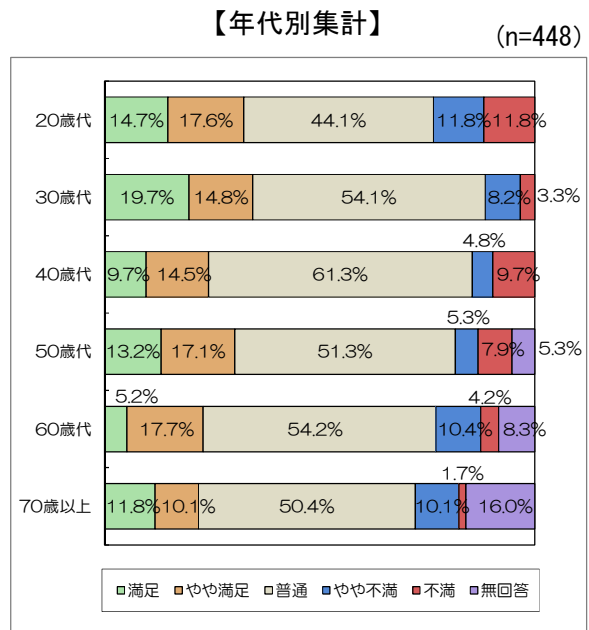
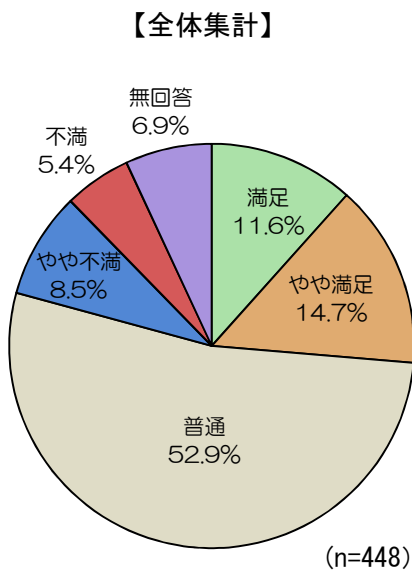
【地域別集計】

(n=448)



(七) 子育て支援サービス施設の近さ

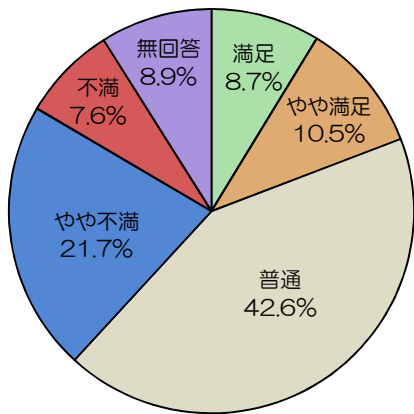
- 全体では、「満足」「やや満足」が26.3%、「普通」が52.9%、「不満」「やや不満」が13.9%となっている。
- 年代別は、年代が上がるにつれて「満足」「やや満足」の割合が低くなっている。また、「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「20歳代(23.6%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(45.5%)」「西部地域(31.3%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「東部地域(21.4%)」「南部地域(19.2%)」「北部地域(20.0%)」「河辺地域(6.3%)」となっている。



(7) 親子で利用しやすい施設の近さ

- 全体では、「満足」「やや満足」が19.2%、「普通」が42.6%、「不満」「やや不満」が29.3%となっている。
- 年代別は、年代が上がるにつれて「満足」「やや満足」の割合が低くなる傾向がみられる。「不満」「やや不満」で割合が高いのは、「20歳代(35.3%)」「50歳代(35.5%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(32.3%)」となっている。「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「西部地域(33.3%)」「南部地域(31.5%)」「北部地域(40.0%)」となっている。

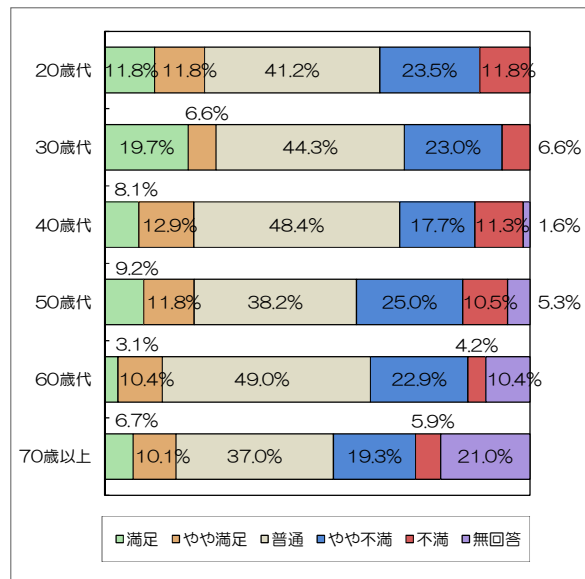
【全体集計】



(n=448)

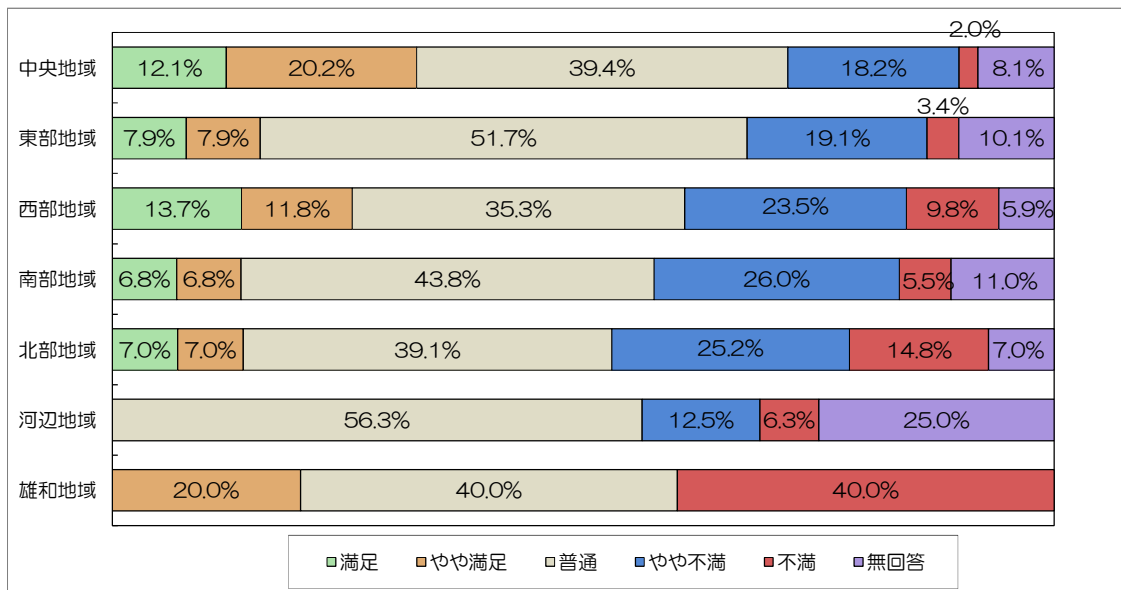
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

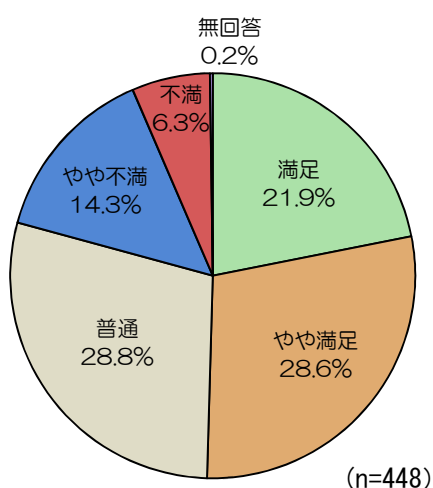
(n=448)



(夕) 日常の買物の便利さ

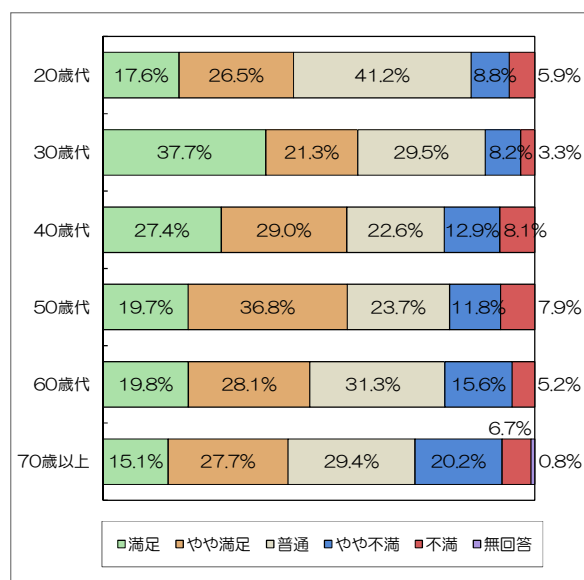
- 全体では、「満足」「やや満足」が 50.5%、「普通」が 28.8%、「不満」「やや不満」が 20.6%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「30 歳代 (59.0%)」「40 歳代 (56.4%)」「50 歳代 (56.5%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「20 歳代 (44.1%)」「70 歳以上 (42.8%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域 (59.6%)」「南部地域 (54.8%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「西部地域 (39.2%)」「河辺地域 (12.6%)」となっている。

【全体集計】



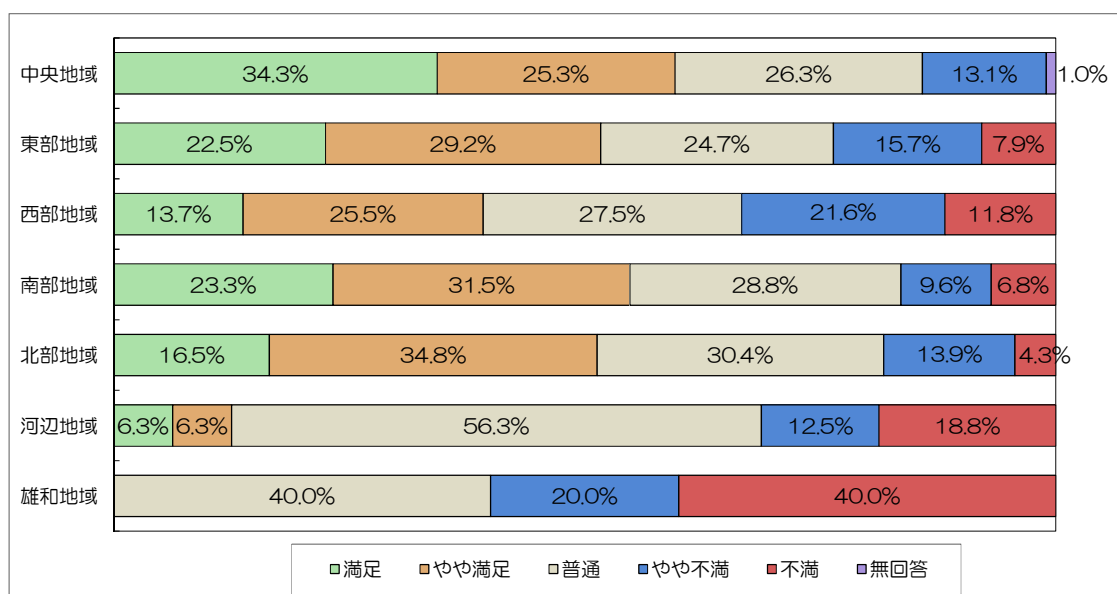
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

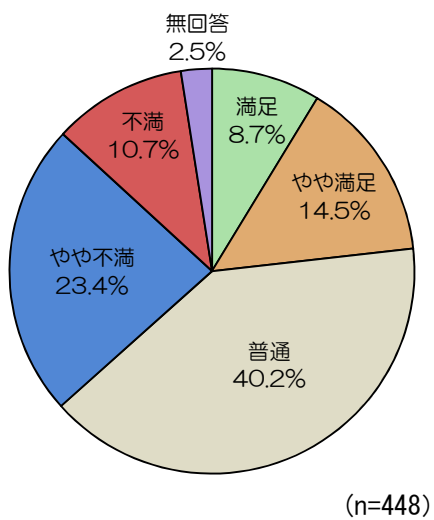
(n=448)



(フ) 文化・スポーツ施設の近さ

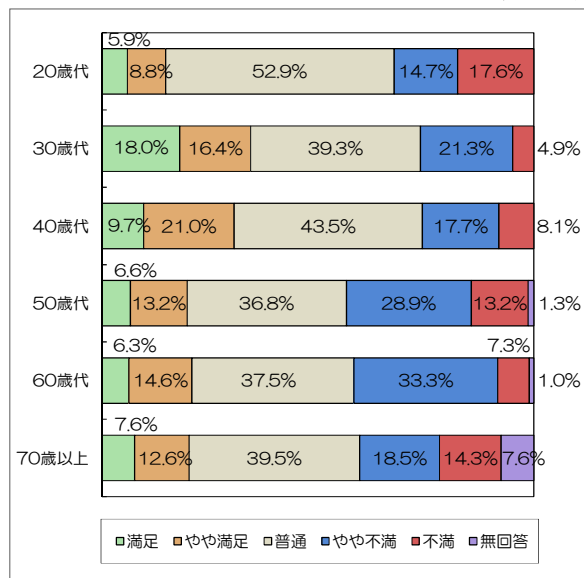
- 全体では、「満足」「やや満足」が 23.2%、「普通」が 40.2%、「不満」「やや不満」が 34.1%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「30 歳代 (34.4%)」「40 歳代 (30.7%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域 (44.5%)」となっている。「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「東部地域 (40.5%)」「西部地域 (39.2%)」「南部地域 (36.9%)」「北部地域 (39.2%)」となっている。

【全体集計】



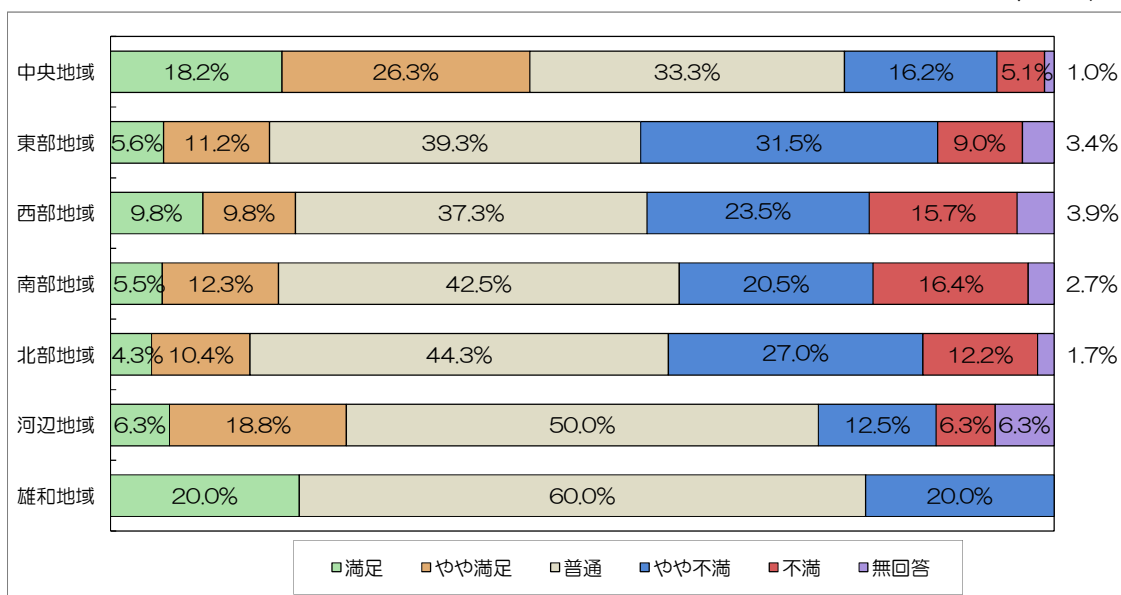
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

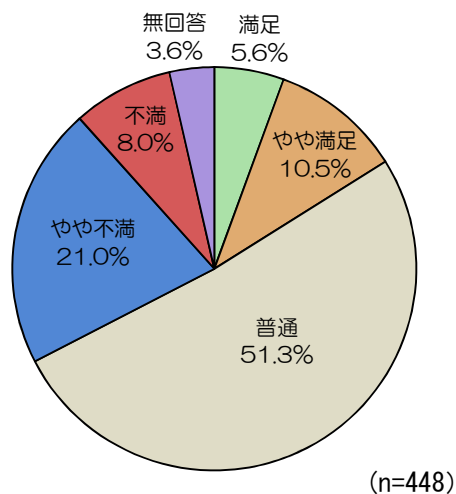
(n=448)



(ツ) 福祉施設の近さ

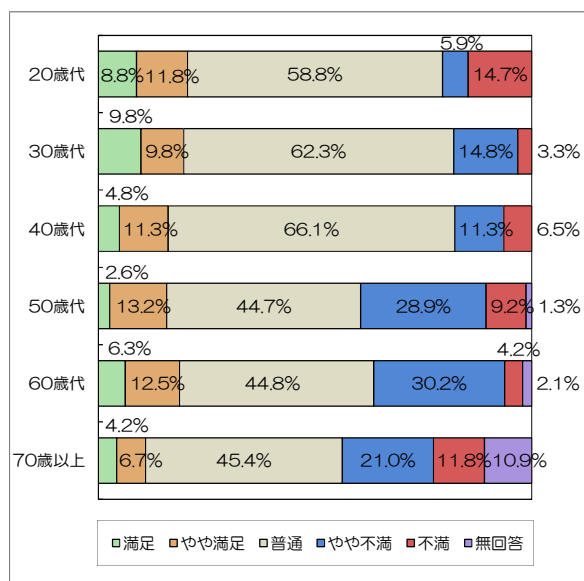
- 全体では、「満足」「やや満足」が16.1%、「普通」が51.3%、「不満」「やや不満」が29.0%となっている。
- 年代別は、「満足」「やや満足」で「70歳以上」以外大きな変化はみられない。「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「50歳代(38.1%)」「60歳代(34.4%)」「70歳以上(32.8%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(30.3%)」となっている。「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「西部地域(35.3%)」「南部地域(31.5%)」「北部地域(36.5%)」となっている。

【全体集計】



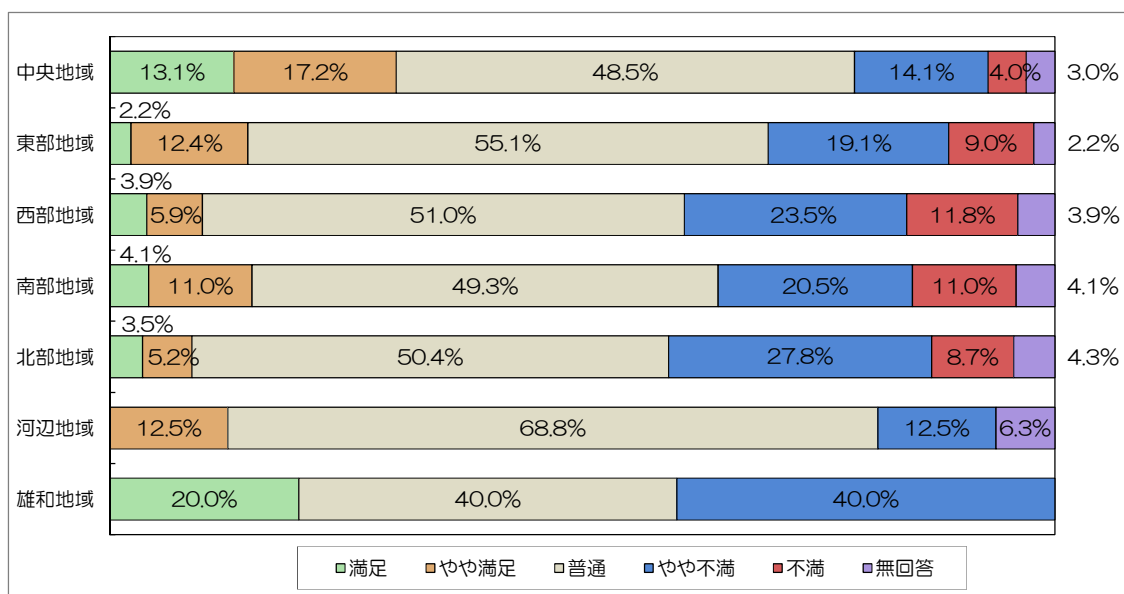
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

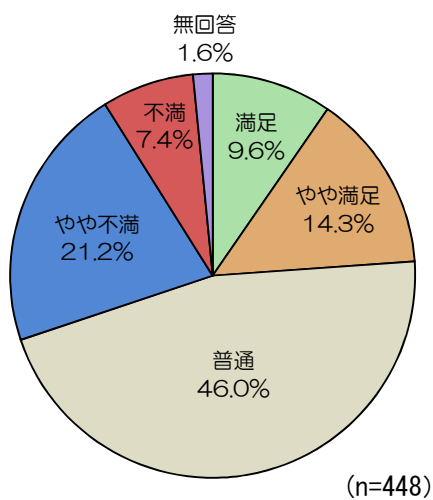
(n=448)



(7) 道路などの歩きやすさ

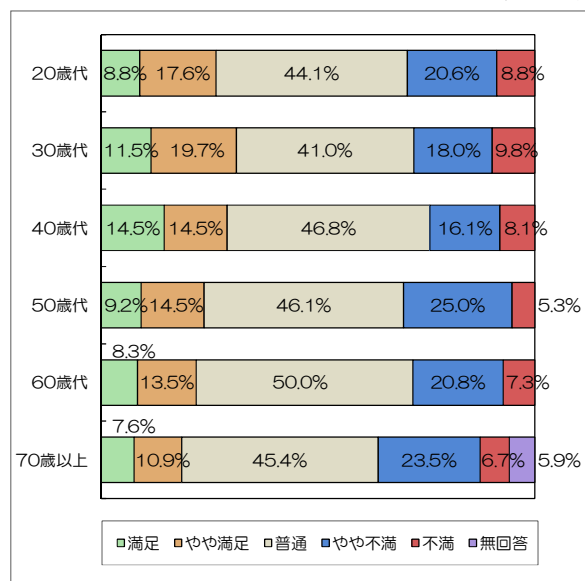
- 全体では、「満足」「やや満足」が 23.9%、「普通」が 46.0%、「不満」「やや不満」が 28.6%となっている。
- 年代別は、年代が上がるにつれて「満足」「やや満足」の割合が低くなっている。また、「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「50歳代(30.3%)」「70歳以上(30.2%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(37.3%)」となっている。「不満」「やや不満」の割合が高いのは、「中央地域(30.3%)」「東部地域(33.7%)」となっている。

【全体集計】



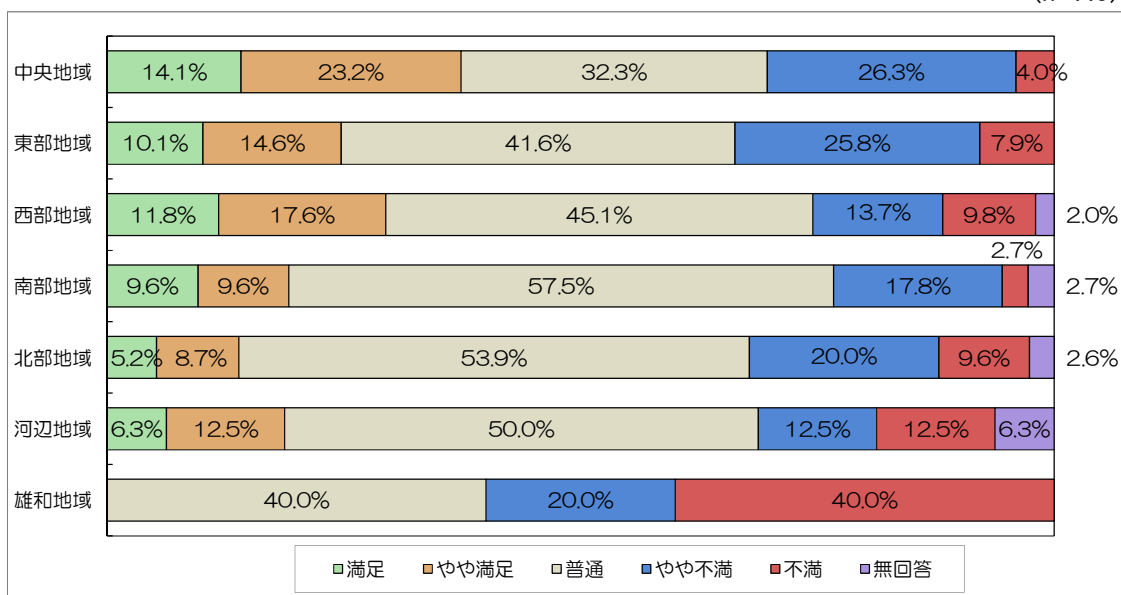
【年代別集計】

(n=448)



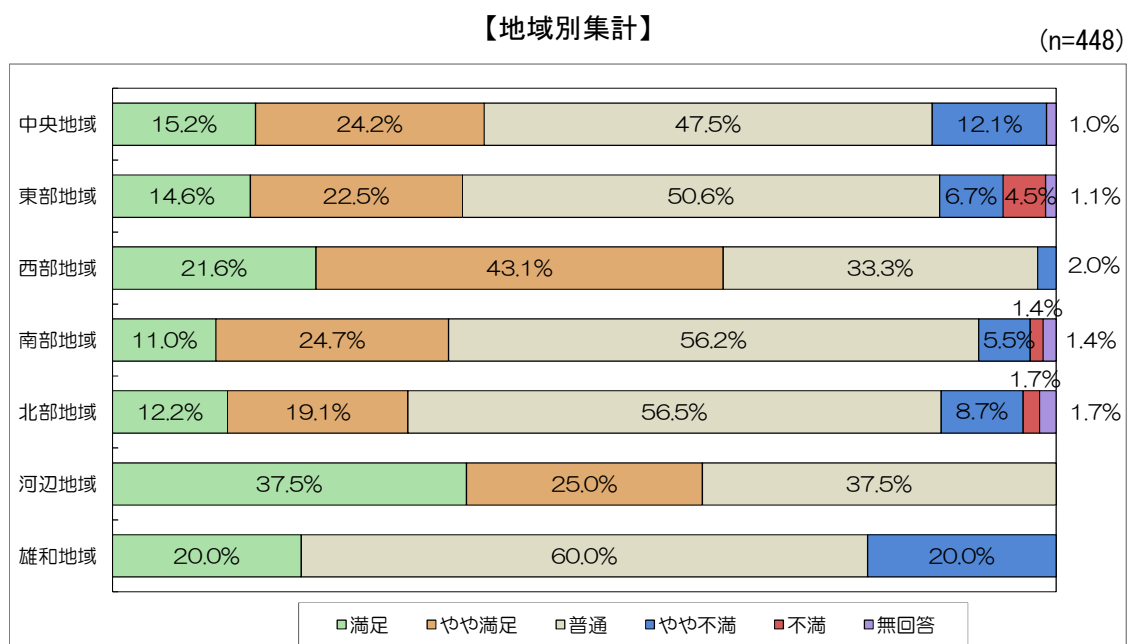
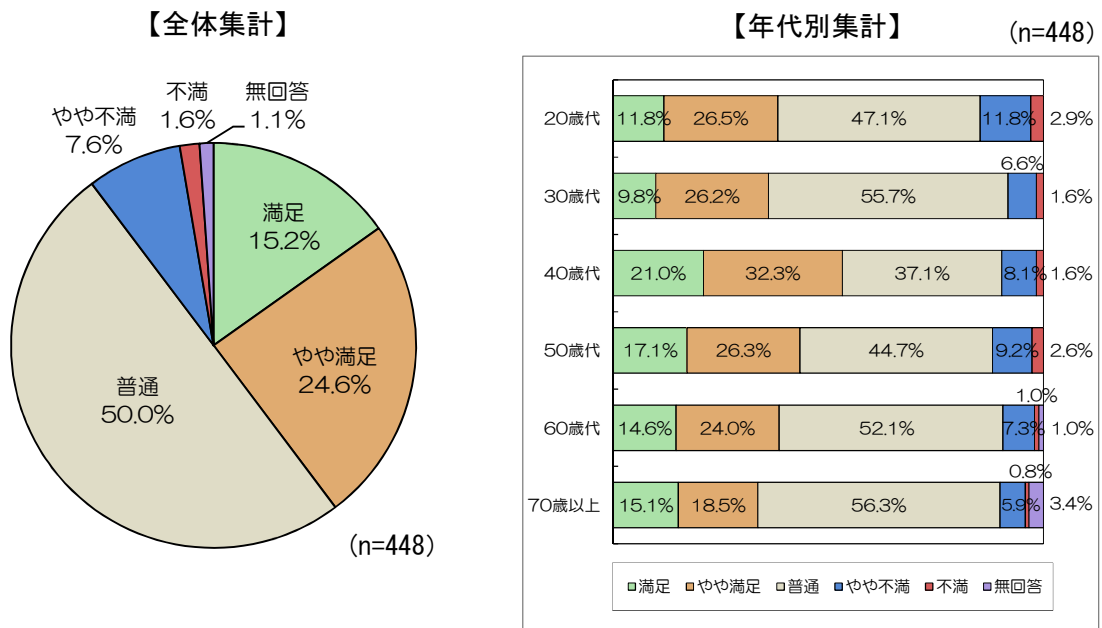
【地域別集計】

(n=448)



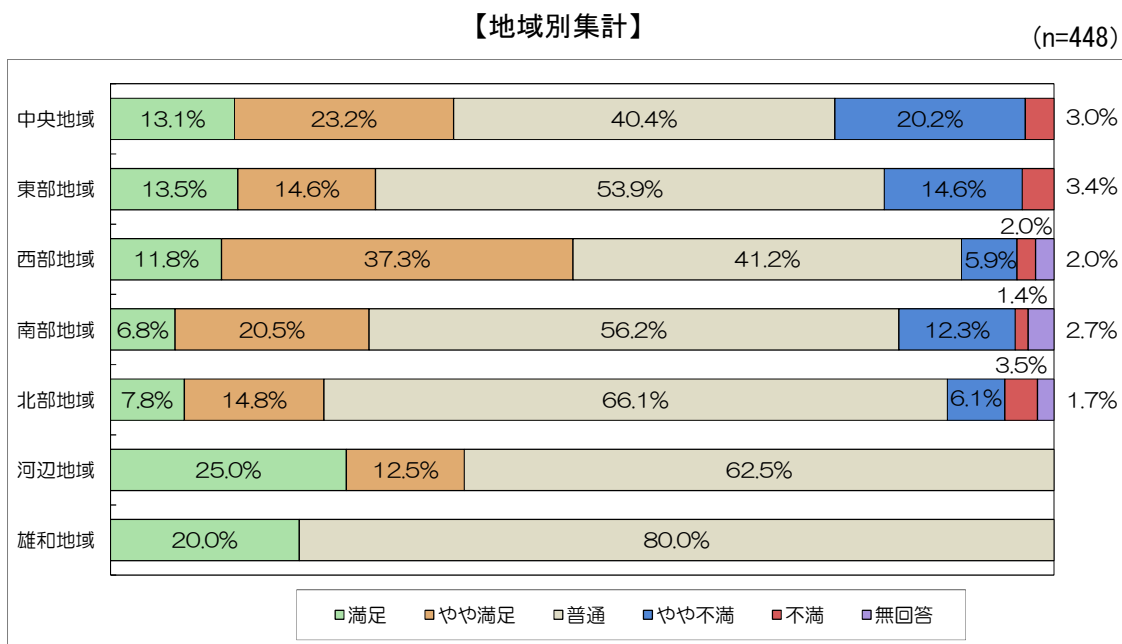
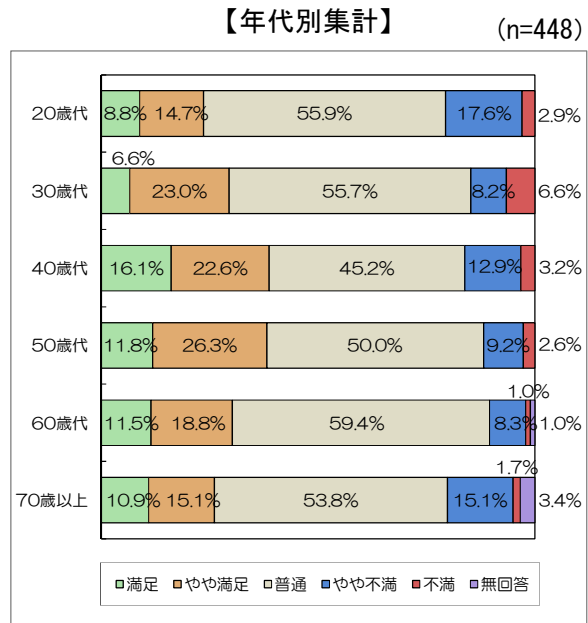
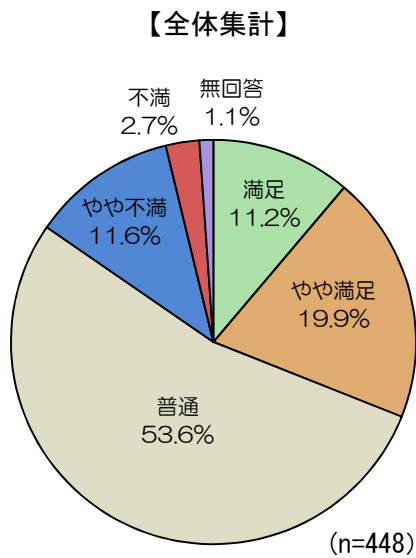
(ト) 自然景観の美しさ

- 全体では、「満足」「やや満足」が 39.8%、「普通」が 50.0%、「不満」「やや不満」が 9.2%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40 歳代 (53.3%)」「50 歳代 (43.4%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「西部地域 (64.7%)」「河辺地域 (62.5%)」となっている。



(ナ) まちなみの美しさ

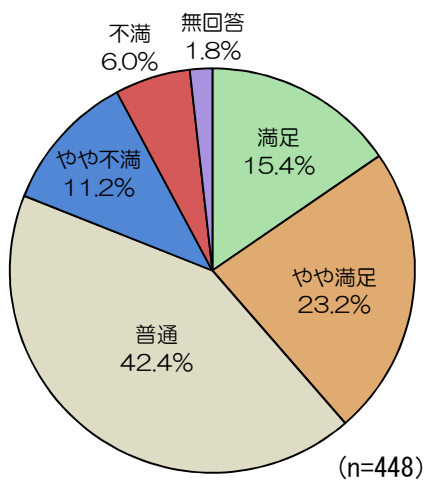
- 全体では、「満足」「やや満足」が31.1%、「普通」が53.6%、「不満」「やや不満」が14.3%となっている。
- 年代別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「40歳代(38.7%)」「50歳代(38.1%)」となっている。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「西部地域(49.1%)」となっている。



(二) 医療施設の近さ

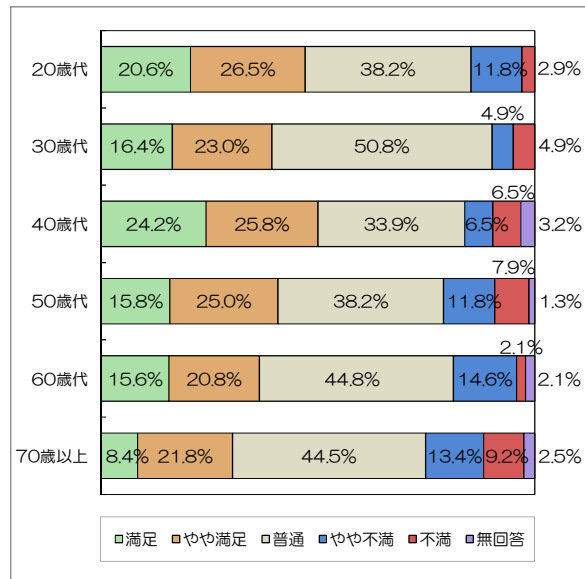
- 全体では、「満足」「やや満足」が38.6%、「普通」が42.4%、「不満」「やや不満」が17.2%となっている。
- 年代別は、年代が上がるにつれて「満足」「やや満足」の割合が低くなり、「不満」「やや不満」の割合が高くなる傾向がみられる。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域(50.5%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「河辺地域(25.1%)」となっている。

【全体集計】



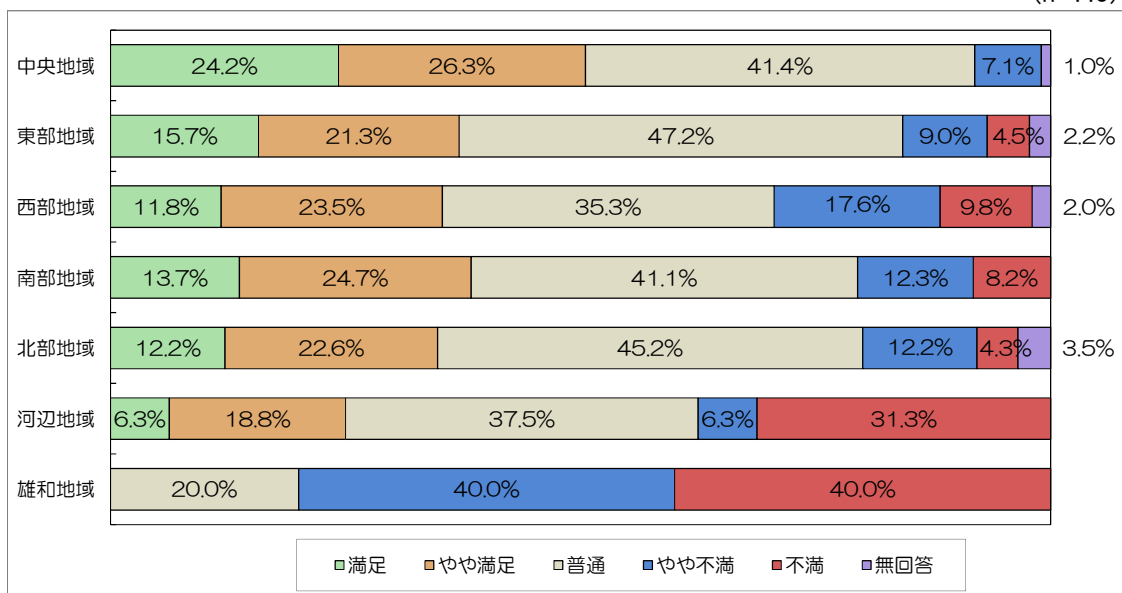
【年代別集計】

(n=448)



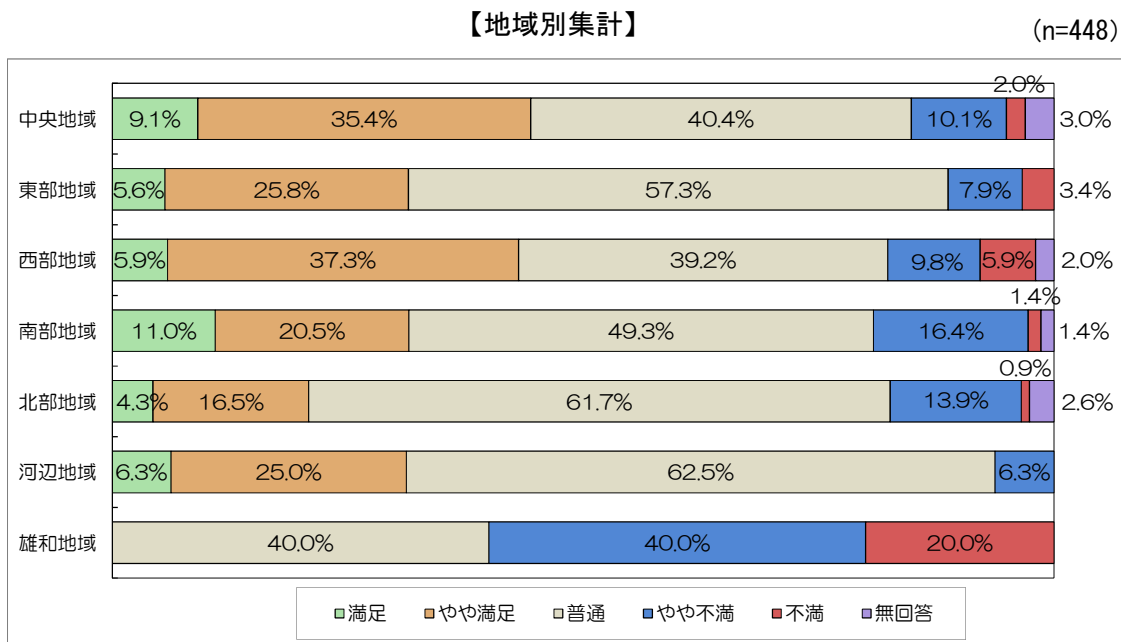
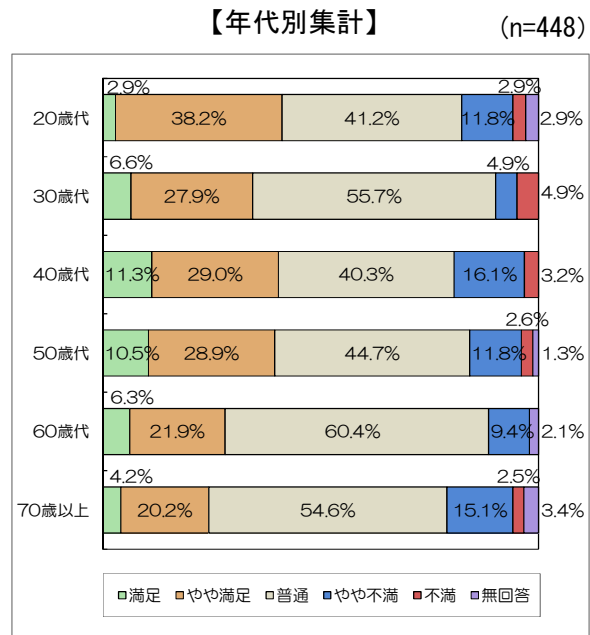
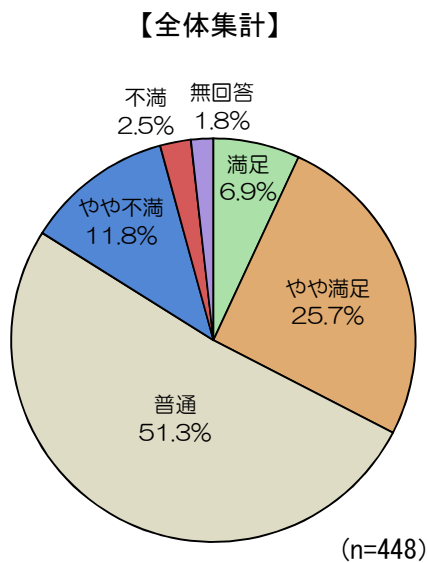
【地域別集計】

(n=448)



(2) 地域全体の評価

- 全体では、「満足」「やや満足」が 32.6%、「普通」が 51.3%、「不満」「やや不満」が 14.3%となっている。
- 年代別は、年代が上がるにつれて「満足」「やや満足」の割合が低くなる傾向がみられる。
- 地域別で、「満足」「やや満足」の割合が高いのは、「中央地域 (44.5%)」「西部地域 (43.2%)」となっている。一方で、割合が低いのは、「北部地域 (20.8%)」となっている。



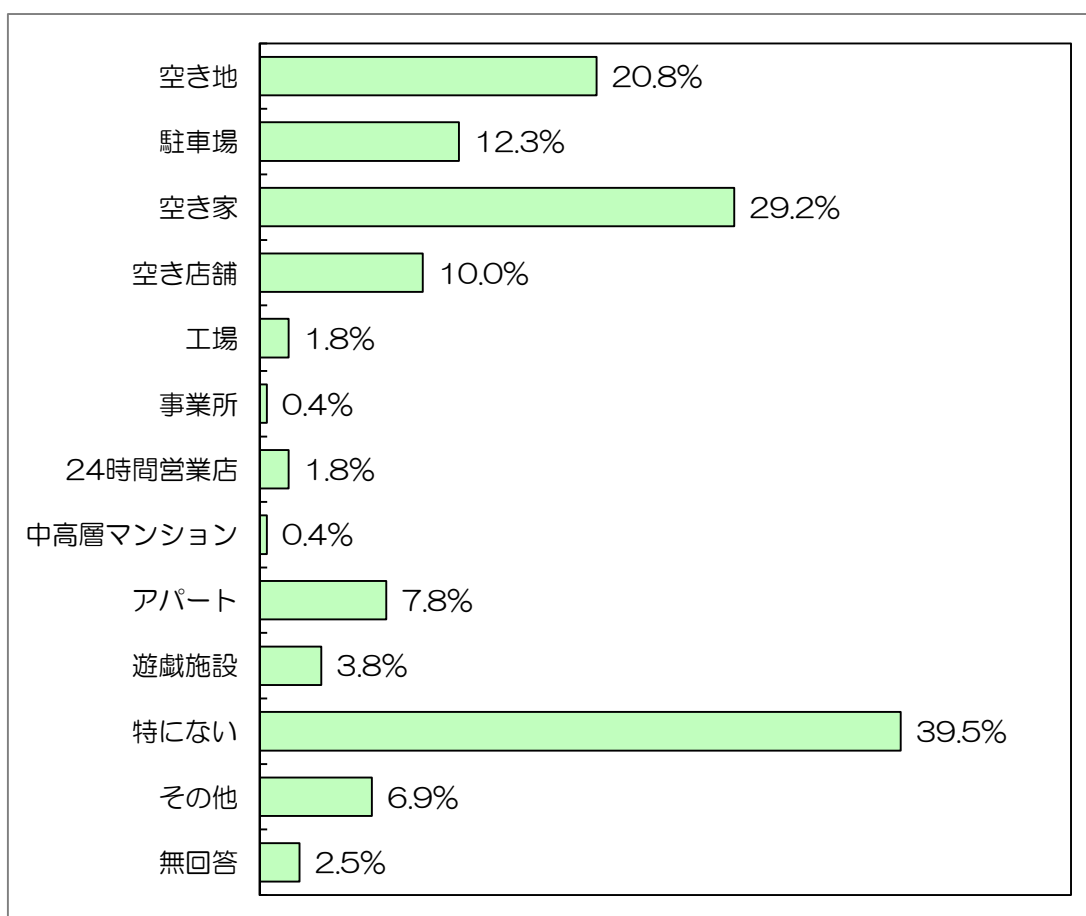
(2) 地域で問題となっている土地・建物

ア 全体集計

- 地域で問題となっている土地・建物で、最も割合が高いのは「特にない (39.5%)」で、次いで「空き家 (29.2%)」「空き地 (20.8%)」「駐車場 (12.3%)」「空き店舗 (10.0%)」の順となっている。

問 10 現在、あなたが住んでいる地域で問題だと感じている土地や建物についてお聞きします。(2つ選択)

(n=615)



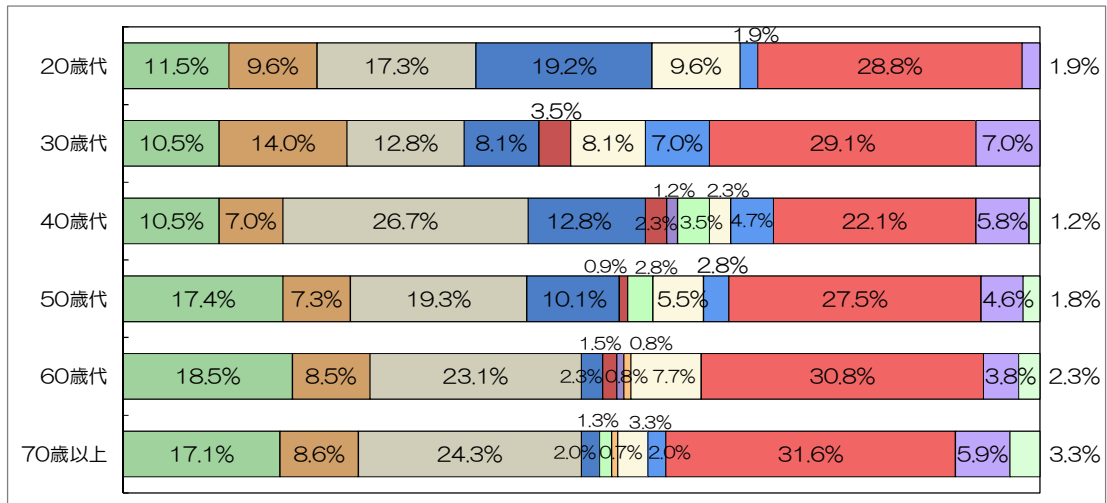
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

イ 「地域で問題となっている土地・建物×年代」 および「地域で問題となっている土地・建物×居住地域」のクロス集計

- 年代別では、どの世代も「特にない」の割合が最も高くなっている。全体集計で問題視する割合が高かった「空き家」は40歳代以上で、「空き地」は50歳代以上でその傾向が強くみられる。その他の特徴として、20歳代は「空き店舗」、30歳代は「駐車場」を問題視する傾向がみられる。
- 地域別では、「中央地域」「北部地域」を除き「特にない」の割合が最も高くなっている。全体集計で問題視する割合が高かった「空き家」は「中央地域（25.2%）」「北部地域（24.6%）」「西部地域（23.5%）」で、「空き地」は「北部地域（21.0%）」で高くなっている。

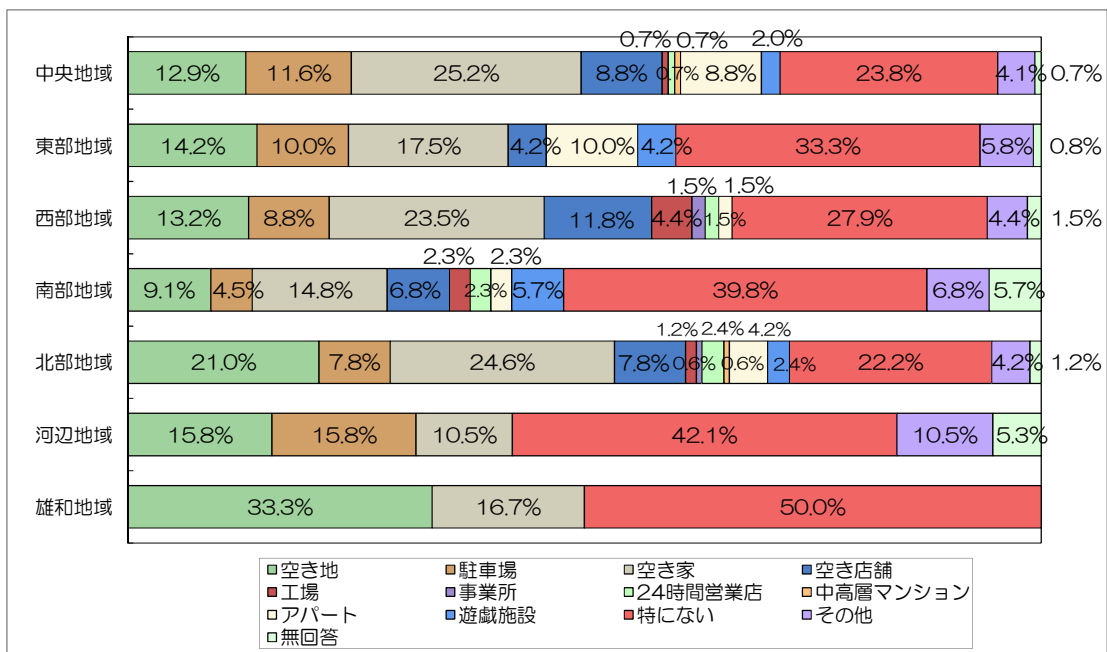
【年代別集計】

(n=615)



【地域別集計】

(n=615)

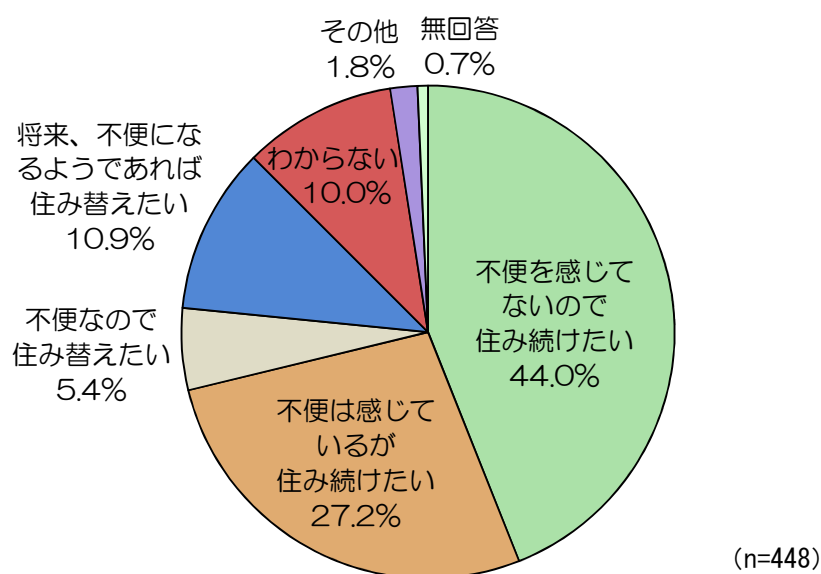


(3) 現在の地域に対する居留意向

ア 全体集計

- 居留意向で、最も割合が高いのは「不便を感じてないので住みたい (44.0%)」で、次いで「不便は感じているが住みたい (27.2%)」「将来不便になるようであれば住みたい (10.9%)」の順となっている。
- 不便かそうでないかは別に、そのまま「現在の地域に住みたい」とする割合は、全体の 71.2%となっている。

問 11 将来の居住の意向（あなたがお住まいの地域に住み続けるかどうか）についてお聞きします。（1つだけ選択）

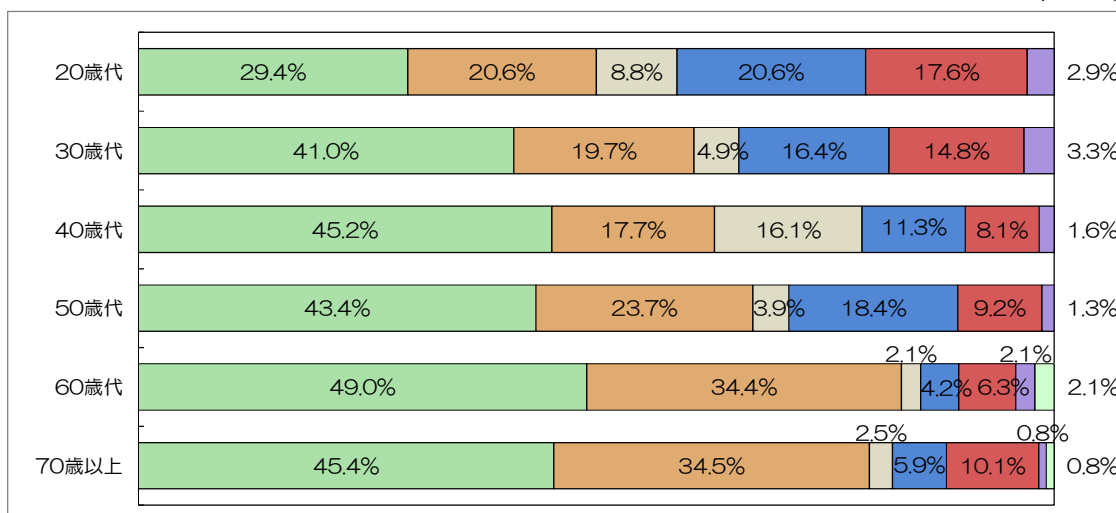


イ 「現在の地域に対する居住意向×年代」および「現在の地域に対する居住意向×居住地域」のクロス集計

- 年代別で、不便かそうでないかは別に「現在の地域に住み続けたい」とする割合は、すべての年代で高く、年代が上がるにつれて、その割合が高くなっている。
- 地域別で、「不便を感じてないので住み続けたい」とする割合で高いのは、「中央地域（49.5%）」「東部地域（49.4%）」となっている。不便かそうでないかは別に「現在の地域に住み続けたい」とする割合が高いのは、「東部地域（75.2%）」「西部地域（78.4%）」「河辺地域（75.0%）」となっている。

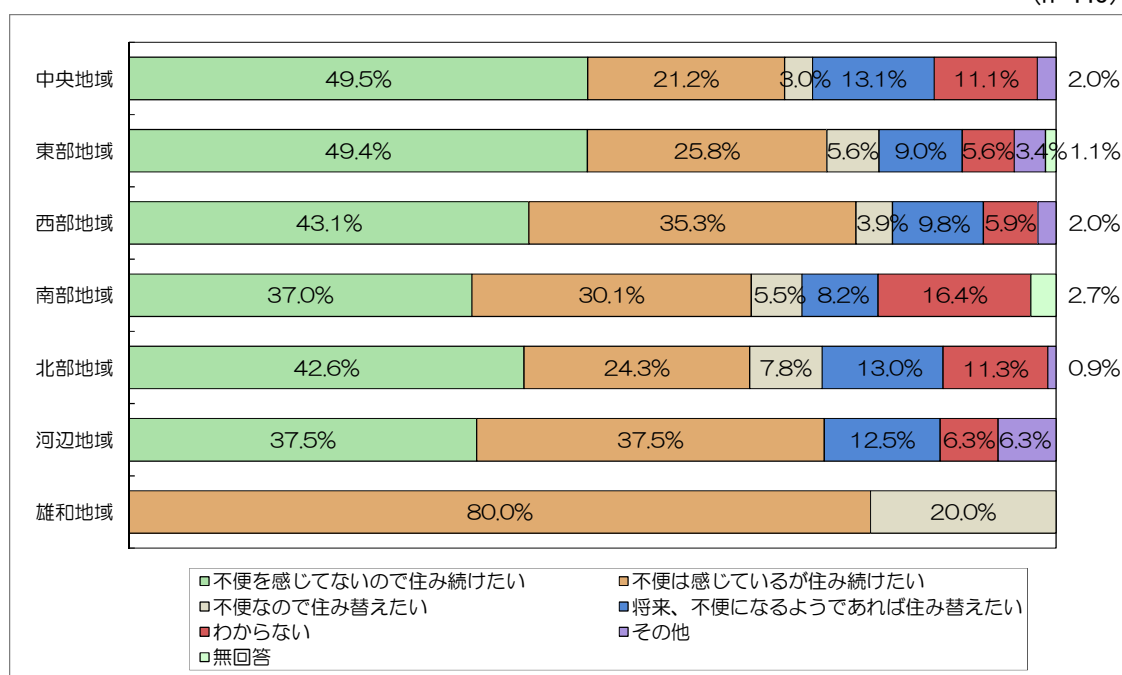
【年代別集計】

(n=448)



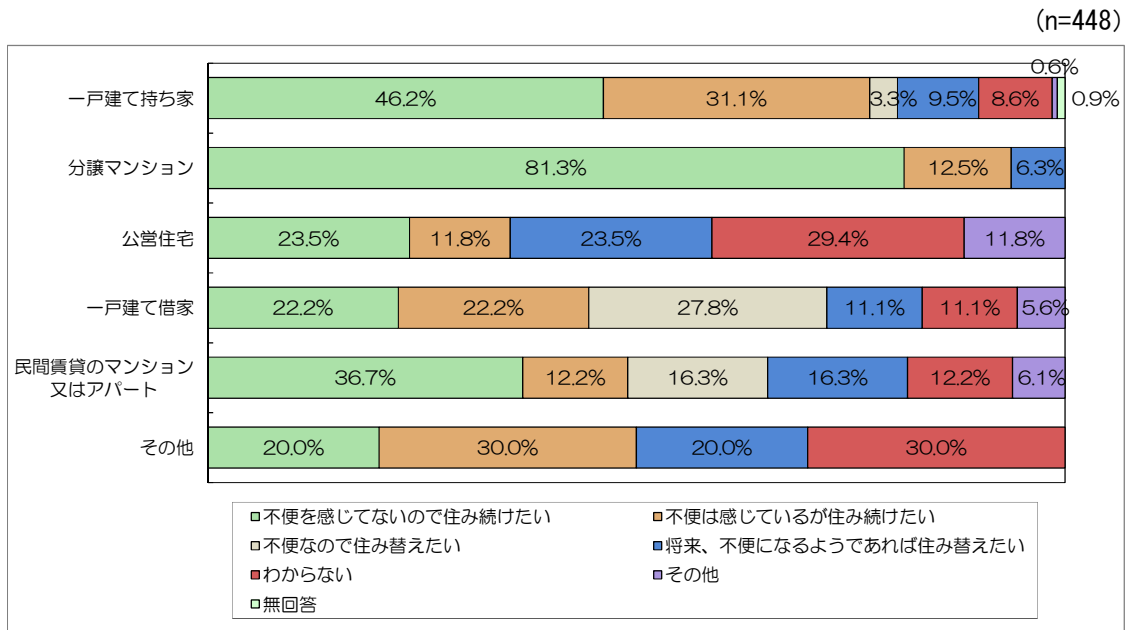
【地域別集計】

(n=448)



ウ 「現在の地域に対する居住意向×居住形態」のクロス集計

- 居住形態別の住み替え意向で、「不便を感じてないので住み続けたい」とする割合が高いのは、「分譲マンション（81.3%）」の居住者で他と比べて際立っている。
- 不便かそうでないかは別に「現在の地域に住み続けたい」とする割合で高いのは「分譲マンション（93.8%）」の居住者で、次いで「一戸建て持ち家（77.3%）」の居住者となっている。



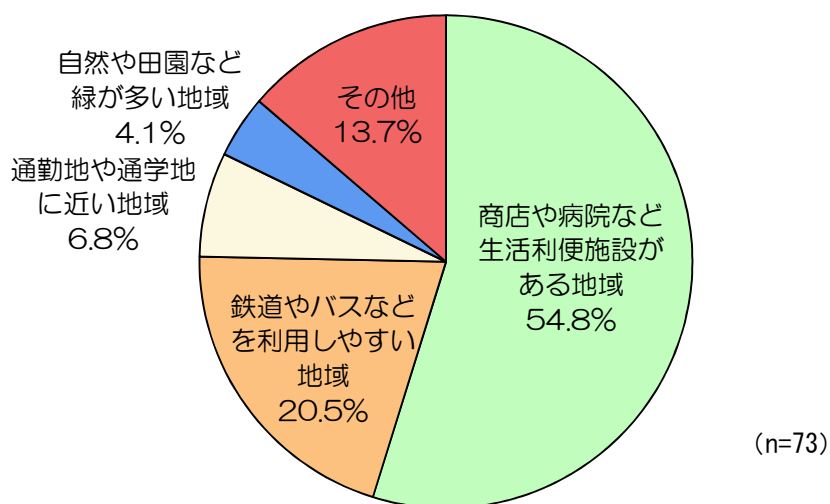
(4) 住み替える場合に希望する地域のイメージ

(問 11 で「住み替えたい」を選択した人を対象)

ア 全体集計

- 住み替えを希望する地域の条件で、割合が最も高いのは、「商店や病院など生活利便施設がある地域 (54.8%)」で、次いで「鉄道やバスなどを利用しやすい地域 (20.5%)」となっている。

問 12 前の問 11 で「不便なので住み替えたい」または「将来、不便になるようであれば住み替えたい」を選んだ方にお聞きします。もし、住み替える（費用を考慮せず）としたら、どのような場所が良いですか。（1つだけ選択）

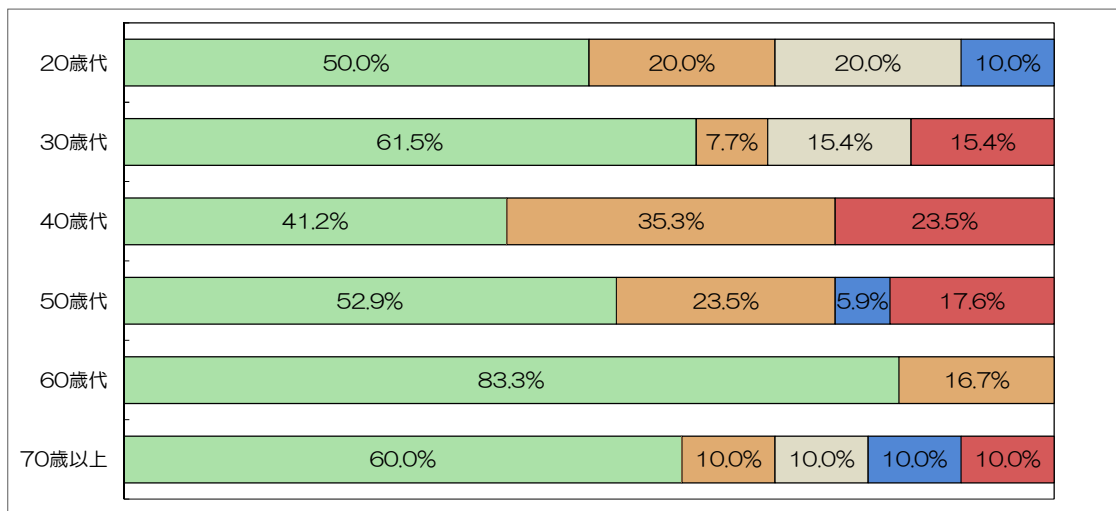


イ 「住み替える場合に希望する地域のイメージ×年代」 および 「住み替える場合に希望する地域のイメージ×居住地域」

- 年代別では、すべての年代で「商店や病院など生活利便施設がある地域」の割合が高く、その中で特に高いのは、「30 歳代 (61.5%)」「60 歳代 (83.3%)」となっている。「鉄道やバスなどを利用しやすい地域」で割合が高いのは、「40 歳代 (35.3%)」となっている。
- 地域別では、すべての地域で「商店や病院など生活利便施設がある地域」の割合が高く、その中で特に高いのは、「北部地域 (62.5%)」となっている。「鉄道やバスなどを利用しやすい地域」で割合が高いのは、「東部地域 (30.8%)」「西部地域 (28.6%)」「河辺地域 (50.0%)」となっている。

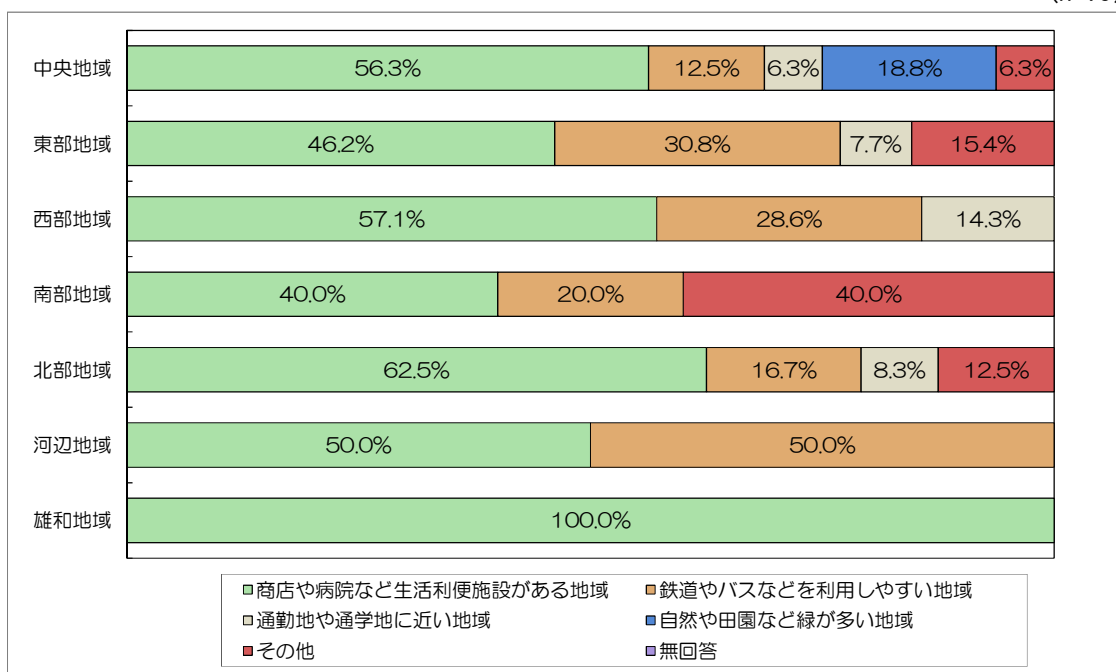
【年代別集計】

(n=73)



【地域別集計】

(n=73)



2 徒歩や自転車、自動車の交通環境

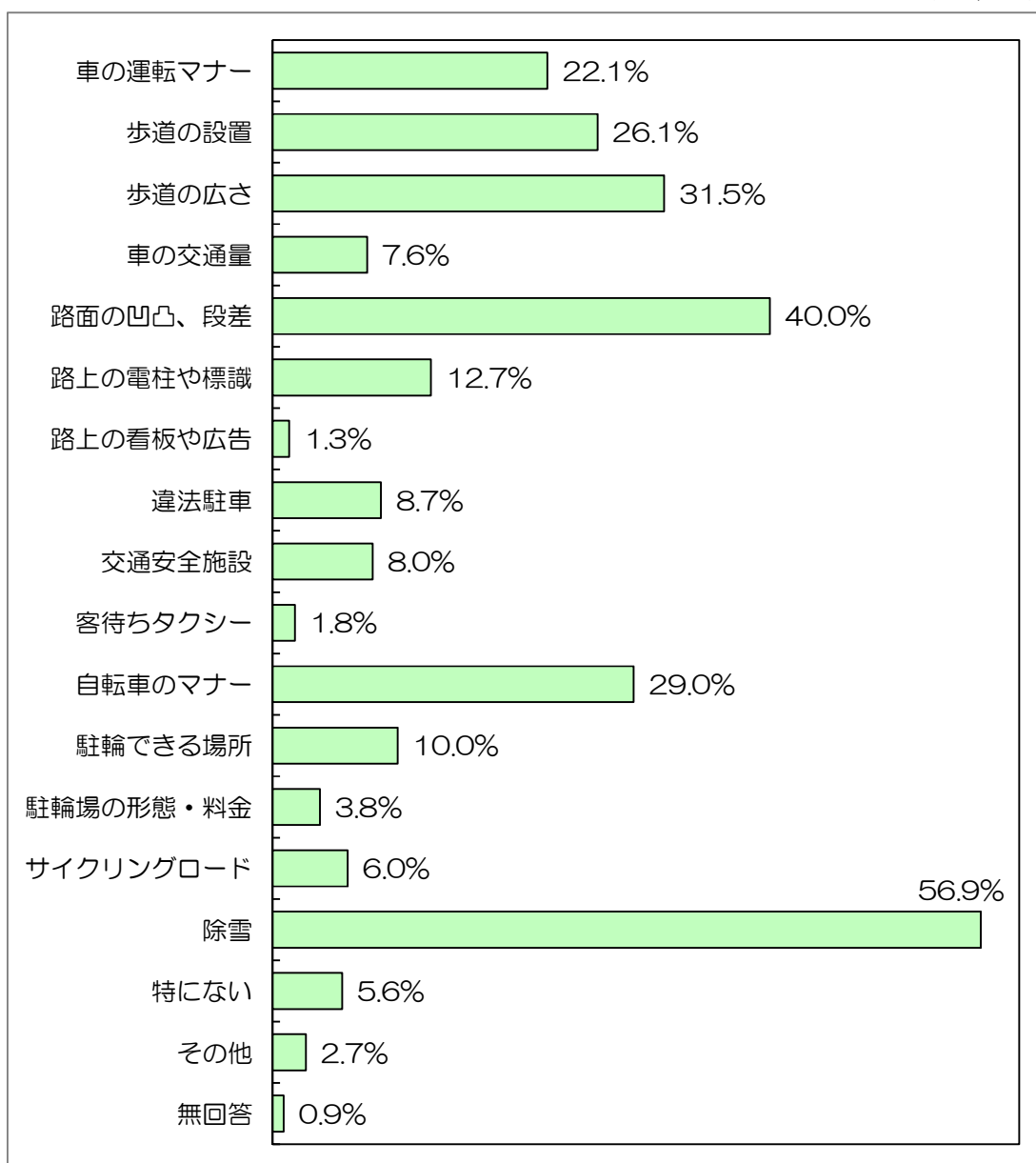
(1) 徒歩や自転車の利用に際しての改善点

ア 全体集計

- 徒歩や自転車の利用に際しての改善点で、割合が最も高いのは、「除雪（56.9%）」で、次いで「路面の凹凸、段差（40.0%）」「歩道の広さ（31.5%）」「自転車のマナー（29.0%）」の順となっている。

問 13 徒歩や自転車の利用に際しての改善点についてお聞きします。（3つ選択）

(n=1,231)



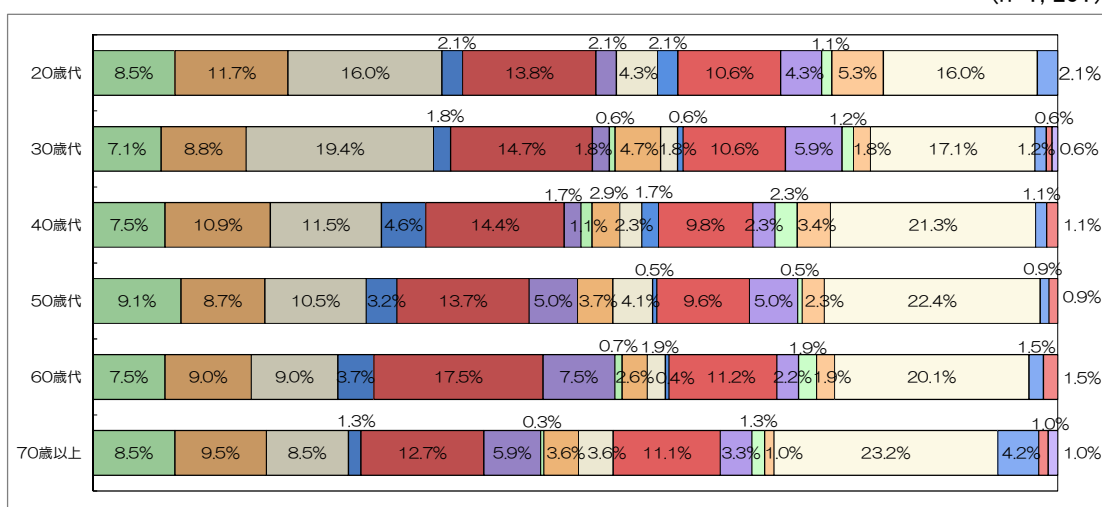
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

イ 「徒歩や自転車の利用に際しての改善点×年代」および「徒歩や自転車の利用に際しての改善点×居住地域」のクロス集計

- 年代別では、すべての年代で「除雪」の割合が高く、年代が上がるにつれて、高くなる傾向がある。その他の特徴としては、「歩道の広さ」で「20歳代」「30歳代」の割合が、他に比べて高くなっている。
- 地域別では、すべての地域で「除雪」の割合が高く、その中で特に高いのは、「南部地域（24.1%）」「河辺地域（24.4%）」となっている。その他の特徴としては、「河辺地域」の「路面の凹凸、段差」「自転車のマナー」「駐輪できる場所」の割合で他の地域と違いがみられる。

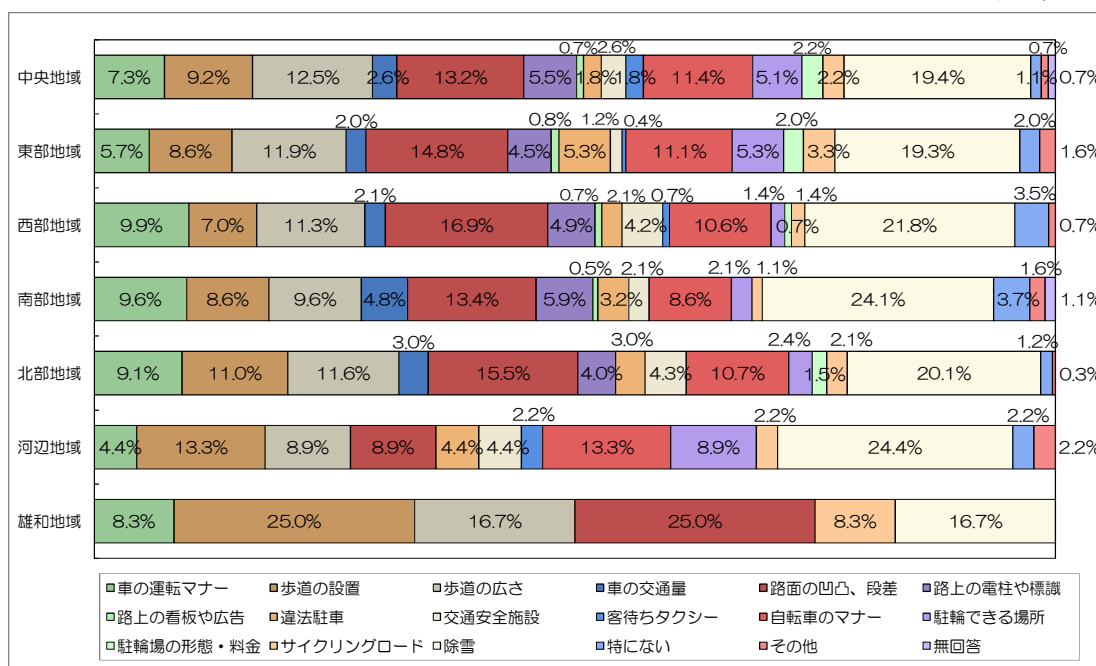
【年代別集計】

(n=1, 231)



【地域別集計】

(n=1, 231)



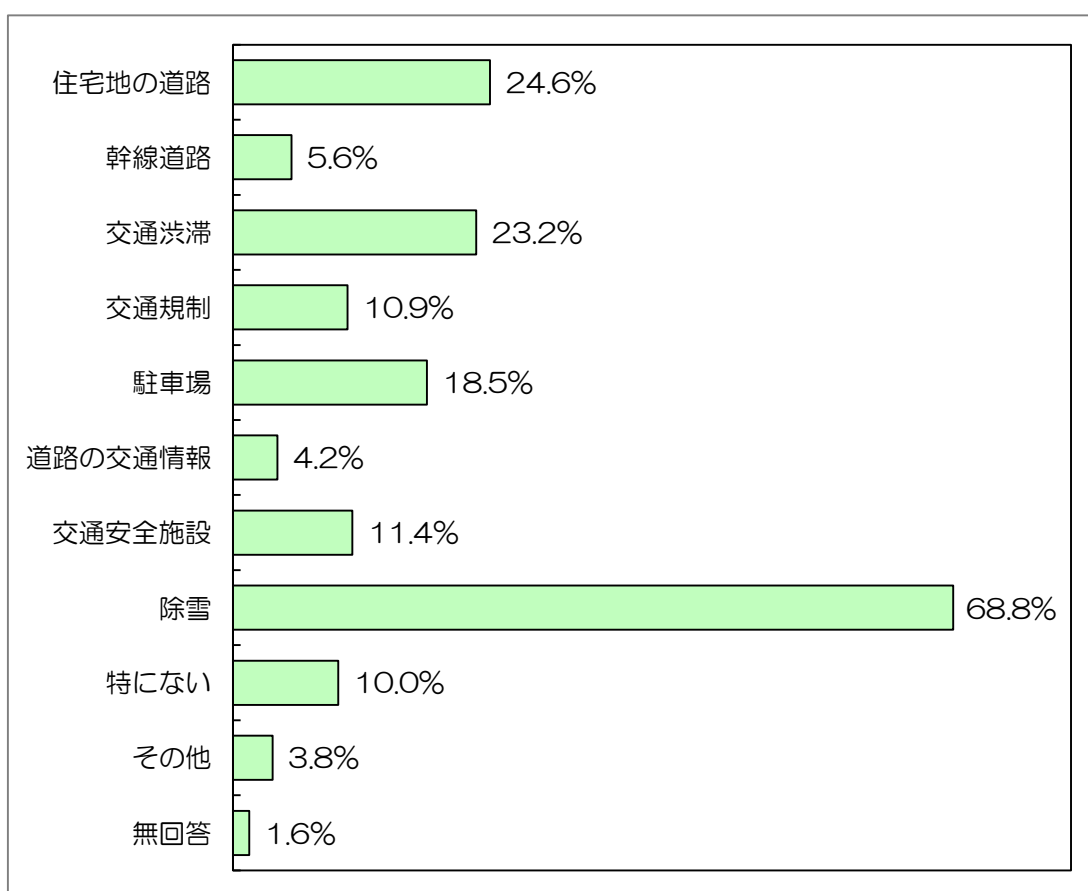
(2) 自動車の利用に際しての改善点

ア 全体集計

- 自動車の利用に際しての改善点で、割合が最も高いのは、「除雪(68.8%)」で、次いで「住宅地の道路(24.6%)」「交通渋滞(23.2%)」「駐車場(18.5%)」の順となっている。

問 14 自動車の利用に際しての改善点についてお聞きします。(2つ選択)

(n=818)



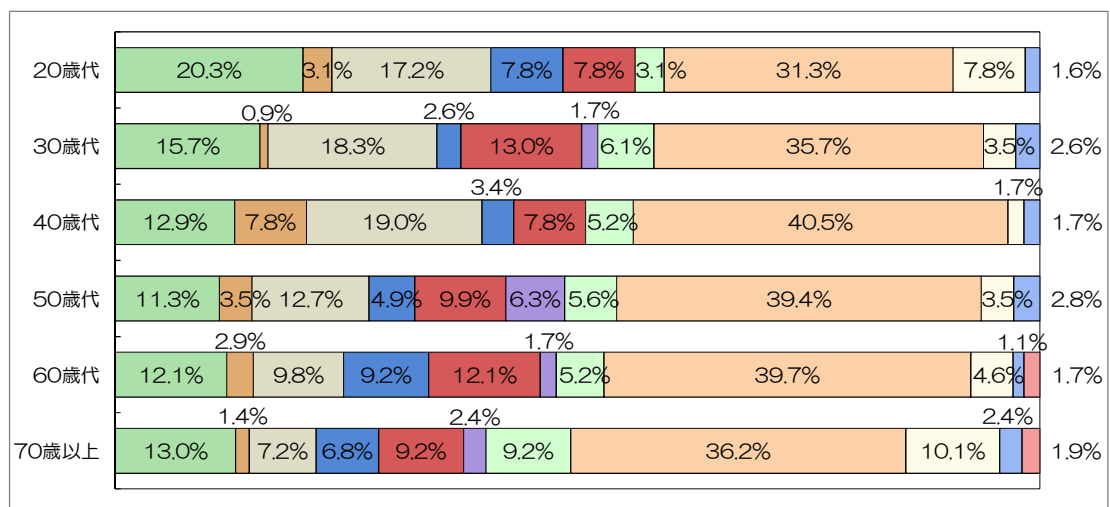
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

イ 「自動車の利用に際しての改善点×年代」および「自動車の利用に際しての改善点×居住地域」のクロス集計

- 年代別では、すべての年代で「除雪」の割合が最も高くなっている。その他の特徴として、「20歳代」「30歳代」は、他の年代と比べて「除雪」の割合が低く、「住宅地の道路」「交通渋滞」の割合が高くなっている。
- 地域別で、「除雪」の割合が高いのは、「河辺地域」となっている。それ以外で違いがみられ、割合が高くなっているのは、「住宅地の道路」が「東部地域」「北部地域」、「交通渋滞」が「東部地域」「河辺地域」、「交通規制」が「中央地域」「東部地域」となっている。

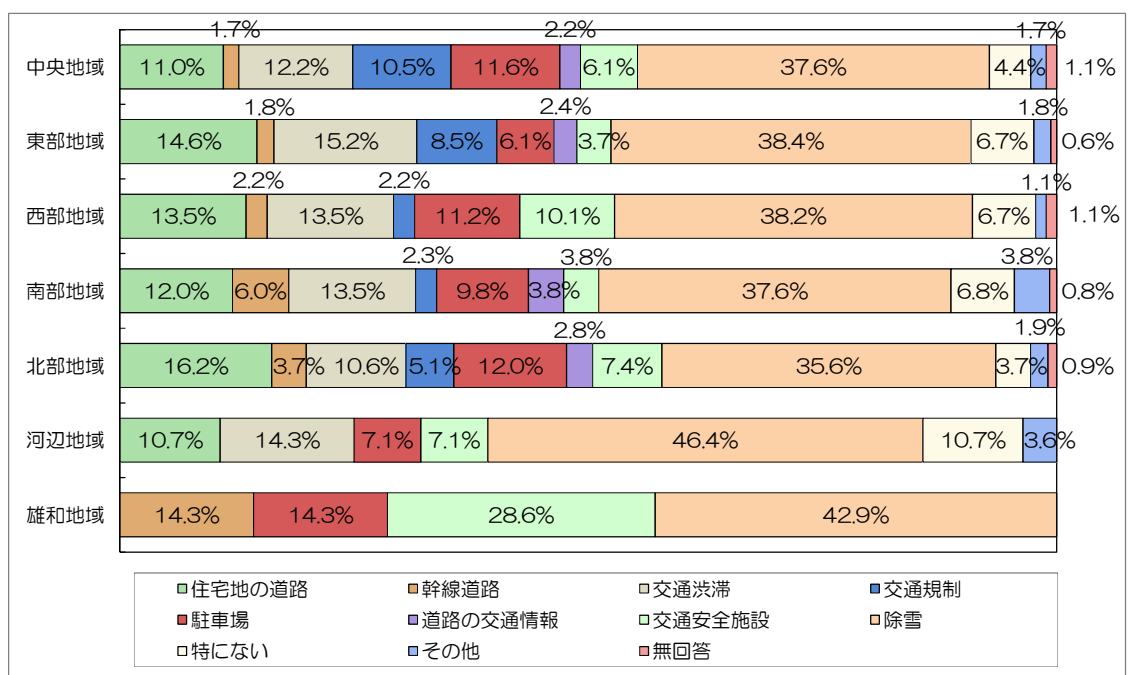
【年代別集計】

(n=818)



【地域別集計】

(n=818)



3 まちづくりの方針や土地利用のルールを理解度

(1) 秋田市のまちづくりの方針について

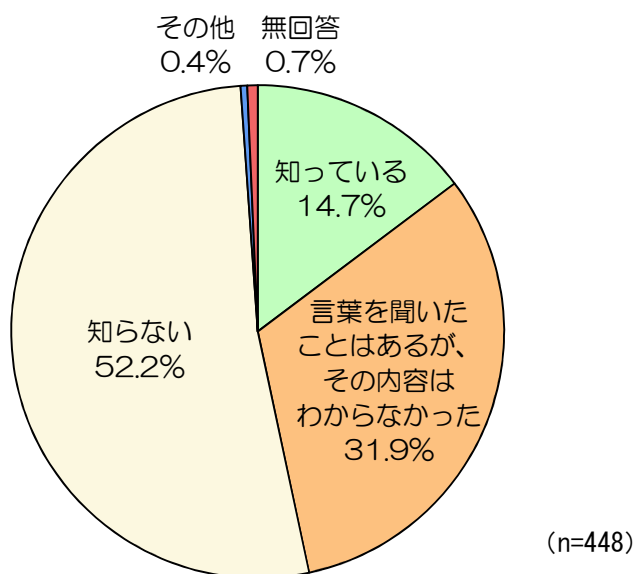
ア 全体集計

- 本市のまちづくりの方針について、「知らない」「言葉を聞いたことはあるが、その内容はわからなかった」とする人は、8割を超えている。

【秋田市のまちづくりの方針】

秋田市では、今後の人口減少・少子高齢化を見据え、将来とも市民が身近に様々なサービスを受けられるよう、市街地の拡大を抑制しながら、都心・中心市街地と6つの地域中心に生活に必要なサービス機能（医療・福祉、商業、行政等）を集約した多核集約型の「コンパクトシティ」を目指しています。

問 15 前記の「秋田市のまちづくりの方針」を知っているかどうかお聞きします。
(1つだけ選択)

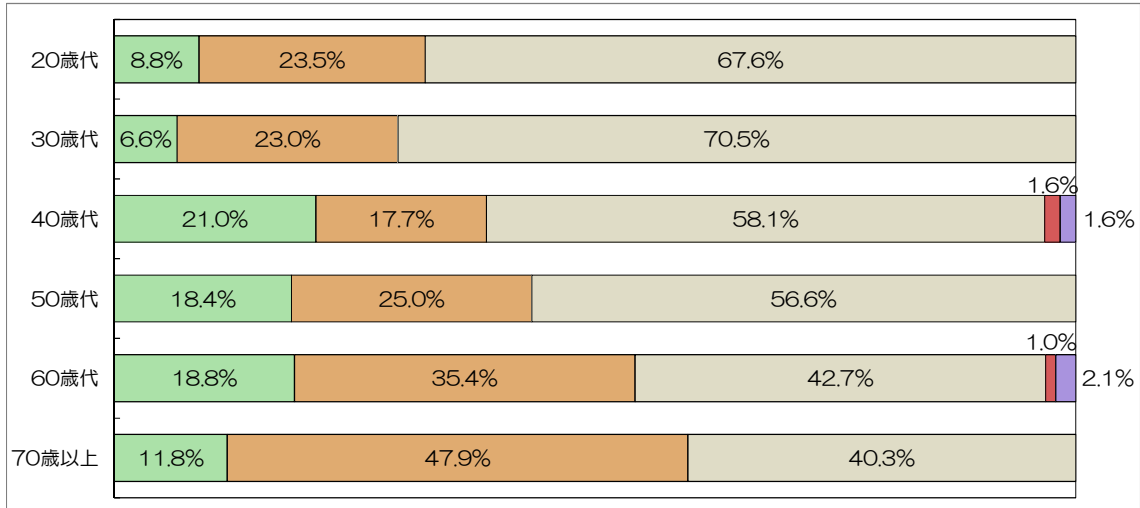


イ 「秋田市のまちづくりの方針について×年代」および「秋田市のまちづくりの方針について×居住地域」のクロス集計

- 年代別で、「知らない」とする割合が高いのは、「20歳代（67.6%）」「30歳代（70.5%）」となっている。
- 地域別では、大きな差がみられないものの、「知らない」の割合が低いのは「東部地域（42.7%）」となっている。

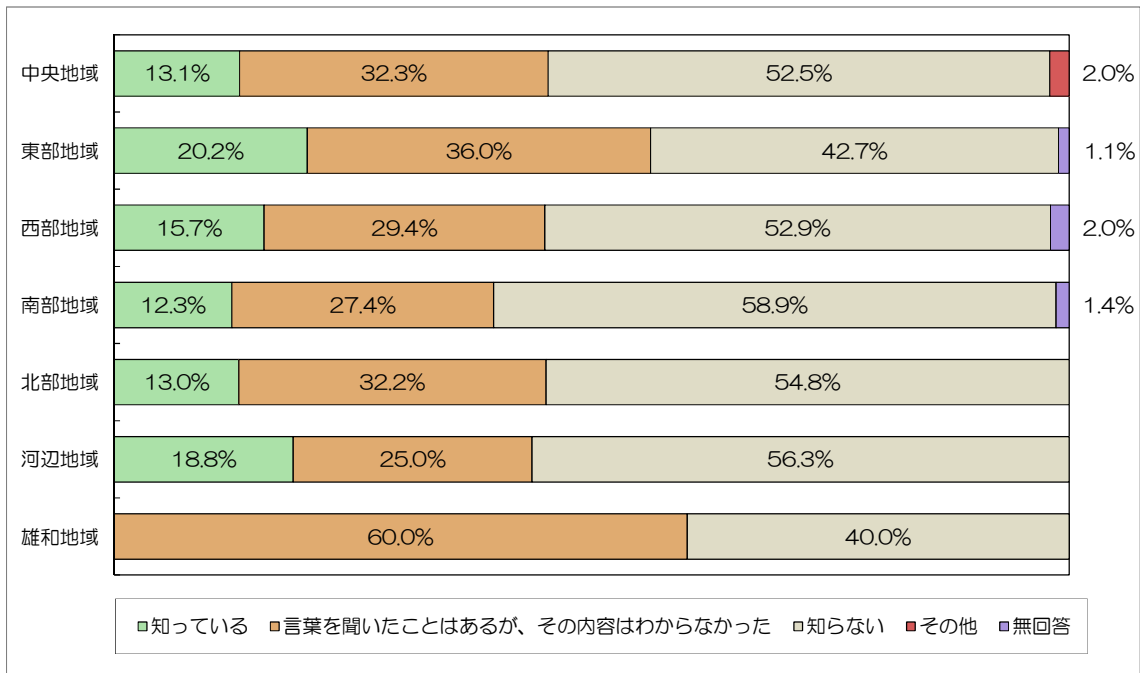
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

(n=448)



(2) 秋田市の土地利用のルールについて

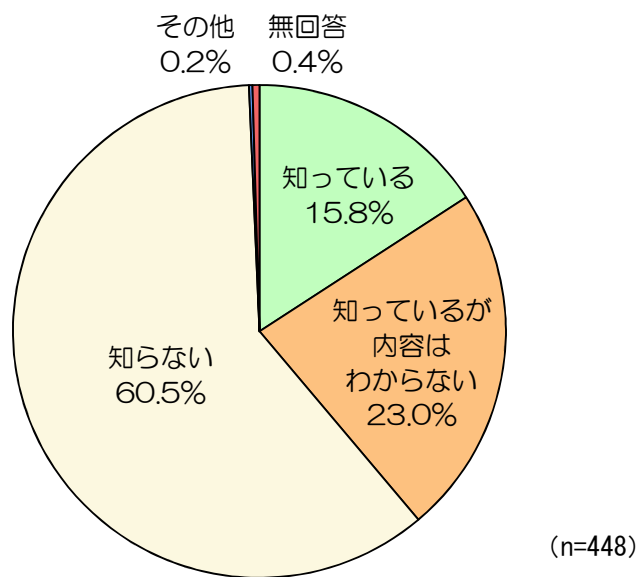
ア 全体集計

- 本市の土地利用のルールについて、「知らない」「知っているが内容はわからない」とする人は、8割を超えている。

【秋田市の土地利用のルールに関する取組】

秋田市では、都市計画の対象となる区域を決めて、市街化区域（都市的地域として生活や経済活動を行う場）と市街化調整区域（市街化を抑制して良好な営農や自然環境を保全する場）に区分し、市街化区域では、住居、商業、工業に大別して土地の使い方や建物の建て方のルールを定めています。

問 16 前記の「土地利用のルールに関する取組」を知っているかどうかお聞きします。（1つだけ選択）

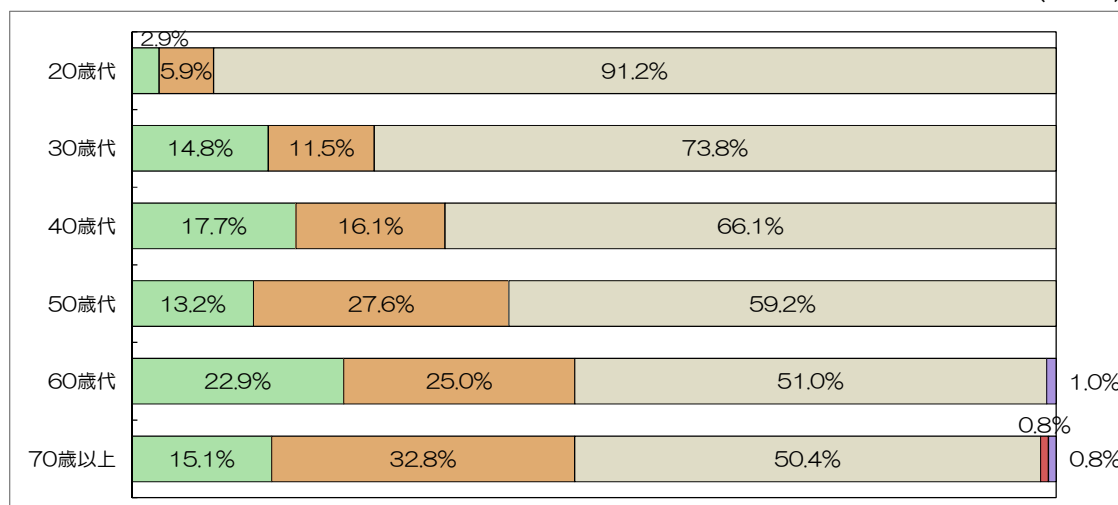


イ 「秋田市の土地利用のルールについて×年代」および「秋田市の土地利用のルールについて×居住地域」のクロス集計

- 年代別で、「知らない」「知っているが内容はわからない」とする割合が最も高いのは、「20歳代（97.1%）」となっている。なお、年代が上がるにつれて「知らない」「知っているが内容はわからない」の比率に変化がみられる。
- 地域別では、「知らない」「知っているが内容はわからない」の比率に違いがあるものの、「知っている」の割合に大きな違いはみられない。

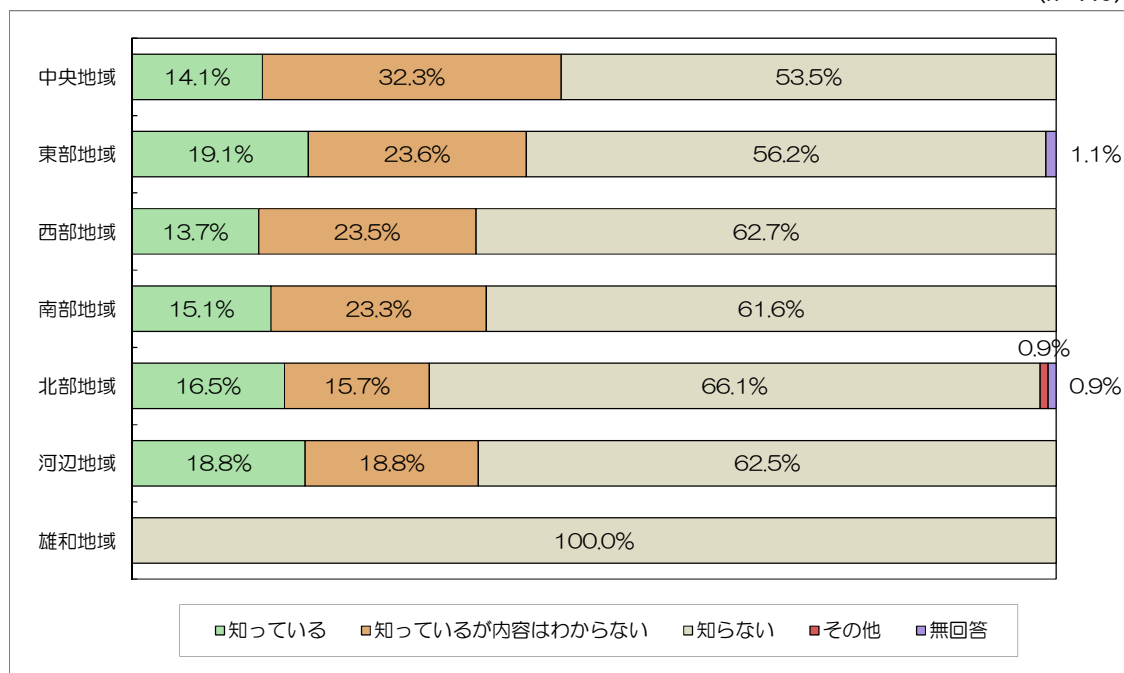
【年代別集計】

(n=448)



【地域別集計】

(n=448)



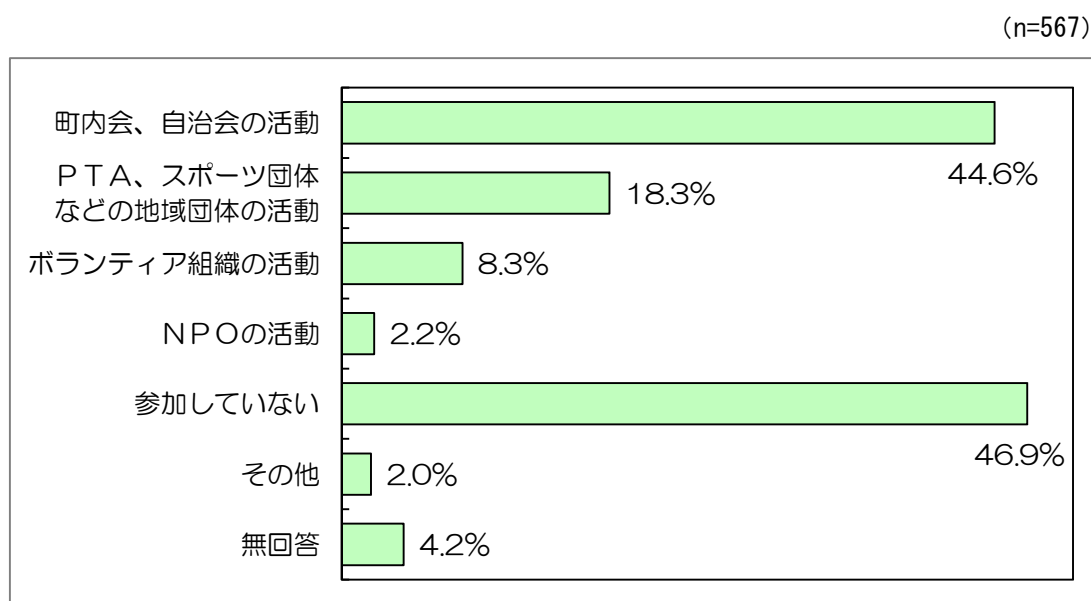
4 まちづくりへの住民参加

(1) まちづくり活動への参加状況

ア 全体集計

- まちづくり活動への参加で割合が高いのは、「町内会、自治会の活動 (44.6%)」「参加していない (46.9%)」となっている。

問 17 あなたの「現在のまちづくり活動への参加状況」についてお聞きします。
(該当するものをすべて選択)



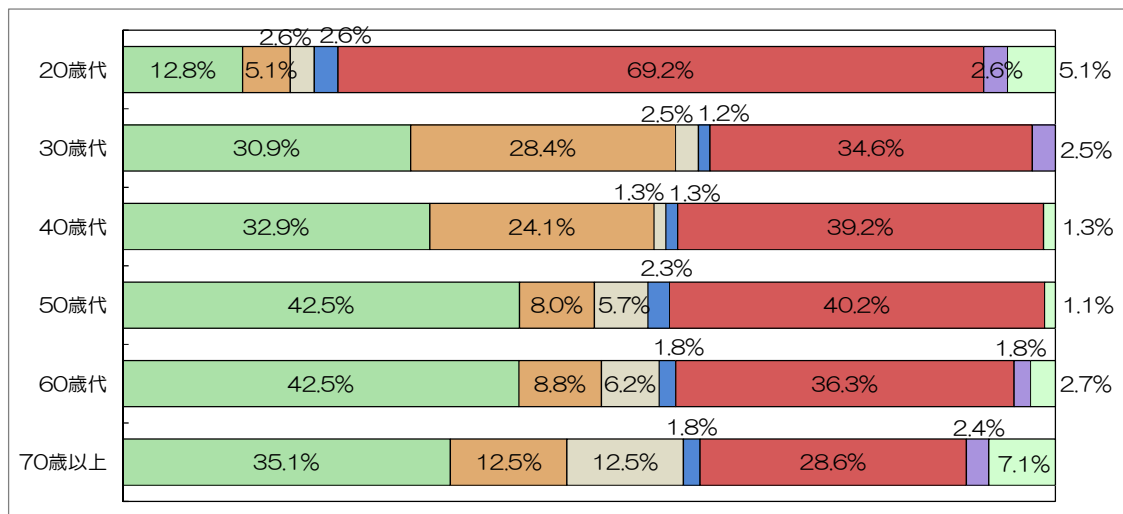
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

イ 「まちづくり活動への参加状況×年代」および「まちづくり活動への参加状況×居住地域」のクロス集計

- 年代別では、「町内会、自治会の活動」が、年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。「20歳代」は「参加していない(69.2%)」の割合が際だって高くなっている。
- 地域別では、「河辺地域」が他の地域と比べて、「町内会、自治会の活動(27.8%)」「PTA、スポーツ団体などの地域団体の活動(5.6%)」の割合が低くなっている。

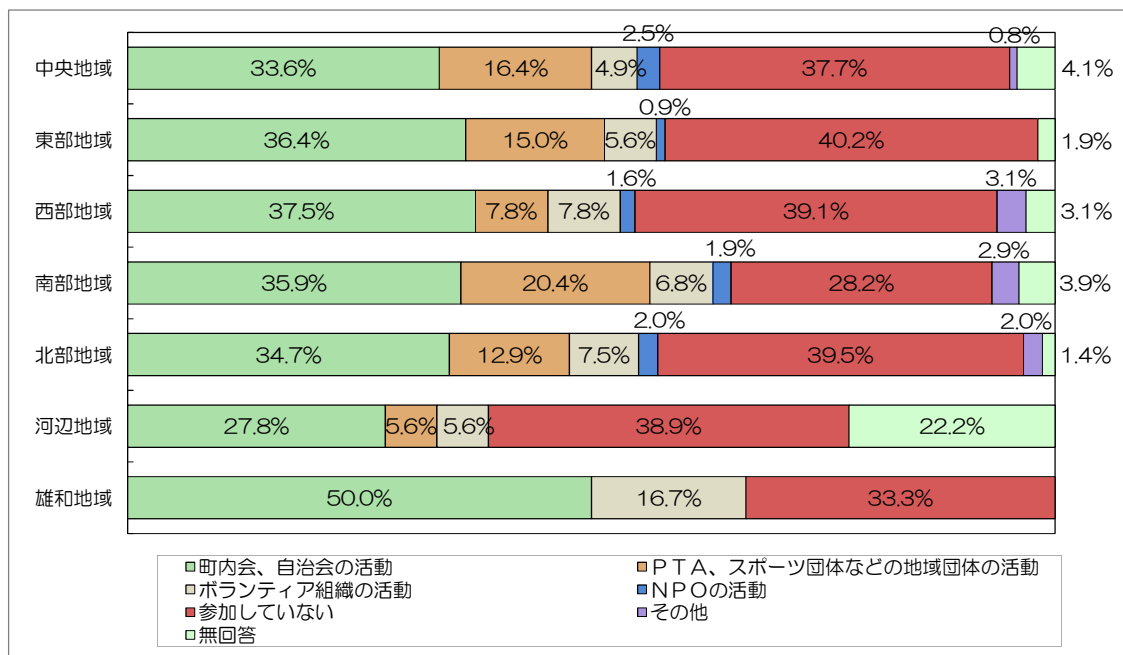
【年代別集計】

(n=567)



【地域別集計】

(n=567)

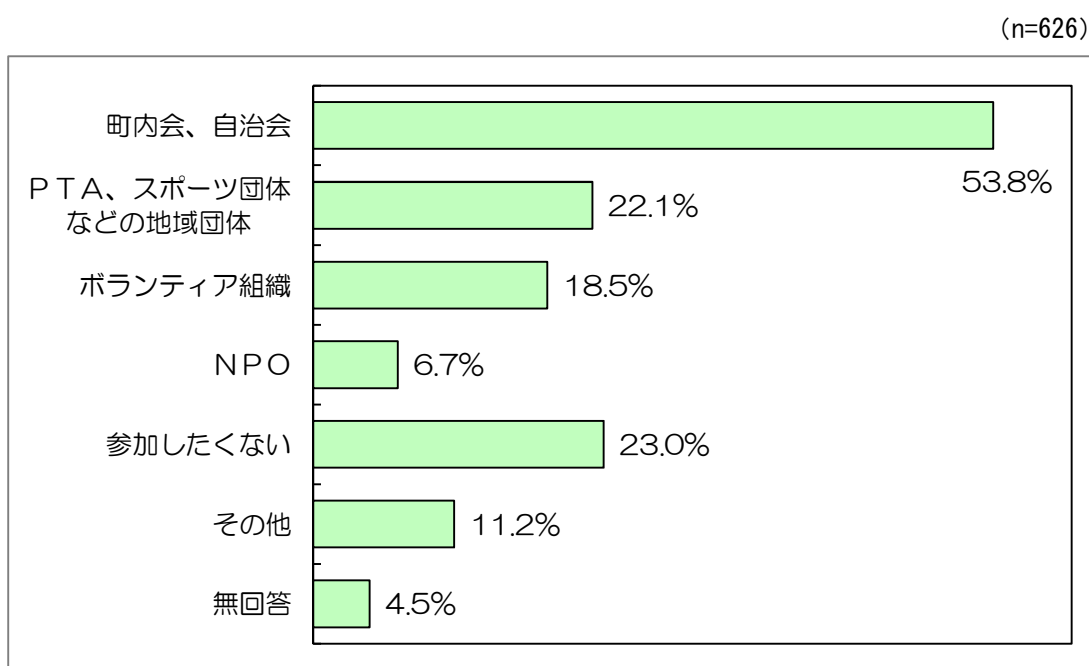


(2) まちづくり活動への参加意向

ア 全体集計

- 今後のまちづくり活動への参加については、「町内会、自治会 (53.8%)」が最も高く、次いで、「参加したくない (23.0%)」「PTA、スポーツ団体などの地域団体 (22.1%)」「ボランティア組織 (18.5%)」の順となっている。

問 18 あなたの「今後のまちづくり活動への参加の意向」についてお聞きします。(該当するものをすべて選択)



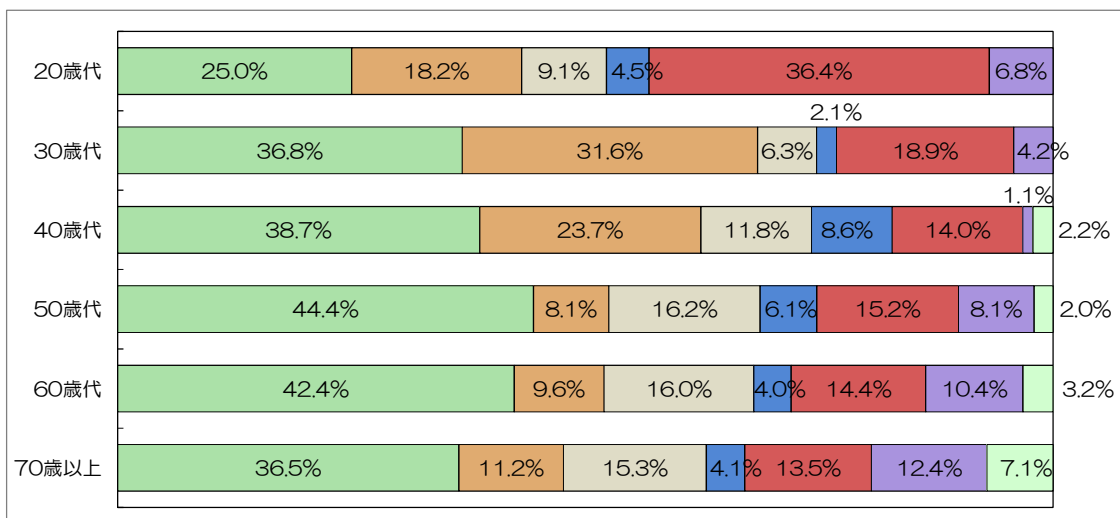
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

イ 「まちづくり活動への参加意向×年代」および「まちづくり活動への参加意向×居住地」のクロス集計

- 年代別の「町内会、自治会の活動への参加」の割合は、年代が上がるにつれて高くなり、「70歳以上」になるとその割合が低くなる。その他の特徴としては、「30歳代」で、「PTA、スポーツ団体などの地域団体への参加(31.6%)」の割合が高くなっているほか、「20歳代」で「参加したくない(36.4%)」の割合が高くなっている。
- 地域別では、「PTA、スポーツ団体などの地域団体の参加」で差がみられる。

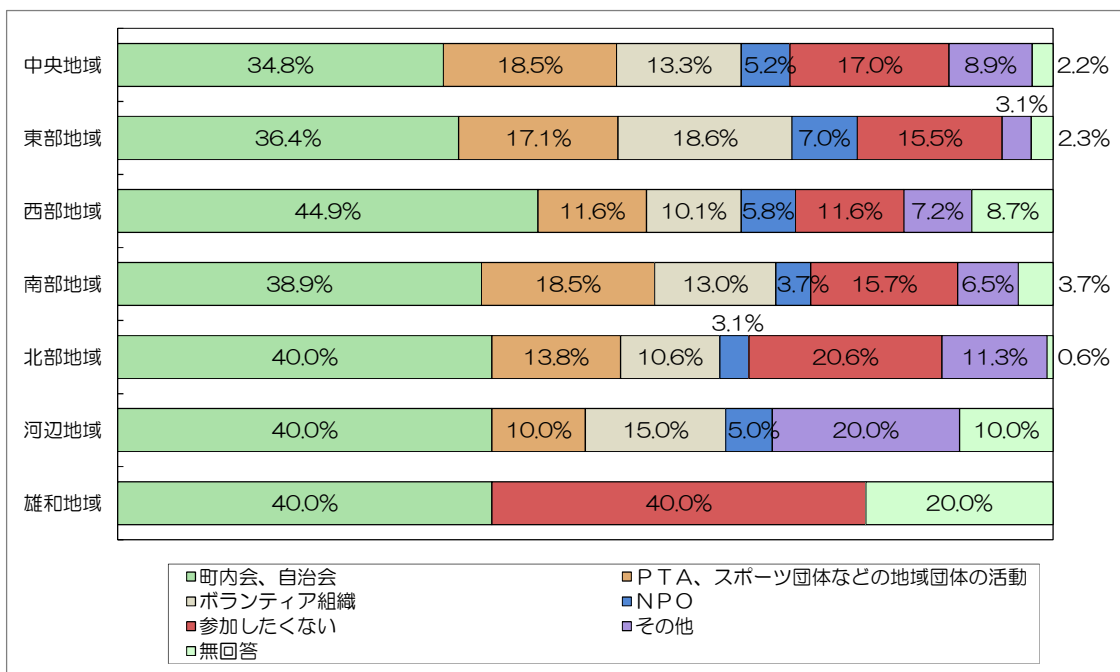
【年代別集計】

(n=626)



【地域別集計】

(n=626)



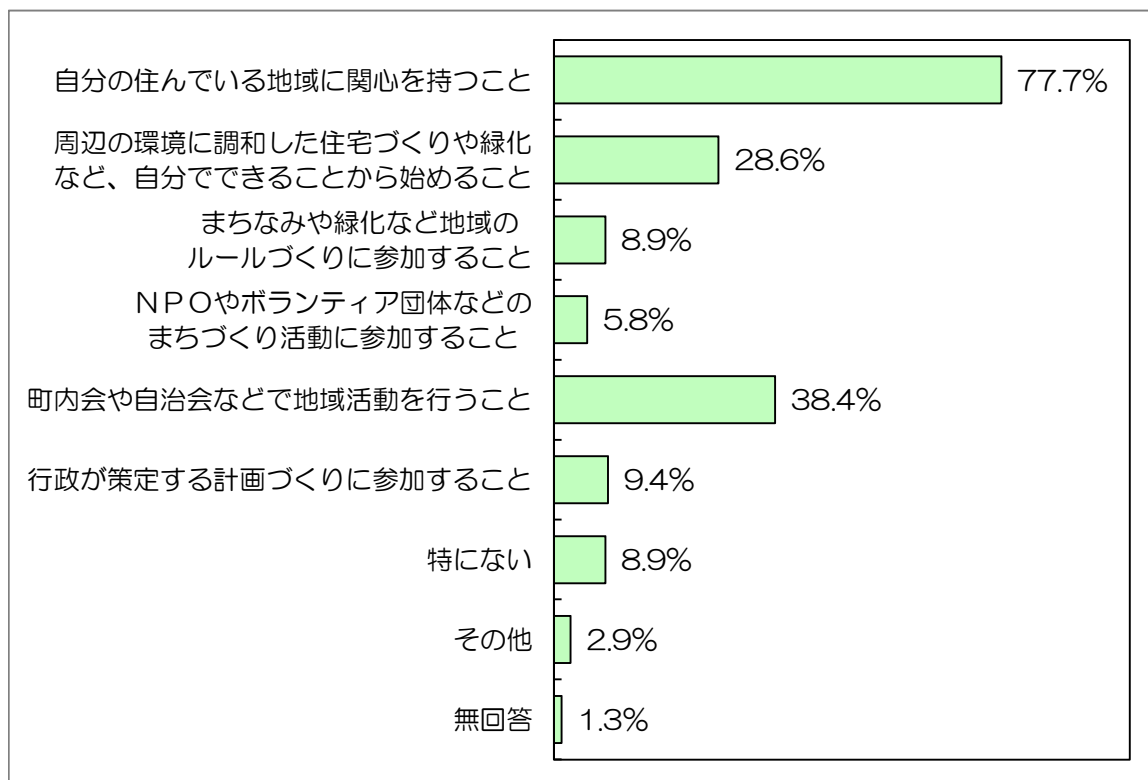
(3) まちづくりを進める中で、市民として大切だと思うこと

ア 全体集計

- まちづくりを進める中で、市民として大切だと思うことについては、「自分の住んでいる地域に関心を持つこと（77.7%）」の割合が最も高く、次いで「町内会や自治会などで地域活動を行うこと（38.4%）」「周辺の環境に調和した住宅づくりや緑化など、自分でできることから始めること（28.6%）」の順となっている。

問 19 あなたが「まちづくりを進める上で市民の役割として大事だと思うこと」をお聞きします。（2つ選択）

(n=815)



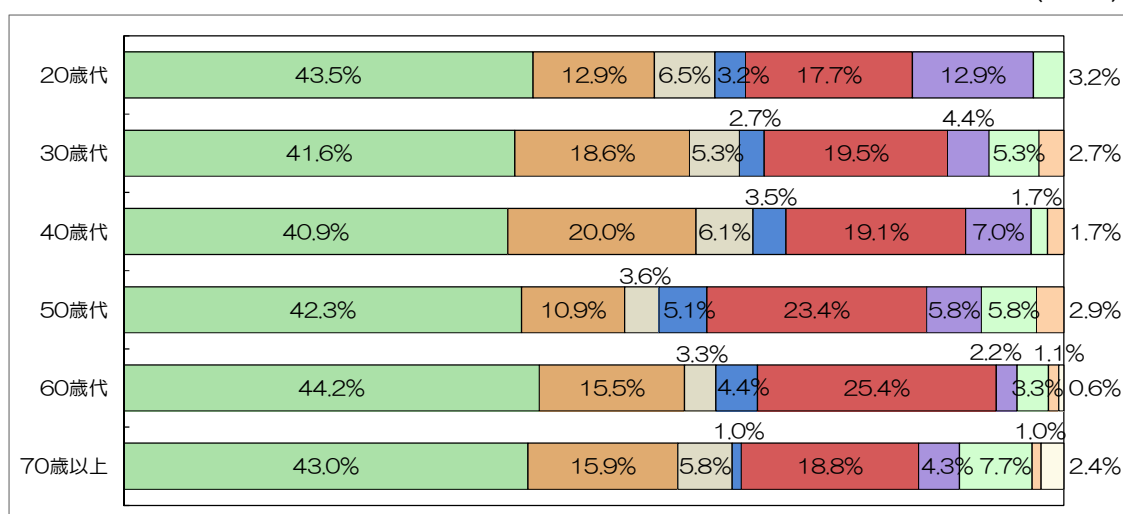
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

イ 「まちづくりを進める中で、市民として大切だと思うこと×年代」および「まちづくりを進める中で、市民として大切だと思うこと×居住地域」のクロス集計

- 年代別では、大きな差がみられないが、年代間の特徴として「30歳代」「40歳代」で「周辺の環境に調和した住宅づくりや緑化など、自分のできることから始めること」の割合が高く、「50歳代」「60歳代」で「町内会や自治会などで地域活動を行うこと」の割合が高くなっている。
- 地域別でも、大きな差はみられないが、地域間の特徴として「河辺地域」の「周辺の環境に調和した住宅づくりや緑化など、自分のできることから始めること」「NPOやボランティア団体などまちづくり活動に参加すること」で他の地域と違いがみられる。

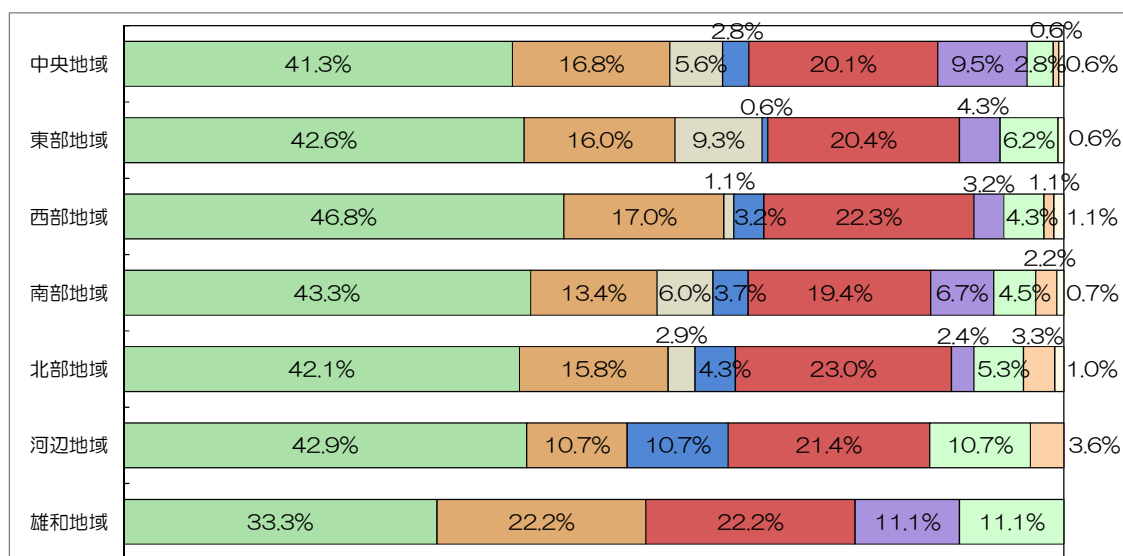
【年代別集計】

(n=815)



【地域別集計】

(n=815)



- 自分の住んでいる地域に関心を持つこと
- 周辺の環境に調和した住宅づくりや緑化など自分のできることから始めること
- まちなみや緑化など地域のルールづくりに参加すること
- NPOやボランティア団体などまちづくり活動に参加すること
- 町内会や自治会などで地域活動を行うこと
- 行政が策定する計画づくりに参加すること
- 特になし
- その他
- 無回答

5 自由意見（都市計画の取組について）

・自由意見は、98人から144件の意見が寄せられた。その中で、意見が多かったのは、「道路の整備や管理に関すること（11件）」「外旭川地区の大型複合商業施設構想に関すること（10件）」「バス交通に関すること（10件）」、「秋田駅周辺のまちづくりに関すること（9件）」「中心市街地の活性化に関すること（9件）」「コンパクトシティに関すること（8件）」となっている。

番号	項目	件数	番号	項目	件数
1	道路の整備や管理に関すること	11件	21	市政運営のあり方に関すること	2件
2	外旭川地区の大型複合商業施設構想に関すること	10件	22	新庁舎に関すること	2件
3	バス交通に関すること	10件	23	千秋公園の整備や管理に関すること	2件
4	秋田駅周辺のまちづくりに関すること	9件	24	町内会活動に関すること	2件
5	中心市街地の活性化に関すること	9件	25	防犯対策に関すること	2件
6	コンパクトシティに関すること	8件	26	若者に対するまちづくりでの配慮に関すること	2件
7	街路樹に関すること	5件	27	秋田市のまちづくりのあり方に関すること	1件
8	空き家・空き店舗・空き地に関すること	4件	28	総合都市計画の管理に関すること	1件
9	公園・緑地の整備や管理に関すること	4件	29	交通弱者対策に関すること	1件
10	交通安全対策に関すること	4件	30	交通渋滞対策に関すること	1件
11	高齢者に配慮したまちづくりに関すること	4件	31	災害の予防・減災に関すること	1件
12	都市計画の情報提供に関すること	4件	32	市街地の現状に関すること	1件
13	都市景観に関すること	4件	33	自転車交通の安全対策に関すること	1件
14	まちづくりの視点に関すること	4件	34	自動車交通の安全対策に関すること	1件
15	医療・福祉に関すること	3件	35	市民意見の反映に関すること	1件
16	除排雪に関すること	3件	36	住宅地の土地利用規制に関すること	1件
17	秋田市の魅力創出に関すること	2件	37	住宅のバリアフリーに関すること	1件
18	泉・外旭川新駅（仮称）に関すること	2件	38	都市計画の意見聴取に関すること	1件
19	公共交通の充実に関すること	2件	39	その他	16件
20	子育て環境の向上に関すること	2件			

計 144 件

番号	意見要旨
1	高齡化が進む中、家づくりにおけるバリアフリーは非常に大事だと思います。しかし、バリアフリーへリフォームするにも、資金が必要（個人として難しい面が多い）です。行政の援助、指導が必要だと思いますので、ご支援よろしく申し上げます。【男性、60代、中央】
2	駅東付近に住宅地が多いため、駅周辺が発展しないのではないかと思います。駅周辺が寂しいと、出かけてもウキウキ感がありません。駅東の人たちは、いまさら移住なんてできないですね。区画整理の時にもっと広範囲でやればよかったのにと 생각합니다。【女性、40代、北部】
3	プライバシーの保護を第一優先にしてまちづくりを進めてもらいたい。【男性、50代、西部】
4	秋田が活性化するパターンとして、今年でいうと食と芸能の大祭典のように、1年間こつこつと継続して根気強く、ポイントポイントで秋田県民、他県民を巻き込むように仕掛けてまちづくりをしていけばいいと思います。具体的にこうだとは言えませんが、人の欲求を満たす物や人が集まることではないかと思います。【男性、30代、西部】
5	コンパクトシティは是非推進してほしい。新屋地区に住んでいるが、小児科も産婦人科もなく、車がなければ生活できない。一度、車検中に子供が熱を出したときがあったがとても不便であった。【女性、30代、西部】
6	外旭川地区にイオンを作る計画がありましたが、話を進めた方がこれからの秋田市のにぎわいにも、とても影響があると思う。【女性、40代、中央】
7	市民の足であるバス交通の充実。それにより自家用車利用の減、ひいては交通渋滞の解消につながる。【男性、60代、東部】
8	都市計画に興味が無いわけではないが、秋田市が現在どのようなことを行っているのか、将来的にどの地域をどのようにしていきたいかを知る機会がないので意見や参加をすることができない。市の広報でもっとわかりやすく伝えていくと目にとまりやすい。広報に記載する際にももっと写真やイラストを取り入れてカラーもたくさん入れると見る気になる（フリーペーパーのような）。自分の住む町をもっとよくしたいと思う若い世代（特に子育て世代）は多いと思うので、もっと意見を述べる場を設けると良いと思う。今回のようなアンケートの回数を増やしたりするなど。また、紙面だけではなく、パソコンやスマートフォンから回答できるようにすると回答する側も集計する側も良いのではないかと。【女性、30代、中央】
9	泉外旭川地区への駅の建設や外旭川地区へのイオンの誘致は、コンパクトシティに反していると思います。本当にコンパクトシティを進めていこうとしているのか疑問です。【女性、40代、北部】

番号	意見要旨
10	若者が集まる場所が足りない、大きなライブ会場がほしい。 【男性、40代、南部】
11	両親の特別養護老人ホームへの入所を希望しているが、待機が長すぎる。本当に困っている市民の声が聞こえているのですか。何が都市計画ですか。あなたがたに介護の大変さがわかりますか。待機待ちゼロ。介護職の待遇改善を先にやってください。【男性、50代、東部】
12	秋田市にある公園は整備もされていてとても使いやすい点は良いと思う。ただ、いずれも車がないと行けないので気軽に利用というようにはならない。小規模でもいいので、歩いて行ける公園、緑地をもう少し増やしてほしい。【女性、20代、南部】
13	もっと秋田をCMとかでアピールするとか。例えば秋田で有名なところをPRしたり、秋田市で取り組んでいることを紹介したり、住みよい町で紅葉もきれいですし。スマホで、すぐに見れて、みやすくわかりやすい説明がのってる秋田のHPを作った方がいいのかもしれない。秋田に来る人には地図みたいな観光案内を配るのもいいと思います。 【男性、20代、北部】
14	秋田の高齢化を考えると、市街地への交通手段が不便です。 ①御所野ではなく駅前周辺で買い物をしたくても車で移動は駐車場の料金・時間を考えてしまい、駐車時間内で終えようとしてしまいます。 ②また自転車で出かけるとフォンテ地下・アトリオン地下とも高齢者にはとても利用しにくい構造で、つい市民市場周辺においてしまいます。 ③そこで、バス利用となると、新しい大きな幹線道路では駅前行きバスは1日1、2回しかとまりません。駅前周辺へのバス回数を増やしてほしいと思います。 以上はこれまでも何回もいわれてきたことかと思えます。全部を実行するのは困難と思いますが、1つでも改善して活性を目指してほしいと思います。また、上記については周囲の多くの方々がいつも言っている意見であることを付記致します。【女性、60代、中央】
15	道路自体全くバリアフリーではありません。車中心の社会です。歩行者に優しい道路を作ってほしい。特に雪道。もっと歩道の融雪を進めるべきです。自分が年をとったときのことを考えていないのですか。いらない道路の舗装工事ばかりしないでください。お金の使うところをきちんと考えてください。私たちの税金をまじめに考えて。【女性、70歳以上、東部】
16	たまにバスを利用して駅前に出かけています。年寄りが買い物をしたり、集える場所がもう少しあったらと思います。アーケード街があったらうれしいです。【男性、70歳以上、西部】

番号	意見要旨
17	<p>各々がばらばらに行動するのではなく、たとえば角館のように、統一感のある美しい景観や町並みを作りたいものだと思う。(難しいとは思いますが) 県外や世界からも観光客がきたり、若者が UIJ ターンして、住みたくなるような魅力がほしい。雪寄せは、夜に道の真ん中の雪を除雪車が左右に寄せるだけでなく、ちゃんと雪を持って行ってほしい。毎朝、家の車庫の前に山積みにされてしまった雪の堅い塊を寄せてからでなければ出勤できない冬の生活が辛い。町内会の強制的な行事がとても苦痛。年金生活の年寄りも時間的に余裕があるのかもしれないが、働いて子育てもしていると、町内のお稲荷さんの祭りにあれこれ手伝えと強制されるのがかなり大変。各々やれることをやれるタイミングで取り組むので、強制しないでほしい。 【女性、50代、中央】</p>
18	コンパクトシティ化を進めること。【男性、70代、中央】
19	<p>①電柱・電線の地下化 ②住宅地の生活道路の拡幅を（当面道路の狭い地区からの電柱の除去と電線の地下化を） ③冬場の除雪や緊急車両のスムーズな通行を可能にするため狭小路を運行するバス路線のバスの小型化と待避場所の設置 ④街路樹周辺の雑草の除去と街路樹のチェックと手入れ（町内会と連携し美化協定の締結等ができないものでしょうか）【女性、70代、中央】</p>
20	<p>行政が市民目線にたっていないので関心がわからない。山王地区が中心市街地になるとは思わない。秋田駅中心の東西になると思う。市役所建設地についてはまちづくりを考慮したものではない。駅周辺の事業者の意向で計画を進めている。【男性、50代、北部】</p>
21	<p>道路の工事後（水道工事その他）路面の凸凹が気になる。特にマンホールの高さと路面の高さが気になります。工事後の仕上げの段階で道路課等が立ち会えば防げると思いますが。【男性、70歳以上、東部】</p>
22	<p>秋田市まちづくりの方針の中で、市街地の拡大を抑制しながらとなっているが、現実には縮小に向かっているからコンパクトシティになっていると思う。【男性、60代、東部】</p>
23	<p>現在あるなかいち、なぜあんな小さな県立美術館が必要だったのだろう。県民会館、広小路、今のなかいちの場所すべて使って体育館・音楽ホール・カフェを一体化した建物にすれば人も賑わったのではないか。ノーザンハピネッツの試合にも大勢の人が来るでしょう。アーティストも来るでしょう。お金のかけ方間違っていないですか。もっと県民の声を聞いてほしい。秋田をもっとよくすることを考えてください。【男性、20代、東部】</p>
24	過疎地域対策。【男性、50代、中央】

番号	意見要旨
25	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化、人口減が気になります。20 年位はこのまま秋田にいるつもりですが、その後の状況次第では離れようと思っています。今の秋田にも魅力はありません。他県から来た人に、いいなと思ってもらえる所を増やしてください。衰退の一途をたどっています。 ・アルヴェにある子供広場で遊ぶのに駐車代がかかるのがもったいないです。あれだけいい施設がありながら、子供を大事にするつもりならば無料にしてもらいたい。 ・秋田市の福祉医療費受給証の年齢制限もおかしい。12 才くらいまで引き上げてほしい。 <p>【女性、30 代、西部】</p>
26	<p>イオンタウンの早期着工に取り組んでほしい。【男性、50 代、東部】</p>
27	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市はよく協議しながらまちづくりを進めてほしい。(例)文化施設、スポーツ施設等、秋田には半端な施設しかないと思える。こまち、八橋球場、県立体育館と市立体育館。そんな施設が市内にはたくさんある。今後人口減少になるのだから、もっと県、市が協議しながら進めるべき。 ・コンパクトシティも良いが、車社会を考えるべき。本気でコンパクトシティをやるんだったら、なぜ市役所を駅前にもってこなかったのか。「なかいち」なんか不要だった。半端なコンパクトシティははっきりいって不要。やるんだったらもっと本気でやってほしい。【男性、40 代、東部】
28	<p>空いた店が気になります。緑化をもっと進めてほしいです。</p> <p>【男性、20 代、東部】</p>
29	<p>秋田市のまちづくり方針が「コンパクトシティ」であるし、今後の人口減を考えると外旭川地区への大型商業施設には反対である。</p> <p>【男性、70 歳以上、東部】</p>
30	<p>人口減少は避けて通れない重大な事項です。道路整備にかかる税金も大きいです。交通量に見合った整備を望みます。高額投資による整備よりも安心して暮らせる都市環境の整備をお願いします。【女性、60 代、中央】</p>
31	<p>中心市街地に活気を取り戻すためには、ハピネッツアリーナおよび駐車場を整備することが有効と考える。ハピネッツ（Bリーグ）のシーズン中には隔週の土日3千人～5千人の人が中心市街地を歩くことになるし、試合のない週やオフシーズンには有名なアーティストなどのライブをよびこむことで、アリーナの有効活用・中心市街地のにぎわい創出、若者の秋田離れの抑制など、秋田が抱える問題の解決につながるのではないかと。まちづくりとは単に街を整備するのではなく、ソフト面も考えて頂きたい。6つの中心地域間と中心市街地間の移動も車がメインとなると考えられるため駐車場の整備は欠かせない。【女性、30 代、中央】</p>

番号	意見要旨
32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千秋公園に桜の木を植付けしてもらいたい ・ 市では（ホテル）をふやすため5年計画でやっているのも良いことです。 <p>【男性、70歳以上、東部】</p>
33	<p>草刈りや木の手入れ、あまりされていないと思います。すべて伸び放題です。危ない所にはしっかりガードをつけて下さい。市内には子供達、お年寄りのゆっくりする所、あそぶ所、何もないですね。</p> <p>【女性、70歳以上、東部】</p>
34	<p>泉の近辺に駅の設置計画を聞いたことがあるが。【男性、60代、東部】</p>
35	<p>都市計画をもっとアピールしてください。聞いたこともなかった。</p> <p>【男性、60代、中央】</p>
36	<p>交通環境：「明田地下道」交差点を時差信号にしてほしい。檜山方面から駅東口に右折するのにとても時間がかかる。</p> <p>除雪：大雪が降った際、泉地区の知り合いは除雪がきてくれたと聞かすが、南通築地の主要道路以外は殆ど来てくれない。</p> <p>バス：高齢者が増えて免許返納を推進しているにもかかわらず、バスの時刻改訂のたびに本数が減っていくのはどういうことか。秋田市が市内バスを独占している中央交通に指導又は補助はできないのか。</p> <p>【女性、50代、中央】</p>
37	<p>バス停が昔のように、檜山の大通りあればと思う。特に秋田駅行きのバス停がほしい。【男性、70歳以上、中央】</p>
38	<p>外旭川駅の早期開始を待っています。【男性、60代、北部】</p>
39	<p>保戸野の生鮮市場からまっすぐのびる寺院までの道路に、駅→保戸野→八橋（ナイスの通り）→面影橋→寺内→土崎までのバスを開通してほしい。なんでないのか不思議。不便。【女性、50代、中央】</p>
40	<p>市営旭南住宅に住んでいますが、病気で、妻も足が悪く、町内会の行事に参加できなくなりました。旭南住宅は高齢者が多く、町内会の皆様に大変難儀をおかけしています。当町内会では月1回掃除があり、周りの砂利、草刈、ゴミ拾いなどをしてはいますが私共は何も参加できず、心苦しく思っています。ただ、参加できない世帯から1回欠席につき500円を集金されます。ちなみに私のところは意見書に同意しないと書いたため集金はされていません。ただ、高齢者、若い人でも仕事で欠席される方もいらっしゃるのでは、難しい問題だと思っています。他町内会の現状も新聞等で知る限り同じような問題を持っているようですが、市の考え方、各町内会の情報などを（広報あきた等で）取り上げてほしいと思っています。</p> <p>【男性、70歳以上、中央】</p>

番号	意見要旨
41	<p>これまで各方面からいろいろな様々な意見や希望が寄せられていると思います。その様々な意見等をどう活用されているのか、若しくは、ガス抜きだけなのか。大所高所からの目線ではなく、住人にやさしい環境を作ってほしいと思います。【男、60代、北部】</p>
42	<p>秋田市は降雪地なので雪捨て場に関する基本的なルールを行政が取り決めるべきだと思う。本来であればそのような基本的なルール（マナー）を取り決める（しかも行政が）必要はないと思うが、常識のない方も多いので、行政が立ち入るべきではないかと感じます。転勤のため、市内でアパートを借りて住んでいます。アパート前に周囲の住民がわざわざ雪を捨てに来るのを目にし、（複数人目撃しています。）呆れました。ちなみに、その方々へ注意（アパート前に雪を捨てられると車の出入りに支障があること）したところ、ずっとそこがこのあたりの雪捨て場になっていると言われました。こんな町にだれが住みたがるのでしょうか。他県に住んでもこんな出来事は1度もありませんでした。都市計画には関係ないことでしょうか。【男性、30代、南部】</p>
43	<p>秋田駅東地区に住んでいます。自宅前のゴミ収集場所に投げられる粗大ゴミ、危険なゴミ（ガラス破片など）、時間以外に持ち込むゴミに困っています。東地区は人口が増加しているときいています。モラルの問題でしょうか。【女性、70歳以上、東部】</p>
44	<p>秋田市の都市計画の取組について、一般市民である私はまるで情報がありません。どこで情報を得られるのかをもっとわかりやすくして欲しいです。【男性、30代、中央】</p>
45	<p>駅東地区はまだ計画途中でしょうかアルヴェからステラクリニックに向かって車で走ると、右に大きく曲がるカーブがあり、今春、白線が新しく引かれましたが走行車がいると、大変危険な時があります。どうにか工夫は出来ないのでしょうか。秋銀手形支店の前の信号も中途半端でお年寄りが急いで渡り、危険なときもありました。交通量も増えており、早めに検討していただけたらと思います。【女性、60代、東部】</p>
46	<p>コンパクトシティという言葉はよく聞くし、取り組まれている例もたくさんあるようですが、成功例は聞いたことがありません（知らないだけかもしれませんが）。聞こえは良いですが、メリット、デメリットを検証して秋田市にベストな都市計画を進めてほしいです。都市に病院など集中してしまったら、郊外に住む交通弱者（お年寄りなど）が心配です。その方たちのことも考えていただけたら嬉しいです。【女性、20代、東部】</p>
47	<p>町内の公民館が有効に使えるようになればいいと思う。 【男性、30代、西部】</p>

番号	意見要旨
48	<p>外旭川に建築計画（提案）のある複合型娯楽施設（イオン等）ですが、秋田市の掲げている「コンパクトシティ」の意向にあわないため、実行に移す予定はないという話をよく耳にするのですが、活気のない町に人は住まないし、お金を使わなければ、お金も経済もまわっていかない様に思います。秋田には、若い人が楽しめる場所（年配や家族連れのかたはもちろん）娯楽施設などがとても少ない様に思います。どこかに集まりたくても、遊びたくても、お金を使う場所も限られているし、余計に、財布のヒモも固くなり、活気のない町になる気がします。市民に本意をきいてみたことはあるのでしょうか。みな、その様な意見とします。長い休日になると、秋田には何もないからと市外、県外へ足を伸ばす人たちが私の周りには殆どです。同様に、とても道路が悪い、除雪も他県に比べてとても下手。賃金の低さも、引っ越してきて、とても驚いていますし、上記にもつながりますが、働きたい人はたくさんいます。働く人の労働の確保にもつながるのでは。賃金があまりに低い上に税金も高い。秋田は母子家庭、生活保護者にばかり手厚いように思われます。少子化、高齢化といつもいつも問うのであれば、子供を持つ人たちへのフォローや、支援をもっとするべきでは。また、子供を持ちたいと思う人たち（不妊治療への援助や出会い、結婚へつながる若者たち）にとって活気のあるまちづくりにお金を使ってほしい。これから子供を産み、育てたいと思っている人たちへの補助や高齢者へのサービス、援助等に力を入れてほしい。秋田市は全体的にお金の使い方が下手すぎる。【女性、30代、北部】</p>
49	<p>私の住んでいる地域はほぼマイカーで、買い物などの用を足している方が殆どだと思う。バスを利用している方はお年寄りばかりです。しかも、バスには4、5人か0人、朝は小中学生が利用するが、お年寄りが100円でバスを利用できるのだから、それを利用することによって、観光地に行けるとか、イベントの様なものを準備できればもう少しバス利用者も増え、元気に外出するお年寄りも増えるのではないかと思ったりします。 【女性、50代、西部】</p>
50	<p>年ごとに年寄りが増え、バス利用者が少なくなりましたが、道路が方々に伸びるにつれて、市外にもバスが来てほしいです。今まで利用していたバスも朝早く祝日、祭日は来ない。寺内経由土崎線など病院にいきたくてもバス時間がない有様です。また、新道路が出来たので、土崎方面から県立体育館、県庁市役所～秋田駅あってもよいのでは。利用する人も出かける人も少しは多くなると思う。男の一人暮らしが増えて、特に50歳以上の人がある家の前は草が伸びて見苦しい。まちづくりの一步として草取りの出来ない病気の人には何とか手を伸べてほしいです。【女性、70歳以上、中央】</p>

番号	意見要旨
51	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域への商業施設の進出を緩和して欲しい。外旭川のイオン進出など。 ・コンパクトシティも重要だが、住民の意見も反映させて欲しい。 ・まちづくりが、一部の利権を持っている人に左右されている。 <p>【男性、40代、東部】</p>
52	<p>高齢者世帯が増え、空き家が増えつつあると思う。各々処分できればいいが、費用もかかり放置する傾向にあると思う。家の老朽化が進み景観も悪く、なにより安全面が心配だ。【女性、40代、南部】</p>
53	<p>秋田駅前の再生にこだわりすぎているように思います。地権者の権利が強すぎて再生は無理と思います。中央道が出来てとても行き来しやすくなりました。地下道を増やしてもらえともっと住みやすくなると思います。【男性、50代、西部】</p>
54	<p>全体的に歩道が無く、子供たちの通学時に危険を感じる。中心部のみ歩道の整備ができていますが、現状は中心部の子供の数が減っている状況。【男性、50代、西部】</p>
55	<p>コンパクトシティを目指しているが具体的に知りたい。また、中心市街地及び6つの地域以外の地区について、今後どのような取組で進めていくのかももっと市民に周知すべきだと思う。【男性、40代、南部】</p>
56	<p>動植物との共存を重視して欲しい。空き地、空き店舗、空家に手を加えることで大規模開発等は基本せず。T P Pを踏まえて、農業参入者を増やし、海外に改めて出る→秋田の魅力を発信し、県外からの移住者を増やし、活気ある都市となる。【女性、50代、北部】</p>
57	<p>千秋公園をもっときれいに整備して欲しい。木の手入れ、石垣補修、本丸が暗い。(松がせんていされていない。) 駐車場が少なすぎる。秋田市は他県の客を案内するところが無い。せめて城跡がきれいであれば良い。【女性、70歳以上、中央】</p>
58	<p>町を歩いていると高齢の方たちが多くなったと感じます。</p> <p>①公園の数を増やしてもらいたい。散歩や買い物の途中、疲れ、休みたいときがある。郊外の立派な公園より身近に使いやすい公園の設置を数多く希望します。</p> <p>②高齢者が利用しやすいサロン、カフェや体を動かし、リフレッシュする健康講座の開催をより多くの人に参加できるようにして欲しい。</p> <p>【女性、60代、東部】</p>
59	<p>新しい市庁舎で好影響を蒙っていますが、周囲の方々からは駐車場についてクレームが多く入ります。未完成なのでもう少しの間辛抱して欲しいと話している。【男性、70歳以上、北部】</p>

番号	意見要旨
60	大型公共施設と利便性の良い駐車場の確保。【男性、60代、北部】
61	千秋山崎線（地下道）の早期完成をお願いします。【女性、40代、中央】
62	交番が少なく感じます。治安的に不安を感じます。【男性、40代、中央】
63	車の乗り入れ用なのか、歩道が波のようになっているのをやめてほしい。土地へ入る箇所が道路の縁石で入りにくいので、やめて欲しい。 【男性、30代、中央】
64	都市計画についての意見になるかわかりませんが、空き家を市営住宅や県営住宅のように収入に応じて家賃を決めて貸し出して欲しい。わがまを言うならば、子供が多い家庭を優先的にして欲しい。空き家の問題解決、子供が多い家庭は助かる。一石二鳥ではないでしょうか。予算がというならば市役所内でぺちゃぺちゃ無駄話をしている人員を削減して欲しい。 【女性、30代、中央】
65	コンパクトシティを目指すと言っているが、秋田市の南部地域に比べて、私の住んでいる北部地域にはショッピングセンターが無くて不便である。市ではイオンの進出に反対しているが進出してほしい。結局、買い物する場所がなく、仙台に行ったり、東京に行ったり、通販で洋服や雑貨を購入している。【女性、60代、北部】
66	秋田らしさの追求をして欲しい。都会とは違う、田舎らしさに特化した町にしていきたいです。梶添氏のような問題が起きずに政治が行われているのも好感が持てます。【女性、40代、中央】
67	心配なのは医療と福祉。信頼できる人たちならばいいのだけど。 【女性、40代、中央】
68	外旭川周辺にイオンタウンが計画しているプランに賛成です。少子高齢化をもっと深刻な問題としてとらえた方がいいと思います。そのためには、まず雇用ではないでしょうか。イオンタウンがそれを担うと提案してくれているのに、なかいちをプランしたのは間違いだと思います。先日の食と文化の祭りでは確かに人は集まりましたが、あれはイベントであって、平日から常に集客が無ければ意味がありません。秋田は車社会なのですから、駐車場に料金が発生する場所に日頃から集客を求めようとする事自体に無理があると思います。市民はそのことをわかっています。お金をかけて作ったものを今変更出来ないというのであれば、なかいちを今後どのようにすれば雇用を産み出せるようになるのかを提案していただきたいです。【女性、30代、東部】
69	中心市街地に老若男女関係なく、又、国籍なども関係なく期間を決め住んでもらえるような取り組みをして、もっと秋田を知ってもらえればと思います。【女性、50代、北部】

番号	意見要旨
70	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が多く明るい町でありたい。 ・清掃、草刈り等皆で心合せ清潔に。 ・ベンチ等ちょっと休める所が増えると良い。【女性、60代、南部】
71	<p>今現在、秋田市民が関心・興味を持ち、今までに無かった需要に目を向けて未来への投資をして欲しい。働き世代、子育て世代の気持ちにもっと耳をかたむけて欲しい。秋田北インター・外旭川地区の開発をもっと前向きに行なって欲しい。スポーツ、伝統芸能を活動しやすい施設がもっと増える事を願いたい。【男性、30代、北部】</p>
72	<p>外旭川のイオンを早く作って。御所野は遠い。ガソリン代かかる。時間もかかる。近場はさびれて良いところがない。徒歩で行けるコンビニもない。土崎イオンすたれてる。【女性、30代、北部】</p>
73	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地区は毎回放置されすぎ。人口数もそれなりなのに。実際に人が住んでいる地域の距離が離れているからでしょうか。 ・老人ホームと7号線、デイリー（コンビニ）のある場所、交通量が多くて危険なので、信号を作って欲しいです（桂根海水浴場入口付近）。 ・サイクルロードレーサー（クロスバイク／ロードバイク）に乗っていて、道路上の小石や落とし物（落下物）が多くて、パンクしないか怖いと思ってました。今は都会に引っこしましたが、道路がきれいでその心配がないくらいです。小さなトコロから都会との差、感じますね。 ・秋田駅前の古いビル、せめて色ぬりかえるとか。雑居感がすごい。空地になっているトコロにも何か入れて欲しい。老人向けのお店じゃなくて若者向けのお店をね。だから若い人は秋田を出るんですよ。市場リサーチとかしないのかしら。毎回作る箱物の中身がズレてるんですよねえ。 <p>【女性、20代、西部】</p>
74	<p>土崎駅裏は学生等の通行が多く、自動車での送迎地点になっている。この問題については、住民のみならず、通行人等多くの市民が思っていることであり、市民の意見としてすい上げるしくみを活かして、問題に取り組んでもらいたい。【男性、50代、北部】</p>
75	<p>1か所で必要な物が揃わないので、外旭川地区にイオンのショッピングセンターがあればよいと思います。高齢化に伴い、若者向けの商品や店舗を利用するには土崎から御所野まで行かなくてはならず不便です。コンパクトシティといいますが秋田駅前バス料金、駐車料金が割高なうえ、公共交通手段は時間に対し利用できる本数が少なく、とにかく不便。除雪のやり方も幹線道路優先で、全くひどすぎます。今の秋田市は少数弱者を切り捨てて、困っている人を無視しているような対応に感じます。</p> <p>【女性、20代、北部】</p>

番号	意見要旨
76	<p>住みやすく落ち着いた生活を担保するために、必要不可欠な要素として、街路の景観保全は重要である。然るに、都市計画で道路等が整備されても、景観に全く配慮が欠けているのではないか。即ち</p> <p>①主要な道路の交差点等にある広告、かん板（医療施設等が多い）が景観を著しく損ねている。</p> <p>②街路樹が大きくなりすぎ、剪定に経費をかけているが、不十分であり、ツツジ等の植込みも雑草が繁茂して、害虫が発生している。ほとんどの街路樹は景観に不要であり、伐さいして、見通しの良い街並みにすべきである。見通しが悪いのでコンビニ等の広告塔も必要以上に巨大化しているのではないか。</p> <p>③電線、通信線と街路樹は空間を狭くして、景観を損ねる元凶であり、地中化工事を促進して、抜本的解決をはかるべきである。</p> <p>等々、秋田市単独では困難な事案もあるが、必要であれば法律改正を要求しても良いのではないか。京都市等景観保全に努め、条例化が進んでいる、効果を上げている自治体もあるのではないか。【男性、70歳以上、東部】</p>
77	<p>地域公園等の雑草対策をして欲しい。雑草が伸び放題で害虫等が発生している。【男性、60代、東部】</p>
78	<p>計画を実行したら、その後どのように変化しているのかを担当者がこまめに巡回し、結果を把握して欲しい。計画だけでは意味がない。車道や歩道に融雪の設備をしても稼動していない。税金の無駄遣いである。</p> <p>【女性、60代、西部】</p>
79	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる地域は、住宅道路がせまく、歩道もない。出会い頭の事故になりかねない。 ・住んでいる地域の一部の住宅道路は、両側の歩道が車1台通れるほど幅があるにもかかわらず、車道は車1台しか通れず、いつも対向車とのゆずり合いで、道路の作り方に問題があると思う。 ・秋田市全体の道路の作り方が（出来上がりが）雑。補修工事も雑。もっときれいに仕上げしてほしい。【女性、30代、中央】
80	<p>秋田市の医療・福祉施設は既に郊外に移転し、秋田駅周辺は空洞化して駐車場だけが目立つ。居住者が少なくなり、中心となるべき病院や福祉施設のない秋田駅前をコンパクトシティ化するには無理があると思う。駅前を活性化するなら、大規模な公営住宅（バリアフリーの）を建てるなどすべきではないでしょうか。不便な交通機関を利用してまで駅前に出る必要はない。今、人口が多い地区を早めにコンパクトシティ化して、これ以上人口が拡散しないような方法を考える必要があると思う。</p> <p>【男性、60代、南部】</p>

番号	意見要旨
81	<p>1. 集合住宅地の中にアパートの建設は許可しないで貰いたい。日当りやプライバシーの関係に問題が生じ易いため。</p> <p>2. 駅前の商店街に飲酒店が多く、一般の商店が少ないので、利便性がない。</p> <p>3. 広小路通りに商店が少ないので淋しい。</p> <p>4. 文化施設、特に県立図書館、文化会館などが遠すぎる。</p> <p>【男性、70歳以上、東部】</p>
82	<p>地下街の拡充。【男性、50代、南部】</p>
83	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の害虫駆除を年一回位行ってもらっていますが、歩道いっばいに毛虫が落ちたままになっているので気持ち悪い。駆除後の清掃まで行って安心して歩けるようにしてほしい。 ・犬の散歩をしている人のマナーが悪く、歩道の数か所にふんが落ちたままになっている。街灯がないため、夜はふんが落ちていてもわかりにくい。特に落ち葉の多い秋などは安心して歩くことができない。 ・夜間も安心して歩けるような環境を作ってほしい。 ・高齢化社会となっても、いろいろな場所に移動できる工夫をしてほしい。バスも年々少なくなっているので、小型化し数を多くするなど。老人の移動手段を確保してほしい。 <p>【女性、50代、東部】</p>
84	<p>駅前（西口側）の活性化について引き続き取り組んでもらいたい。千秋公園、県民会館、なかいち、アトリオン、県立美術館等が活かされるような取り組みを考えてもらいたい。【女性、50代、中央】</p>
85	<p>秋田は全国でも高齢者が多い所です。他県、他市のまねをせず</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今、一番必要なものは何か 2. 協力者の年齢を考え、どの程度出来るものか、何が出来るか 3. むだな事、他人のまねをせず一番必要な事に予算を使って欲しい <p>※県、市、町村、その場所その場所必要な物がちがうのはあたりまえです。もう少しその土地に合った町づくりが大切なのではないのでしょうか。まずは、秋田は高齢者が多いと言う事をみとめましょう。それから何が一番必要なのかを考えて下さい。【女性、60代、北部】</p>
86	<p>自分の住んでいる地域、町内は学区が近く、通学路になっているのはいいのだが、小学生、中学生たちのいたずらや不穏行動が最近やけに目立つので学校の先生方やボランティアで指導している方がもっと目配りしてもらえれば非常に助かります。あとは、交通渋滞が気になります。信号機の矢印標示を付けてもらうか、時差式の時間をもっと長めに設定してもらえればいいと思います。【男性、40代、南部】</p>

番号	意見要旨
87	<p>公共交通機関の充実（バスなど）。中心市街地に魅力ある店舗があると良いです。同時にある程度の駐車場があると良いです。</p> <p>【女性、40代、中央】</p>
88	<p>これから更に進展する少子高齢化の中で、誰もが住みやすい地域を目指す秋田市のコンパクトシティへの取り組みには、賛成します。それを実現するために、どうするか。それには、医療・福祉・商業・行政が集約された地域において、それを活用できる地域の環境作りが大切であると考えます。まずは、バスや道路事情を改善し交通の便を良くする事。また、街の施設をアピールするための広報活動など、人々が必要としている場所へ行けることを推進すること。行った施設の職員が接遇をわきまえていること。これらを充実させることが住みやすい地域を作る一助になると考えます。また一番の問題は金銭的、精神的、家族背景的な問題を抱え利用したくてもできない人が沢山存在することで、それらの人々を発掘し行政につなげることで、そこから介護、福祉、医療へつなげる事ができると考えます。それには、社会福祉士を始め、民生委員、地域の住民の連携、地域での住民交流や活動が何よりも大事だと考えます。交流を活性化するためには、更に地域団体の活動や、町内会の活動などをもっと広報し、住民参加を促す必要性があると考えます。地域で何が起きているか、何がおきようとしているかを興味を持てるような働きかけをすることが行政の役割ではないでしょうか。【女性、50代、東部】</p>
89	<p>地域の活性化より、秋田市中心部のまちづくりがなっていないのに危惧する。人の集まりは交通機関の充実と商業施設が基本。「アルヴェ」「なかいち」のようなお役所主導の施設は二の次。大規模商業施設を中核に誘致して、人、小規模商業施設を集める。郊外大規模商業施設はイオンモール御所野で十分。イオンタウンが外旭川に進出するより、アイデアで脳研～中央通りあたりに広小路をつぶしてでも広い土地を確保し、まちづくりを考えてはどうでしょうか。秋田県全体危機感ゼロ。【男性、50代、南部】</p>
90	<p>生活に必要なサービス機能は大変重要なことだとは思いますが、しかし、若い人たちや、観光で訪れている方など、秋田市の財源となる元がないように思います。なかいちがある意味、本来の目的を果たしていないような気がします。中心地に人が集まるようにするにはどうしたらいいのか、本当の生の声を集め、活気ある秋田市になって欲しいです。食と芸能の祭や千秋花火はとても良かったです。スタッフの苦労はあるかとおもいますが、ああいうイベントは今後も行って欲しいです。【女性、40代、河辺】</p>
91	<p>高齢者に配慮したまちづくりして欲しい。車のない人でも便利に移動できるような公共交通機関とか。【男性、60代、北部】</p>

番号	意見要旨
92	<p>街路樹などは定期的に枝払いとかやっていますが、その下の草刈などは出来ていないようです。花などが植えられている所はその所に面している住宅、店舗などが責任を持ってきれいにして欲しい(面しているところだけだったら出来ると思います。)。もう少し環境美化に心を配って欲しい。山王大通りの分離帯の草は竿灯が始まる直前までいつも草ボウボウですが、多年草の花を植えるとか、少し考えてください。【女性、60代、中央】</p>
93	<p>今更何をしてしても遅いと思う。電車・バスは1時間に1本あれば良いほう。自家用車がなければ仕事も日常生活もままならず、高齢者になっても運転しなければならない。毎年の雪かきも年々体にこたえてくる。車の維持費・冬場の暖房費などなど秋田に住むのが苦痛。子供たちも都会に出て帰ってくる気も全くない。秋田はつまらないと言う。東京中心で回っている日本で秋田が今更何をどうしようと変わらない。都市計画で何をやるかは勝手だが、税金は大切に使っていただきたい。【女性、40代、南部】</p>
94	<p>空き家があり、ノラ猫などが住みついています。浄化槽を利用しているところがありますが、点検(年に1度位)しているところ、全く何年もこないところもあり、天気や風向きなどによっては窓があげられない時があります。家庭の事情もあるでしょうが、もう少しなんとかならないでしょうか。下水道などに関するものは衛生面でも都市計画上大切な事だと思います。【女性、60代、西部】</p>
95	<p>信号のない横断歩道で渡ろうとする歩行者がいるのにもかかわらず、一旦停止する車がほとんどないことに疑問を感じています。東小から秋田東幼稚園側へわたる横断歩道をよく利用するのですが、横断歩道の横で下校中の小学生が待っていても一旦停止する車は本当に少ないです。4月には1年生が飛び出して車が急ブレーキをかけているのも目にしました。運転する側の意識の問題だと思いますのでポスターや市のたよりなどで呼びかけて頂ければとてもありがたいです。【女性、30代、東部】</p>
96	<p>巡回バス、通院に利用出来る範囲に路線を作って欲しい。通院に使うタクシー代は大きい。【女性、70歳以上、中央】</p>
97	<p>毎年、夏の時期になると雨による川の氾濫があります。堤防の公共工事をするのも大切だと思うのですが、川そのものの掃除をした方がより良いのではないのでしょうか。川の中には結構ゴミや藻やヘドロなどが蓄積しており、それが氾濫の一要因にもなっているのではないのでしょうか。これからの都市計画において自然災害は避けられないものです。その自然災害の拡大が事前の準備で少しでも被害が少なく押さえるのも大切なことだと思います。【女性、40代、中央】</p>

番号	意見要旨
98	<p>コンパクトシティについては大賛成です。個人的な希望として、中心市街地の外側から秋田駅周辺に気軽に低料金で行けるようになればいいなと思っています。私は、八橋地区に住んでいるのですが、例えば循環バス「ぐるる」が、県庁・市役所付近まで来てくれると、車ではなくバスで駅前へ行く機会がもっと増えると思います。「ぐるる」でなくとも、通常路線の中央交通でも良いのですが、もっとバスが使いやすいように、市民だけが使えるクーポンみたいなものがあったら良いのではと思っています。もしくは、買い物をしたときに、現在駐車場割引券がもらえるように、バスを利用の際もメリットがあって欲しい。低料金で使えるバスがあると、車ではなく、バスを使って駅前まで行く人も多い気がする。極論ですが、多少税金が値上げされたとしても、バスの利用がもっとしやすくあって欲しいです。また、自転車をもうちょっと活用したい気持ちもあります。ですが、現状では、道路が狭く、車もそれなりのスピードで走っているので、歩道がほぼ無いような道を自転車で車道側を走るのは怖すぎる。例えば、旧国道のような通りに関して言えば電柱が邪魔で、車道側へ寄らなければいけなくなる。せめて、電柱を無くすよう、電線を地中に埋めて欲しいと思う。その他の道路にしても、もっと自転車用の道が増えて欲しい。せっかく中心市街地の近くに住んでいて、中心市街地には気になる小さな商店もたくさんあるので頻繁に訪れたいのですが、バスで移動するには交通費が気になり、車で向かうにも駐車料金がかさむような状況にあると足は遠のきません。現状は、駅前付近をはじめ、その他エリアに関しても車を使わなければ行きにくいことがあり、残念な思いがあります。ただし、エリアなかいちができてから、駐車場をよく使わせてもらっています。駅までは少し歩く必要がありますが、駐車料金が安いのは、とてもありがたいです。また、産直のお店もよく使わせてもらっています。地元の野菜が新鮮な状態で気軽に買えるのは、うれしいです。【女性、30代、中央】</p>

第3節 バリアフリーについて

1 バリアフリー等の内容の理解度

(1) バリアフリーの理解度

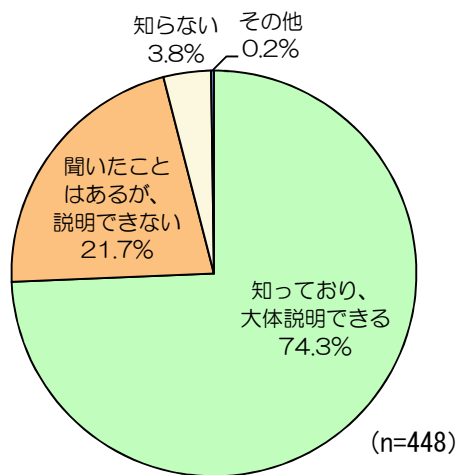
問 20 次の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします。(項目ごとに1つだけ選択)

- 1 バリアフリー
- 2 ユニバーサルデザイン
- 3 ノーマライゼーション

ア バリアフリー

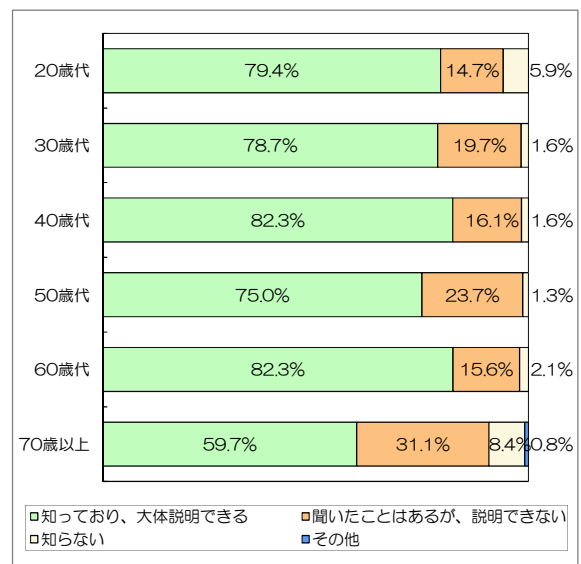
- 全体では、「バリアフリー」を「知っており、大体説明できる」とする人が7割を超えている。
- 年代別では、全世代で「知っており、大体説明できる」の割合が高くなっているが、「70歳以上(59.7%)」は、他の年代と比べてその割合が低くなっている。

【全体集計】



【年代別集計】

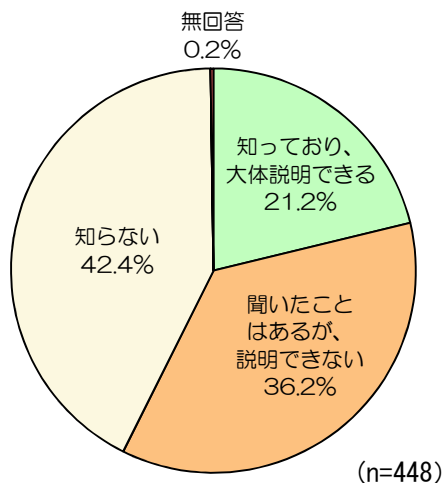
(n=448)



イ ユニバーサルデザイン

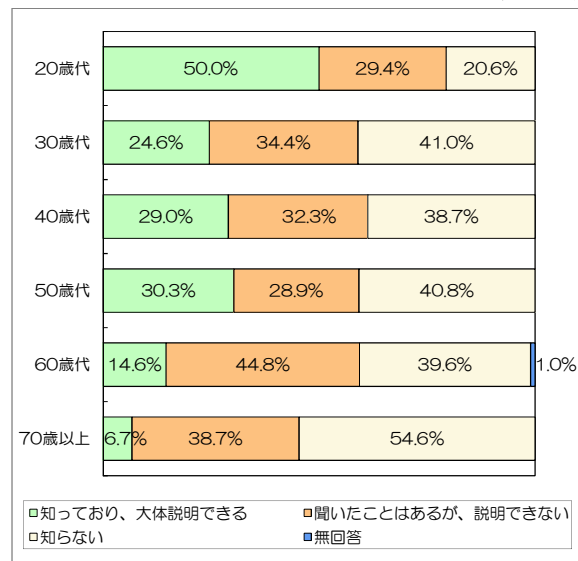
- 「ユニバーサルデザイン」は、言葉だけの認知度は半数を超えているものの、内容の認知度については約2割となっている。
- 年代別では、30歳代以降の世代で「知らない」の割合が高く、年代が上がるにつれて、その割合が高くなっている。「20歳代」については「知っており、大体説明できる」の割合が5割を占めている。

【全体集計】



【年代別集計】

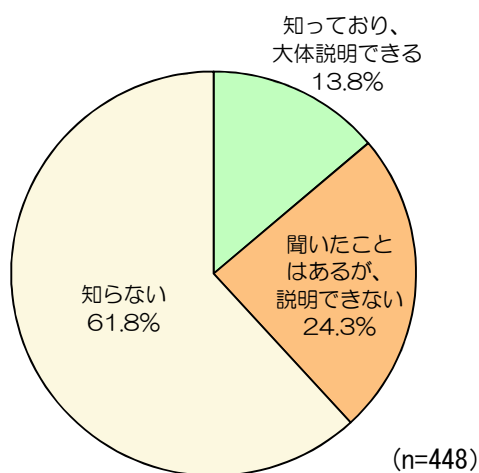
(n=448)



ウ ノーマライゼーション

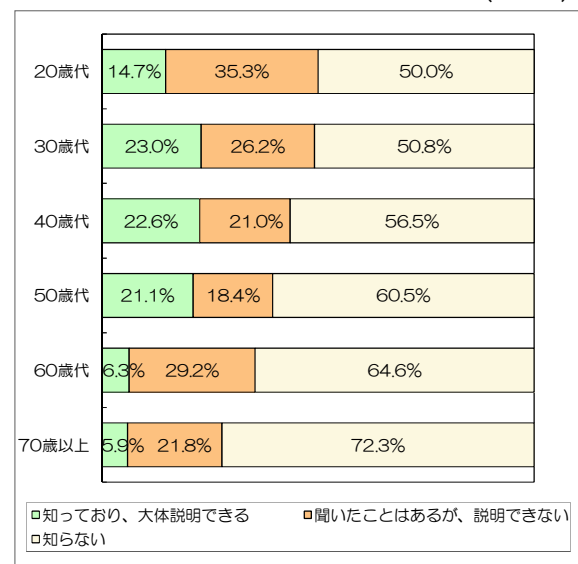
- 「ノーマライゼーション」は、「知らない」の割合が6割を超え、内容の認知度は1割代半ばとなっている。
- 年代別では、全世代とも「知らない」の割合が半数以上を占めており、年代が上がるにつれて、その割合が高くなっている。

【全体集計】



【年代別集計】

(n=448)

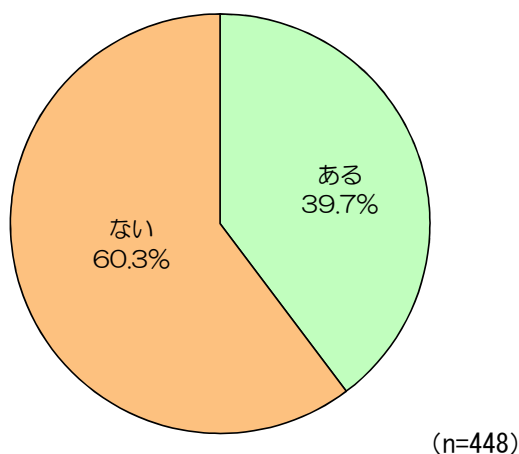


2 心のバリアフリーへの対応

(1) 障がい者や高齢者が困っている場面

- 障がい者や高齢者が困っている場面の遭遇については、「ある」が39.7%、「ない」が60.3%となっている。

問 21 あなたが「ここ1～2年の間に、外出先で、障がい者や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるか」お聞きします。(1つだけ選択)

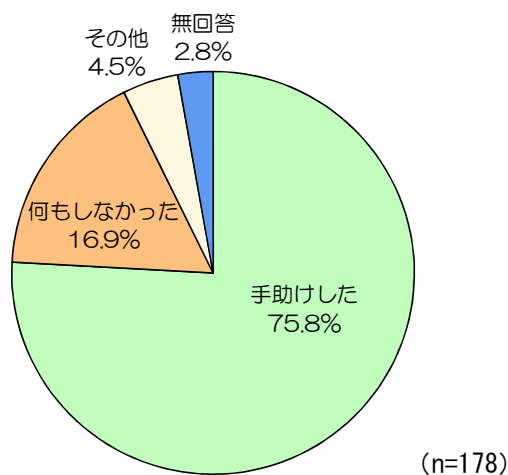


(2) 障がい者や高齢者が困っている際の行動

(問 21 で「ある」を選択した人を対象)

- 困っている人を見かけ、「手助けした」とする割合は75.8%となっている。

問 22 前の問 21 で「ある」を選んだ方にお聞きします。その時にあなたはどのようにしましたか。(1つだけ選択)



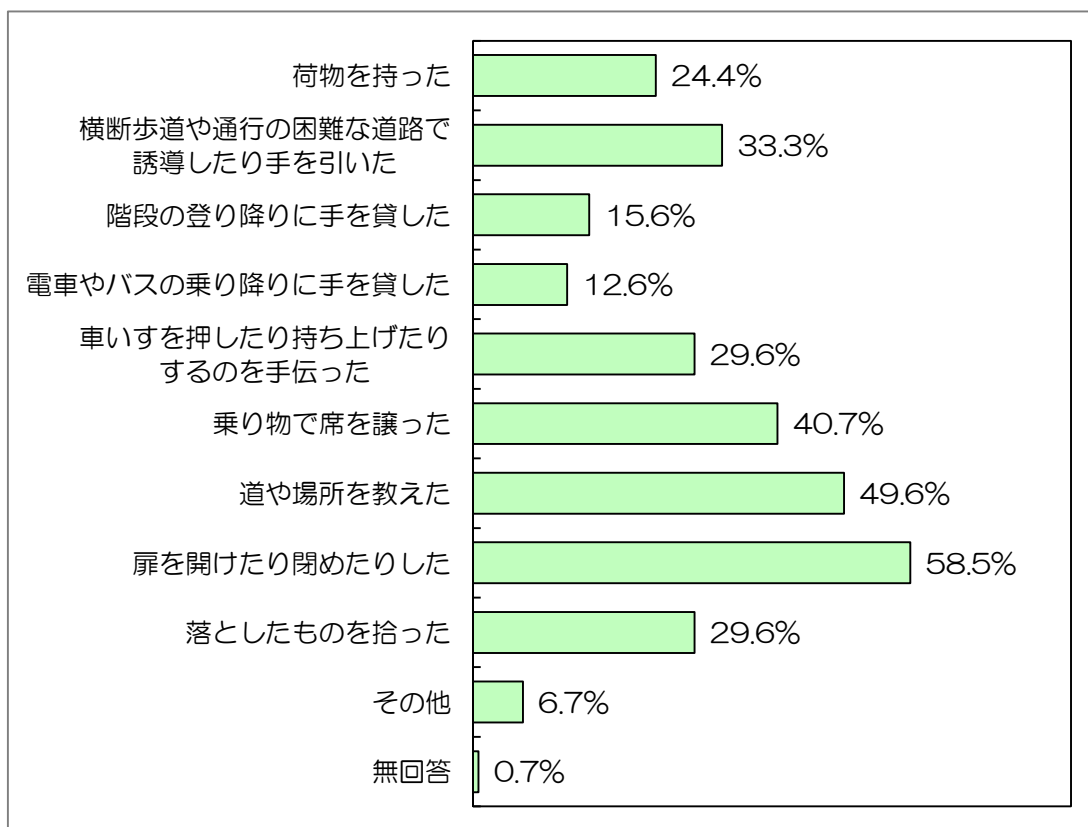
(3) 障がい者や高齢者が困っている際に手助けした内容

(問 22 で「手助けした」を選択した人を対象)

- 手助けの内容で、最も割合が高いのは、「扉を開けたり閉めたりした (58.5%)」で、次いで「道や場所を教えた (49.6%)」「乗り物で席を譲った(40.7%)」の順になっている。

問 23 前記の問 22 で「手助けした」を選んだ方にお聞きします。具体的にどのような手助けをしましたか。(該当するものをすべて選択)

(n=407)



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は 100%にならない。

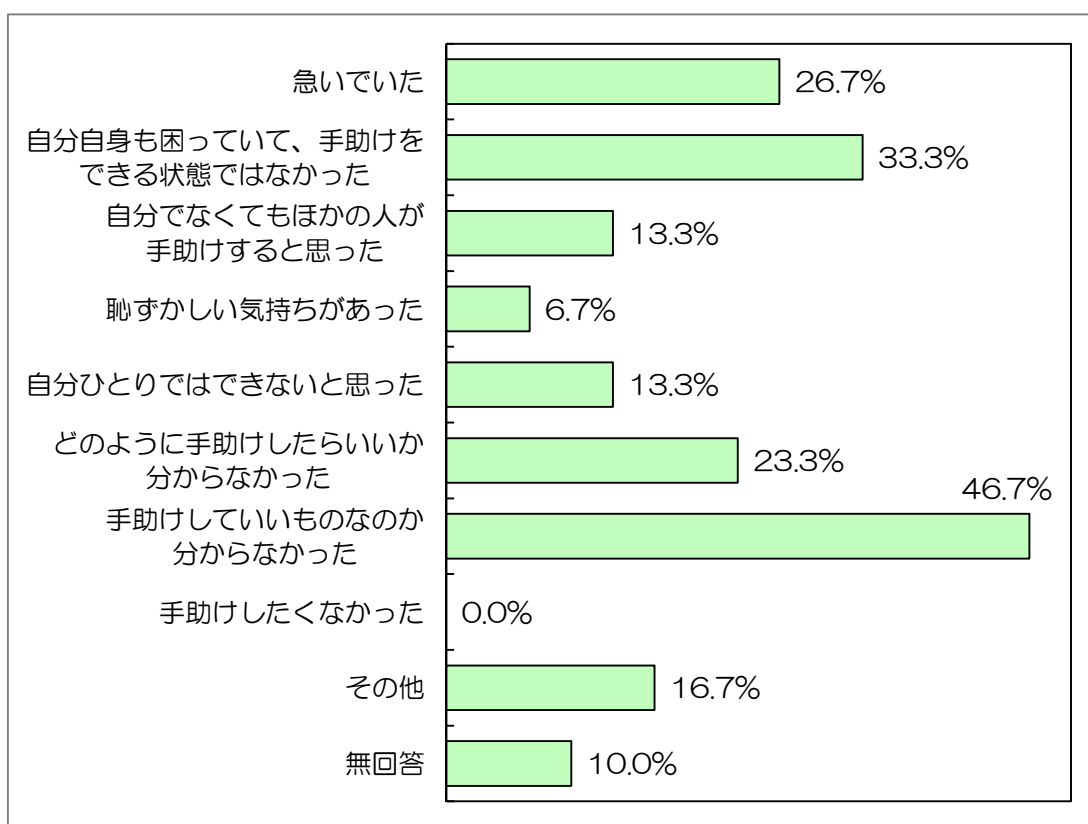
(4) 障がい者や高齢者が困っている際に手助けしなかった理由

(問 22 で「何もしなかった」を選択した人を対象)

- 手助けしない理由で割合が最も高かったのは、「手助けしていいものなのか分からなかった (46.7%)」で、次いで「自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった (33.3%)」「急いでいた (26.7%)」の順となっている。

問 24 前の問 22 で「何もしなかった」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。(該当するものをすべて選択)

(n=57)



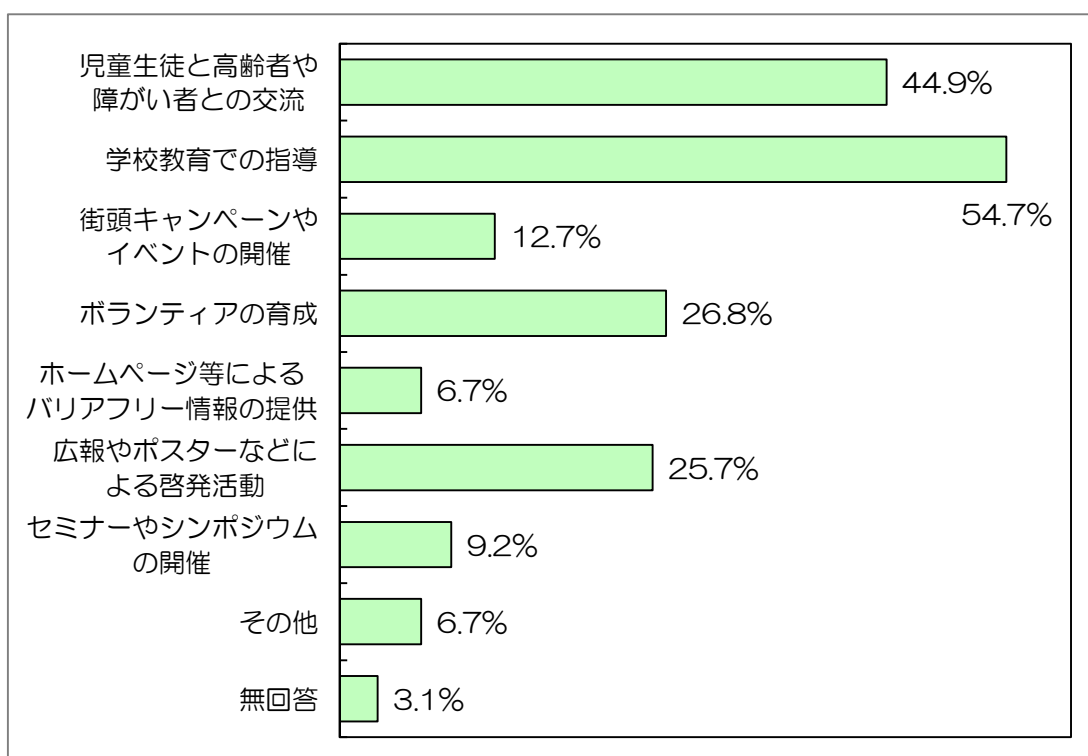
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は 100%にならない。

(5) 市民が手助けする行動を促進させるための取組

- 手助けする行動を促進させる取組で最も割合が高かったのは、「学校教育での指導 (54.7%)」で、次いで「児童生徒と高齢者や障がい者との交流 (44.9%)」「ボランティアの育成 (26.8%)」「広報やポスターなどによる啓発活動 (25.7%)」の順となっている。

問 25 「障がい者や高齢者が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします。(2つ選択)

(n=853)



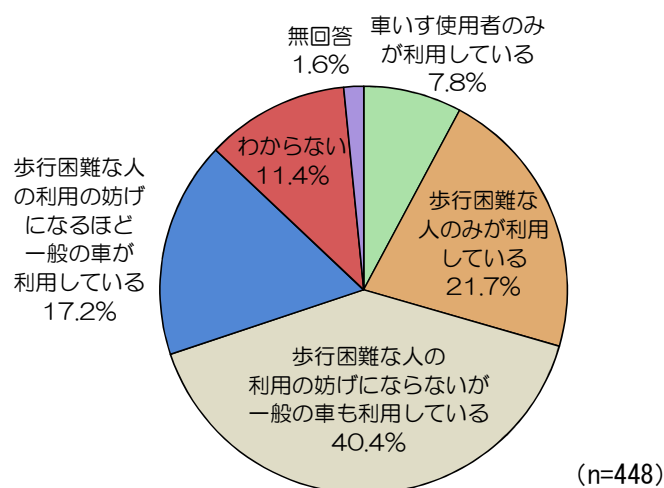
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は 100%にならない。

3 車いす駐車スペース、多目的トイレの利用実態

(1) 車いすのマークのついた駐車スペースの利用状況

- 車いすマークのついた駐車スペースの利用に関する見方で、割合が最も高いのが、「歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している（40.4%）」で、次いで「歩行困難な人のみが利用している（21.7%）」、「歩行困難な人の利用の妨げになるほど一般車が利用している（17.2%）」の順となっている。
- 一般車の利用が見受けられるとする「歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している」「歩行困難な人の利用の妨げになるほど一般車が利用している」を合計すると 57.6%となる。

問 26 商業施設や公共施設にある「車いすのマークのついた駐車スペース」の利用状況をどのように感じているかお聞きします。（1つだけ選択）

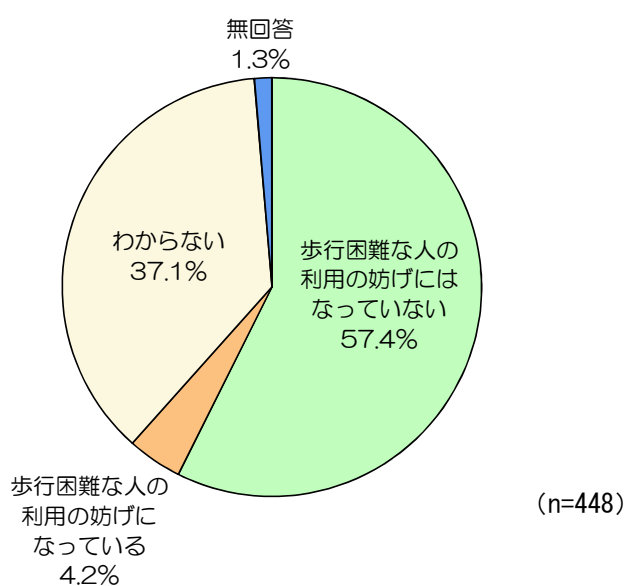


※ 「歩行困難な人」：車いす使用者、高齢者、障がい者、妊婦等

(2) 多目的トイレの利用状況

- 多目的トイレの利用状況の見方で、割合が最も高いのは「歩行困難な人の利用の妨げにはなっていない (57.4%)」で、次いで「わからない (37.1%)」の順になっている。

問 27 ここ最近、高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用も可能な「多目的トイレ (みんなのトイレ)」が増えましたが、その利用状況をどのように感じているかお聞きします。(1つだけ選択)



※ 「歩行困難な人」：車いす使用者、高齢者、障がい者、妊婦等

4 自由意見（バリアフリーの取組について）

- 自由意見は、80人から142件の意見が寄せられた。その中で、意見が多かったのは、「心のバリアフリーに関すること（19件）」、「道路整備に関すること（16件）」であった。

番号	項目	件数
1	心のバリアフリーに関すること	19件
2	道路整備に関すること	16件
3	行政サービス（助成制度、情報提供、職員の対応等）に関する こと	12件
4	多目的トイレに関すること	12件
5	広報広聴に関すること	11件
6	高齢者、障がい者に配慮したまちづくりに関すること	11件
7	駐車場に関すること	10件
8	バリアフリーの推進に関すること	10件
9	子育て環境に関すること	8件
10	除雪に関すること	7件
11	商業施設に関すること	6件
12	公共交通に関すること	5件
13	バリアフリー設備に関すること	3件
14	交通マナーに関すること	3件
15	公園に関すること	2件
16	公共施設に関すること	2件
17	自転車に関すること	2件
18	その他	3件

合計 142件

番号	意見要旨
1	<p>冬の降雪時に新国道を横断する場合、信号機の下に雪が多く、小高くなって渡るのが大変。信号が赤に変わってしまう。八橋イサノ、田五郎信号が渡りきらないうちに赤になる。足の悪い人にはもう少し時間が欲しい。また、横断歩道の前が砂利道のため、手押し車は大変です。大道東橋～田五郎の道路で車とすれすれの箇所があり、雨の時等は傘が車にとられる。</p> <p>【女性、70歳以上、中央】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・大町2丁目橋前の横断歩道橋の撤却 ・冬期の通学路、歩道除雪の徹底 ・手押し車の高齢者が安心して歩くためのていねいな除雪 <p>【男性、60歳代、北部】</p>
3	<p>私はいつも市役所や駅周辺に自転車走行しています。そこはあまりにも段差がひどく、危険でも車道を走行します。</p> <p>※バリアフリーの取り組みに自転車走行が楽しくなるように、車道のようにもう少し自転車道路の段差や舗装が丁寧になるような予算の配分をお願いいたします。【男性、70歳以上、南部】</p>
4	<p>車いすの車輪（小さい物）が交差点の側溝フタにはまらないよう、目を細かくすると道路の排水に影響するし、一方が良くなれば一方にしわよせが行くなどむずかしい面もあるが、バリアフリーは進めるべきだと感じます。</p> <p>【男性、60歳代、東部】</p>
5	<p>道路自体全くバリアフリーではありません。車中心の社会です。歩行者に優しい道路を作ってほしい。特に雪道。もっと歩道の融雪進めるべきです。自分が年をとったときのことを考えていないのですか。いらない道路舗装工事ばかりしないでください。お金の使うところをきちんと考えてください。私たちの税金まじめに考えて。【男性、20歳代、東部】</p>
6	<p>都会に比べてまだ、バリアフリーは不足だと思う。【男性、60歳代、東部】</p>
7	<p>自分も年をとり、目が悪くなってきて入り口とかの段差でハッとすることが多くなりました。バリアフリーは私達にとってますます必要だと感じております。【女性、60歳代、西部】</p>
8	<p>秋田県は高齢者が多いため今後ますますバリアフリーの取組が重要になってくると思う。【女性、40歳代、南部】</p>
9	<p>これからは高齢者が乗っている「電動カー」がすれ違えるほどの広さの歩道が必要になってくるでしょう。【男性、50歳代、南部】</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳の子供の親ですが、ベビーカーで歩いていると、アスファルト（舗装）の悪い部分が結構あると感じる。（ベビーカーが眠れない） ・私が住んでいる町内には子供が遊べる公園がないと思う。子供を持って公園は必要だと感じた。【女性、20歳代、中央】

番号	意見要旨
11	<p>各所、建物内のバリアフリーはもちろんです。まず、道路をよくしてもらいたいです。あと、障がい者用の駐車スペースに健常者が駐車しているのをよく見かけます。警察もこそくな点数稼ぎの違反者ばかりを狙わずに行政と協力し合って、そういう人も取り締まるべきでは（罰金や減点等）。歩行が困難なのは、なにも車いすの人に限ったことではありません。高齢者や足の悪い人たちもたくさんいます。そういう人たちへの配慮や援助も必要だと思います。各施設の利用の値引きやバス、医療費 etc。</p> <p>関係ないことですが、市役所を新しくする必要が本当にあったのでしょうか。つとめている方々だけが心地よいのでは。</p> <p>働いている人（特に女性）の髪や服装がチャラチャラしてだらしがない。市民の意見、本当に取り組みましたか。誰も喜んでいません。もっとお金の使うべき場所が山ほどあります。お金の有効な使い方を考えてください。</p> <p>【女性、30歳代、北部】</p>
12	<p>出来るだけ平坦に道幅広く。【女性、60歳代、南部】</p>
13	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歩道を広く、自転車も通れる様にし、段差、傾斜、化粧ブロック張りをなくし、車道との区別を判然としてもらいたい。 2. バス停の停止位置と、すべてのバスをノンステップバスにしてもらいたい。 3. バス停に屋根をつけてもらいたい。 4. 階段や坂道のところに、部分的に手摺りをつけてもらいたい。 <p>【男性、70歳以上、東部】</p>
14	<p>歩道の整備をもっと進めて欲しいと思います。融雪はもちろんのこと、広さも必要かと思えます。自転車が歩道を走ることもあり、大きな通りでは自転車と歩行者のコースが分かるよう整備してもらえたらと思います。</p> <p>最近、歩道がタイル敷のようになっていますが、ガタガタしていて、車イスの方には、動きづらいのではと思っています。杖などもひっかかったりするのではないのでしょうか。タイル敷の歩道については再考が必要ではないのでしょうか。【女性、50歳代、中央】</p>
15	<p>高齢化が進む中、家づくりにおけるバリアフリーは非常に大事だと思います。しかし、バリアフリーへリフォームするにも、資金が必要（個人として難しい面が多い）です。行政の援助、指導が必要だと思いますので、ご支援よろしくお願いします。【男性、60歳代、中央】</p>
16	<p>今後も高齢者が多くなり、バリアフリー化の取組みは必要ですが、多額の金もかかると思う。各町内迄も一挙には大変と思うので、段階的に人手の多い場所からとか、色々段取りが必要だと思います。</p> <p>【男性、70歳以上、東部】</p>

番号	意見要旨
17	足腰の不自由な人がふえてきているので、段差の解消に努力してもらえればありがたい。【男性、70歳以上、中央】
18	新しい公共施設は意識されバリアフリーの取り組みはされていると思います。すべてバリアフリー対応するのはコスト面維持費などで困難とされます。ここは、バリアフリーであるべき場所、施設については市の予算計画に沿って整備すればいいのではないのでしょうか【男性、30歳代、西部】
19	道路が広がって、ゆったりとした歩道がある道が増えるといいと思う。ただし、ここでも自転車用の道路は用意して欲しいと思う。車いすはもちろん、ベビーカーも安心して押すことができるし、健常者の方も安心して道を歩くことができます。また、子育てをしてきた身としての意見となりますが、まだおむつをはずせない子供を連れて歩くのはとても大変です。子連れで出かけるなら、安心して使える授乳室があり、子供のおむつ替えができて、子供をそばに連れて入ることができる個室のトイレがある場所でなければ、外出は難しくなります。なので、比較的、落ち着いてつかえるのは、「大型店舗のみ」に偏ってしまうのが現状です。もし、駅前や、商店街の活性化を視野に入れるなら、そういった細かい部分に気を配って欲しいとも思います。駅前の施設内は古い建物が多いので、トイレが窮屈なイメージが多いです。健常者はトイレのことはさほど気になりませんが、不自由を感じている方は、トイレの心配は大きいのではないのでしょうか。【女性、30歳代、中央】
20	「バリア」とは単なる段差などだけではない。妊娠、出産を経験して初めて思ったのが、たばこの煙によるバリア。職場や飲食店などでは分煙が進んではいるが、まだまだ道や道路に面したコンビニの外などでの喫煙はみうけられ、妊婦や子を持つ親として、煙害という障害も街から取り除いてほしいと強く感じた。また、徒歩や自転車の利用を促したいのであれば、融雪歩道の整備に力を入れてほしい。もちろん障がい者のお年寄りにも優しい街づくりにもつながる。【女性、30歳代、中央】
21	点字ブロックは誰の為に使われているかわからない。車椅子の方にとって段差が多すぎる。精神障がい者に対する「心のバリア」が多すぎる。【男性、30歳代、西部】
22	点字ブロックの整備については、実際に視覚障がいの方の歩行により行っているようですが、これからも意見を聞いて安全第一で設置してください。特に雪どけ後の点検が大事だと思います。多目的トイレは増えてきましたが、まだ不足だと思います。車いすの方も使用するトイレはこれからとても必要になると思います。ふつうにあるトイレを改良して増やすと喜ばれると思います（公園内にも）。【女性、30歳代、中央】

番号	意見要旨
23	<p>自分の住んでいる地域はそれ程でもないが、歩道が極端に狭い場所などが多く、バリアフリーどころの話ではない場所が多いと感じる。私自身、他県出身なので、車社会の秋田だから仕方ないとは思いますが、それにしても歩行すら困難な歩道がとても多いと感じる。他県と比べて歩行者が少ないから問題にならないのかもしれないが、本当に不便である。本当にバリアフリーを目指しているのならば、根本的に考察が必要ではないだろうか。</p> <p>私も最初は移動手段が徒歩や自転車だったが、あまりの歩道の狭さや段差の多さに驚いた。まして、障がいを持っている方はその何倍も感じていることだと思う。</p> <p>秋田をもっと良くしていきたいと本気で考えている方が職員になって頂けることを願っています。「前年通りの予算で、前年通りの仕事さえしていれば文句は言われたい」と考えるのではなく、民間のように常に向上心を持ち、何か新しいことはできないかと考えを変えてほしいです。</p> <p>このアンケートにも多額の市税がかかっていると思います。そこに責任感を持ってほしいです。市税を税として考えるのではなく「自分のお金だったらという感覚をもう一度思い出してほしいと思います。市民の気持ちになってお仕事をされることを願っています。【女性、30歳代、東部】</p>
24	<p>バリアフリーは高齢者だけでなく必要だと思います。現在の新築にはバリアフリーが組込まれているかどうか定かではありませんが、我が家では必要にせまられて一部でバリアフリーにしました。私も高齢になり何かと利用する機会が多くなりました。手摺や段差をなくすと安心です。</p> <p>【女性、70歳以上、中央】</p>
25	<p>車いす駐車スペースの対象でないドライバーの駐車はスーパー、イオンなどでよく見かけます。</p> <p>【女性、30歳代、東部】</p>
26	<p>私自身妊婦だったとき、臨月でもお腹が目立たなかったのに、優先駐車場は利用しづらく、最後まで使えなかった。車いすマークだと妊婦は使っているのかダメなのかわからない。一部の駐車場では妊婦もOKと書いてあるので、OKなのかNGなのかその境目をはっきりしてほしい。車いすの操作方法がまったくわからない。車いすの方が困っていても何をどう助けたらいいのか。【女性、30歳代、西部】</p>
27	<p>多目的トイレについて、日中高齢者が単独で行動するときなど多目的トイレがもう少し増設されればと感じます。ほとんどの高齢者が日中の活動です。【女性、70歳以上、北部】</p>
28	<p>多目的トイレはぜひどんどん増やしてほしいです。</p> <p>【女性、30歳代、中央】</p>

番号	意見要旨
29	<p>職場に車いすの方がいます。普段我々は全く意識していない段差が秋田駅前から山王までの道で意外と多いんだと一緒に歩いているとよく感じます。なかいちなど多くの人が楽しむことが出来る公共のスペースでは段差も意識した方がよいのではと思います。また、蛇足ですが、扉が引き戸でないと通り抜けに時間がかかってしまいます。(オフィスの扉は自動扉に直しました。) 車いすも必要です。秋田は東京よりは土地にゆとりがあると思います。箱物を作るときは、幅も意識してはどうでしょうか。あと、お店でトイレがあるかどうか意外とわかりにくいです。(お店は「車いすOK」でも、2階に店があるから結局行けなかったということもしばしばありました。) 表示をもっと多くしてもらえると助かります。小さい頃の教育で、自然とそういったことができるような社会になってほしいです。</p> <p>【女性、30歳代、東部】</p>
30	<p>車イスマークの駐車場に停めてある車にはいつも疑問がある。本当にその方たちが停めているのか。なにかしらの設備を設けた方がよいのではないかと思います(特に大型ショッピングセンターなど、土日も混雑するようなところ)。</p> <p>【女性、30歳代、北部】</p>
31	<p>車いす用の駐車スペースが最も近くのよい場所にあるが、車いすの人が使っているのは見たことがない。障がい者用とはいえ、最もよい場所が使われないままでは社会的な損失ではないか。障がい者に対する過剰な対応は、かえって双方に心理的なみぞを生むのではないかと思える(実はスーパーの駐車場の話なので、利用者の取組ではないかもしれません)。</p> <p>【男性、50歳代、北部】</p>
32	<ul style="list-style-type: none"> ・他県の病院やスーパーの車イス等の駐車場は入口の真ん中などにあり、機能的。秋田は花壇や入口スペースが広く美観は良いが、入口までの距離が長く優しくない。 ・秋田市の除雪は10cm以上の積雪がないと実施されず、高齢者や障がい者は冬の外出は困難。駅前から山王方面への歩道は融雪されているが、横断歩道はツルツルで非常に危ない。もっと総合的な配慮がほしい。横断歩道も融雪されれば、車も止まりやすく安全。 ・富山市には、歩行補助車「まちなかカート」が市内に置かれているそうです。秋田でも高齢者などの生活空間を広めるための手立てがあればと思います。 <p>【男性、60歳代、南部】</p>
33	<p>スーパーマーケットの身障者用駐車場は3ヶ所準備されておりますが、時々、一般車が駐車しております。再三、スーパーに苦情を進言しておりますが、一向に改善されません。店側の猛省と行政の指導をお願い致します。</p> <p>【男性、70歳以上、西部】</p>

番号	意見要旨
34	車いす駐車スペースに常にカラーコーンとか置いていた方がいいと思います。(若い人が大きい車をはみだして停めたとき危ないと思うし、とてもいい気分にはなれない。)【女性、30歳代、北部】
35	今後増加する高齢者やからだの不自由な人たちの為に、公共の建物だけでなく、一般の建物にも障がい者用のトイレの設置や段差の少ない社会づくりに協力してもらうように、行政サイドからの働きかけを要望します。【女性、60歳代、西部】
36	実父(84歳)が障がい者になり介護施設に入所している。認知症にはなっていないが、外出する時は、車いすが必要になった。飲食店に入ってもトイレがバリアフリーになっていないところ、なっても狭くて移動が大変なところ、とりあえずバリアフリーにしたようなところなどあり、飲食店を選ぶのにトイレを基準にしてしまう。娘の私が男子トイレに入ることもある。もう恥ずかしい気持ちもなくなりましたが。楽しいはずの時間がストレスをため込む時間にもなる。公共施設やエリアなかいちなどこれから出来る施設は良くなると思うが、従来からある場所をもう少しみてほしい。外出する機会が増えるように、障がい者はもちろん、付き添いで一緒にいるものの気持ちにたっても考えて貰いたい。【女性、50歳代、西部】
37	ベビーカーでも利用できる施設が多いと思う。子育てに関してはおおむね住みやすい町といえる。【女性、20歳代、南部】
38	多目的トイレは1箇所に1つの割合で設置されているけど、それだけりるとは思えない。1度に2人以上はこないという考えなのか。障がい者は健常者よりも時間がかかるときもあると思う。なのにトイレの数は本当に1つで足りているのか疑問。おむつしている人ばかりではないはず。本当のバリアフリーは使う人の身になって考えなければならないと思う。【女性、40歳代、中央】
39	少しずつ増えてはいるが、実際赤ちゃん用オムツ替えができる施設は限られた場所になっている(大手スーパー等)。観光客や子育て世代にもっと居心地よい町にするにはトイレは重要だと思う。一部補助金等を出してもいいと思うので、人が集まる地域のコンビニ、スーパー、飲食店、公共施設には多目的トイレを全設置する位の勢いが必要だと思う。【男性、30歳代、北部】
40	「みんなのトイレ」があると、小さい子供がいても、安心して施設を利用出来ます。(父親と娘、母親と息子など、親子いっしょにトイレを使えないときは特に助かります。)今後も設置を促進していただけるよう望んでいます。【男性、40歳代、中央】

番号	意見要旨
41	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児を連れて行きやすい店（おむつ台や授乳が充実しているところ）のマップが欲しい。大きなショッピングセンター以外だと、外出はどこなら行けるのかわからず（おむつ替えの都合で）なかなか行けずにいる。現在地からWEBで多目的トイレ等検索できると助かる。 ・街中や公共施設でも、ふと座るようなベンチが少ないと思う。ゴミ放置や長時間使用などのルール違反の管理もしなくては大変だと思うが、街中でやっと歩いているような高齢者が疲れて立ち止まったり、施設内で連れの人待ちなのか体が悪そうな方がただただ立って待っている姿を見ると心苦しい。 ・車いすマークに止めている、どう見ても優先されるべきではない様な人を見るとすごく腹立たしい。商業施策で駐車場に警備員がいるようなところは、そういうルール違反をするような人にも声がけするように、市としての姿勢を企業に伝えることは出来ないか。 <p>【女性、20歳代、北部】</p>
42	<p>自身、高齢でいろいろ病気があり、それに子供も障がい者なので大変困っています。子供も自立が出来ず、持家ですが、これから先、不安です。</p> <p>【女性、70歳以上、南部】</p>
43	<p>私自身、4級の下肢障がい者です。以前は「出かけた先に、洋式トイレがあるだろうか」という心配がありましたが、この頃では、設置箇所も増え、大分改善されたように思います。この点に関しては、関係各所の皆様のご努力のおかげと感謝いたしております。20年ほど前、福岡県に出かけた折のことです。当時秋田では、まだまだ困ることが多かったのですが、あちらでは大体の要所には洋式トイレがあり、「ああ、やはり、大きな都市は違うなあ」と思ったものでした。また、いろいろなサービスカウンター（役所・鉄道等）で、高齢者や障がい者に対する接し方が行き届いていて、私の足が悪いと見るや、すぐに「どうぞお座りください」と椅子を勧められました。立たされ放しということがまずありませんでした。他にも「サービス」の意識が高いのだなと思わせられることが多々ありました。現場でのサービスの徹底が図られていたのだなと思われれます。そういった場面では「ああ、秋田もこうなるといいなあ」と願ったものです。このような「ソフト」面の充実が本当は何より大切ではないでしょうか。どんなに施設や設備など「ハード」の面が良くなっていったとしても、最終的には、それらを管理する側、使いこなす側、双方の「ひと」の問題に帰着するのではないかと考えます。【女性、50歳代、中央】</p>
44	<p>高齢者の多い秋田にとって共生社会の形成は大事なことだと思います。</p> <p>【女性、40歳代、北部】</p>

番号	意見要旨
45	<p>バリアフリーという言葉聞いて久しいですが、一般的には物理的な面でバリアフリーという言葉を使うことが多いと思います。秋田県は一年のうち数か月は雪で覆われる地域ですが、冬の道路が良くないと日頃感じています。降雪により、歩道は歩くことが困難となり高齢者や障害のある方は特に、外出手段が狭められる現状であると思います。日常生活において食料品の買い物は特に重要ですが、近隣のスーパーへ行くことさえままならない状況です。車道の整備も大切ですが、それ以上に誰もが、どの季節でも外出しやすい環境作りにもっと力を入れて欲しいと考えます。多額の予算をかけて、立派な道路や地下道を作ってもこの先予測される少子高齢化が進展した秋田の人口像を考えるとその道路を利用できる人がどの位になるかは、予測されるのではないのでしょうか。建設予算のあり方に疑問を感じます。また交通手段の一つであるバスの利用も利用者が少ない路線はどんどん廃止され、たとえ残された路線でも時間帯が狭められている現状です。通勤手段として選択したくても時間が合わず、他の通勤手段に頼らざるを得ない状況です。医療・福祉・商業・行政を集約した街を目指す時に、この道路や交通事情を改善して欲しいと思います。例えば、循環バスや歩道や車道の融雪道を増やす等。高齢者や障がい者はじめ市民が過ごしやすい街づくりを願います。また、心理的面でバリアフリーを考えると障がい者の方たちの偏見は相変わらずで、どこか人と違ったとか、怖いとか、近づきたくないなどマイナスなイメージが存在し、他人事としてみているように思います。誰もが過ごしやすい、障壁の無い世の中を目指すためには、幼稚園や小学校の時点で更にバリアフリーについての教育が大切であると考えます。そのためには高齢者や障がい者との交流を幼少期から図れるような教育体制を望みます。少しでも相手の立場に立って物事を考えることができる心の教育を学校や家庭、地域で育むことが大切であり、テレビ・PC・携帯などの情報メディアの存在が大きくなっている現在、それらを今以上に活用するのも一手段だと思います。【女性、50歳代、東部】</p>
46	<p>秋田は全国一の高齢化です。数十年後には、高齢者すらいなくなります。バリアフリーを進めるのだったら、全国一安心、安全、高齢者にやさしい町づくりをめざしてください。そして、全国から高齢者が移住する様なまちにしてください。【男性、40歳代、東部】</p>
47	<p>以前、千秋公園にベビーカーを持って行った所、スロープがある道と階段しかない道があり、上から降りる時、ベビーカーをかついで子供を抱っこして降りた経験がある。子そだて世代ほど、自然や行事に出る世代はないと思うのに、こういう事があると、あと行くのをやめようと思ってしまう。【女性、30歳代、中央】</p>

番号	意見要旨
48	<p>五城目のジャスコのように、バリアフリーのショッピングモールや、商業施設をもっと増やすべきだと思う。これからどんどん高齢化が進むのでお年寄りが安全に安心して住めるまちづくりをしてもらいたい。</p> <p>【女性、40歳代、中央】</p>
49	<p>段差をなくしたり、スロープを作ったり、手すりを作ったりすることも必要だと思うが、ただお金をかけるより困っている人をみたら声をかけたり、手を貸すなど、もっと心のバリアフリーを実践できるような啓もう活動や家庭内教育をしていくべきだと思う。いくらハードが整ったところで心にバリアをはったら真のバリアフリーではありません。</p> <p>【男性、60歳代、北部】</p>
50	<p>総合病院等の待合にもっと車いす用のスペースをもうけてもらいたい。そして健常者の方々がそのスペースに座らないよう心がけてもらいたい。</p> <p>【男性、40歳代、南部】</p>
51	<p>障がい者の方のために1円から募金して貰うため、募金活動をして支援したりして、まちづくり発展にいかせばいいと思います。</p> <p>【男性、20歳代、北部】</p>
52	<p>町全体が高齢者や障がい者の利用しやすい状態になっていない。もっとやさしいまちづくりをしてほしい。【女性、60歳代、北部】</p>
53	<p>健常者の私達には気づかないことが多い。不自由な方から、もっと意見を聞いて欲しい。【女性、30歳代、南部】</p>
54	<p>バリアフリー化が進んでいると思うが、今後ますますの高齢化が確実になるため、障がい者等、弱者に対する配慮が全ての市内に生活している人にとって住みやすい社会になり得るか重要と思います。</p> <p>【男性、50歳代、北部】</p>
55	<p>障がい者の意見を取り入れ、住みやすいまちづくりをして貰いたい。</p> <p>【男性、50歳代、西部】</p>
56	<p>バリアフリーについては、もうすでに行っていることと思うが、何よりも“障がい者の声”を聞くことが大切なので、行政・障がい者の方々・市民との3者会談を他分野にわたって行い実行することが1番の取り組みだと思う。【女性、60歳代、中央】</p>
57	<p>バリアフリーはどんどん取り入れた方が良く思います。アンケートの結果はHPだけでなく広報などでも知らせてほしい。</p> <p>【男性、60歳代、中央】</p>
58	<p>どのような取り組みをしているのかいまいちよくわかりません。イベントの開催、学校での指導、社会人への講義など、もっと市民に広げた方がいいと思います。【女性、20歳代、東部】</p>

番号	意見要旨
59	<p>障がい者や高齢者が困っている場面では、私は積極的に声かけをしたいと常に思っています。夫は困っている人がいる時に決して手を差し伸べようとしません。なぜなら誰もいない時にその方は自力でなんとかする必要があるのだから、為にならないし練習にならないと言います。正解はあるのでしょうか。CMや、TV、ラジオを利用し手助けを促進する呼びかける必要があると思います。【女性、40歳代、中央】</p>
60	<p>ホームページや広報、ポスターなどで呼びかけてもなかなか実効はむずかしいと思われます。しかし、いざその場面に遭遇すれば秋田の人は手助けし、声をかけると思います。先月も新しくなった市役所で戸惑う方（私と同年齢位）を見かけ話しかけましたが、ふだんの学校での指導やしつけ、駅前など人々の集まる場所でのキャンペーンなどは効果がありそうに思えます。地道に人々の「心」に助け合いという同じ「いま」を生きているということで浸透させていく事が必要だと思います。トイレの事に関しては込んでいたりすればまったく関係なしに使用されています。【女性、60歳代、西部】</p>
61	<p>バリアフリーは今の生活圏において特に感じることはないが、高齢者などが自家用車で運転しなくても良い移動手段が充実すれば良いと思います。【男性、40歳代、南部】</p>
62	<p>秋田はバリアフリーは遅れている。偏見がひどい。もっと障がい者の声をきいてほしい。【女性、30歳代、東部】</p>
63	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校生徒に多いのが集団で道路狭しと対向の人に無関心な事例が見受けられる。特にイベント時などは事例大。 2. 歩道を横切って車道に出ようとする車が右方向ばかり見て左方向からの歩行者や自転車を無視する事例が多い。 3. 理由は明らかではないが最近横断歩道をわたる際に今までだと「歩行者優先」を無視するような車が多数散見出来たが今年のいつごろからかは判然としないが、今年は「歩行者優先」が守られている。免許更新時の教育かまたは警察の取締りの故かよい傾向だと思う。 4. 感音講前の道路には歩道がありません。最近は車数が増加の傾向になり、ラッシュ時などは延々と続いている場合も見られます。側溝の上を通るのですが、側溝自体が傾斜して来ており、歩行に危険を感じます。是非検査をしてください。 5. 臨海道路の東側歩道に施設内の植樹の枝葉が出張って歩行者の（自転車を含め）往来を妨害している。施設管理の方で処理して頂けないものでしょうか。同様事例は町内にも見られ、問題にされたことがある。 <p>【男性、70歳以上、北部】</p>

番号	意見要旨
64	行政の机上の空論よりも、当事者や関係者等の声、意見を重んじるべきだと思います。【女性、30歳代、中央】
65	高齢者が、信号や横断歩道のない場所を渡っていて、ひやひやする場面が多い。バリアフリーで住みやすい環境を整えるのは大事だが、高齢者自身の安全意識、というか危機管理意識を高める取組を強化して欲しい。田舎ならではかもしませんが、本当に危ないです。【女性、20歳代、東部】
66	バリアフリーに関する制度を利用しました。敷居につまずくことも無くなった。階段の手すり、玄関の手すり助かっております。シャッターは持ち上げられなくなった。これを交換したいと思うが、(別の戸に) お金の出どころがない。【女性、70歳以上、中央】
67	秋田市は自動車と歩行者にはいいが、自転車の走りにくい町だと思う。秋田市民(秋田県民)に必要なのは、心のバリアフリーのほうだと思う。都市計画課には関係がないかもしれないけれど、身体障がい者の方もそうだが、知的・精神・発達障がい者への理解度が無くノーマライゼーションは全くうまくいっていないと思う。【女性、50歳代、中央】
68	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田市の公共施設の多くは吹き抜け構造を採用している。ご老人や、障がいのある方に不便なことばかりだといつも怒りを感じている。また、病院も駐車場から入り口まで少しでも歩行距離を短くしようという工夫が感じられない。 ・バリアフリーではないが、大型商業施設で切手を買うため、ぐるぐる長い距離を歩かされているご老人を見たことがある。大型商業施設には系列のコンビニを入りに口に設けるなどして、不自由な体で長く歩行させないような工夫を求めたい。【女性、50歳代、北部】
69	障がい者の方には大変住みにくい町だと思います。電車もバスも不便ですし車社会のため、車中心の生活スタイルになりすぎて、高齢者や障がいのある方々への徒歩での生活にマイナスのまちづくりになっている気がします。行政がいくらがんばっても限界があるので、教育現場からも協力を仰ぎ、個人の意識レベルを上げると良いかもしれません。たばこのポイ捨てが多すぎるのもやや気になります。【女性、40歳代、中央】
70	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関(特にバス)の職員への教育、研修 高齢者へのやさしい声掛けができるように。利用者に対する配慮等。 ・困ったときに立ち寄ることができる場所を設ける。 【女性、50歳代、東部】
71	バリアフリーは良いけど、ノーマライゼーション等何が何でも横文字をしようとしなくて日本語を使って欲しい。今は横文字があふれすぎている。老人にはさっぱりわかりません。【男性、60歳代、東部】

番号	意見要旨
72	<ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬、聴導犬への理解の普及、導入の支援 ・障がい者の交流機会づくり <p>【男性、50歳代、中央】</p>
73	<p>あまりむずかしい言葉ではなく、高齢者にもわかる日本語を使って下さい。ひさしぶりに市役所に行きました。一番ビックリしたのは何を話しているのか意味がわからなかった事でした。特に高齢者が必要とする部署はもっと優しい言葉を使ってください。そこから会話が始まるのではないのでしょうか。お願いします。【女性、60歳代、北部】</p>
74	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、秋田市障がい福祉課の窓口対応、電話対応がひどすぎる。何度いやな思いをしたことか。障がい者とその家族を見下しているとしか思えない。だまされたこともある。職員のミスを正当化するために、口から出まかせを言うのは、公務員として最低。平然と嘘をつくのはやめて欲しい。ひどい。 ・選挙のとき、障害のある家族の介助をお願いしたとき、通路の説明と「その人について行って教えてもらって」と本人に伝えただけで立会人から「そこ、会話しないでください」と大声で冷たく言われた。以来選挙に行きたくなくなった。バリアフリーはまず行政に携わる人々の意識改革が必要。 ・中学生の自転車のマナーが悪すぎる。自転車のマナーも守れない中学生にバリアフリーについての教育は大変なので、小学生のうちからしっかり教育する必要がある。特別支援学校と隔離するからこうなる。 ・秋田市の成人式に特別支援学校の席がない。市立の中学校の席はあるのに、県立だからないのか。同じ秋田市民なのに行政が隔てている。だから行けなかった。障がい者に対する優しさが不足している。行政はもっと工夫が必要。バリアフリーの取組は市役所職員の意識改革が最も大事なんじゃないか。 <p>【女性、20歳代、北部】</p>
75	<p>大多数の方が賛成した意見が正しいこととは思にくい。市の運営は信念を持ってぶれない方針が大切かもしれない。但し、意見には耳を傾けるべし。【女性、70歳以上、北部】</p>
76	<p>秋田市だけに言える事ではなくて、最近の風潮として。大雨、大雪の日にかさもなく荷物を持って歩く高齢者や障がい者、子供たちを見て、自分は車を運転などしていると、助けてあげたり、近くまで乗せてあげようか、かさをかそうか思っても、後々その家族になにか言われるかと思うと、声かけできません（これはどうにもならんでしょうが）。</p> <p>【女性、20歳代、西部】</p>

番号	意見要旨
77	<p>バリアフリーの取組については、大変良いことだと思います。以前より、様々な分野で、進んできています。世の中でも、取り上げられているように、ソフト面でのバリアフリーは秋田市に限らずまだまだな気がします。担当者によって、介護状況に差があったり、本来サービスを受けるべき状態の方が、受けられなかったり、大丈夫な方が認定を受けているような、そんな現実がある気がします。本人をはじめ、介護や病人を抱えている家族も孤独なのです。実際は助けが欲しくても声をあげられずにいるかたもいるのです。なかなかデリケートで難しい問題ですので、これからみんなが住みよくなる市であることを希望します。【女性、40歳代、河辺】</p>
78	<p>小さい子供がいるのでベビーカーをよく利用します。駐車場内の段差が気になるところがあります。【女性、30歳代、西部】</p>
79	<p>障がい者や高齢者への理解を深めるための学校教育など特に重要だと感じます。【女性、40歳代、中央】</p>
80	<p>ハードのバリアフリーも必要だが、心のバリアフリーがもっと大事だと思う。【男性、60歳代、北部】</p>

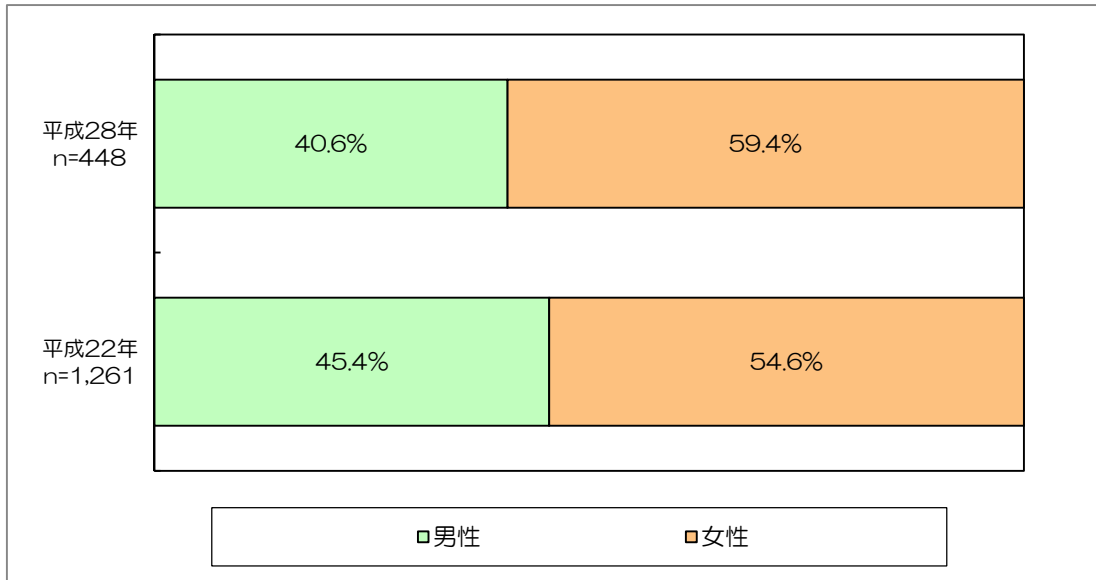
第 4 章

都市計画に関する過年度調査との比較

1 基本的属性

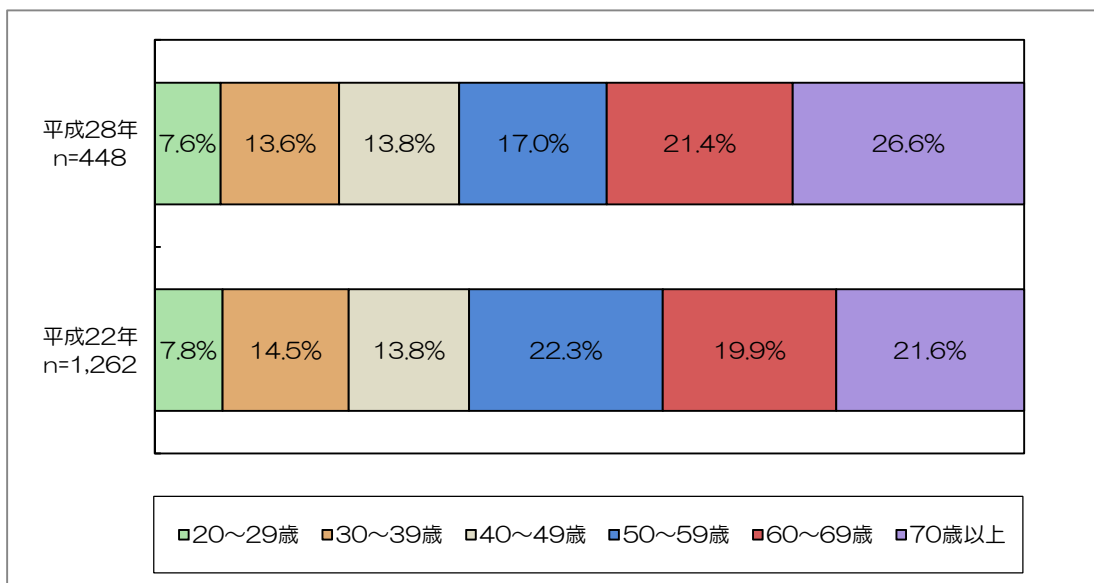
(1) 性別

- 性別ごとの回答者の割合は、平成22年の調査に比べ、「女性」が増加し、「男性」が減少している。



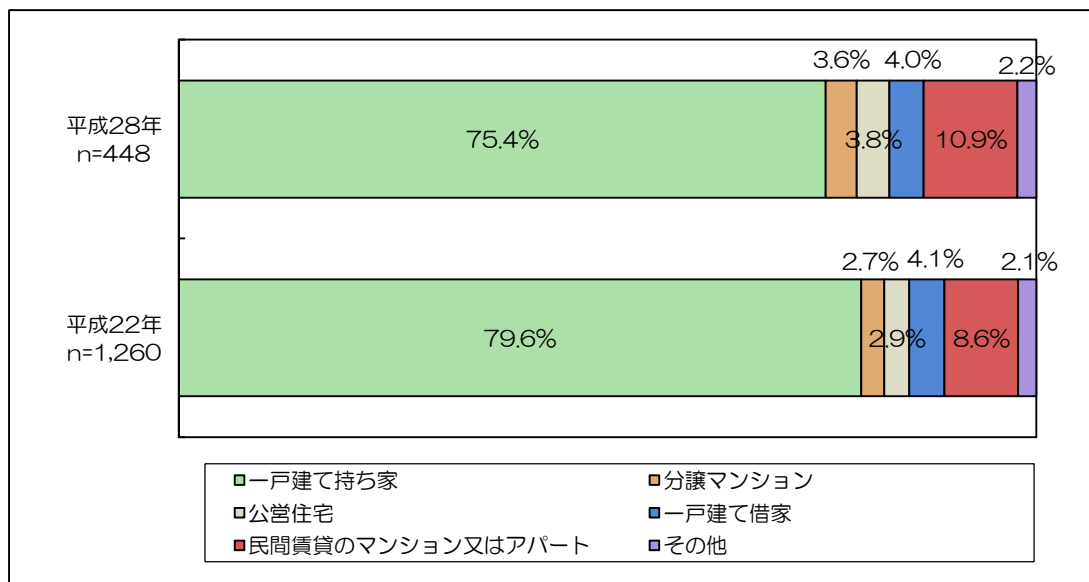
(2) 年齢

- 年齢別の回答者の割合は、平成22年の調査に比べ、「70歳以上」が増加(5.0 ㊦)し、「50~59歳」が減少(△5.3 ㊦)している。
- 「20~29歳」「30~39歳」「40~49歳」に大きな変化はない。



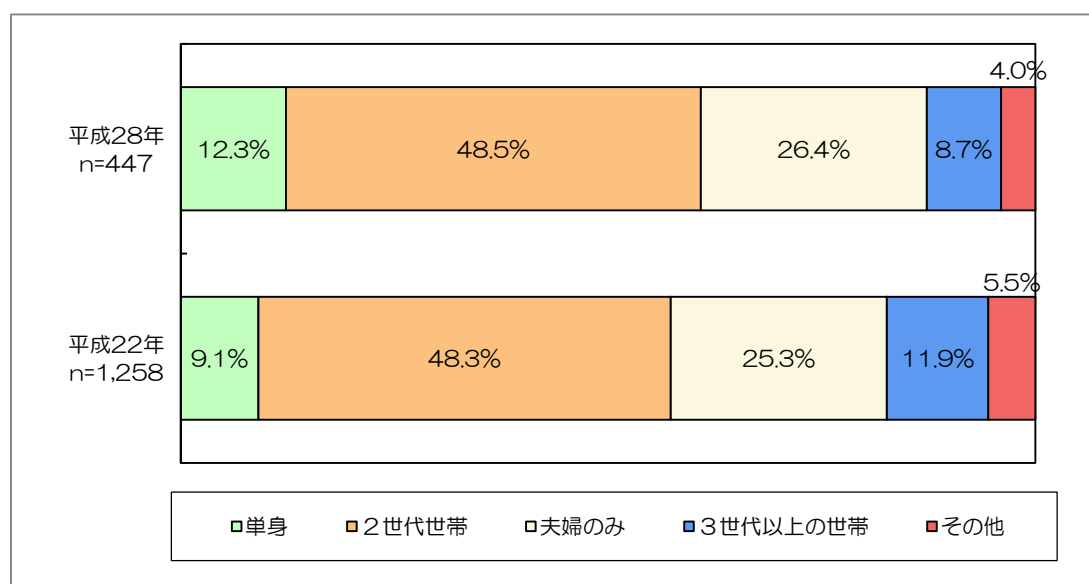
(3) 居住形態

- 居住形態別の回答者の割合は、平成 22 年の調査に比べ、「一戸建て持ち家（△4.2 ㊦）」の割合がやや低くなった以外、大きな変化はない。



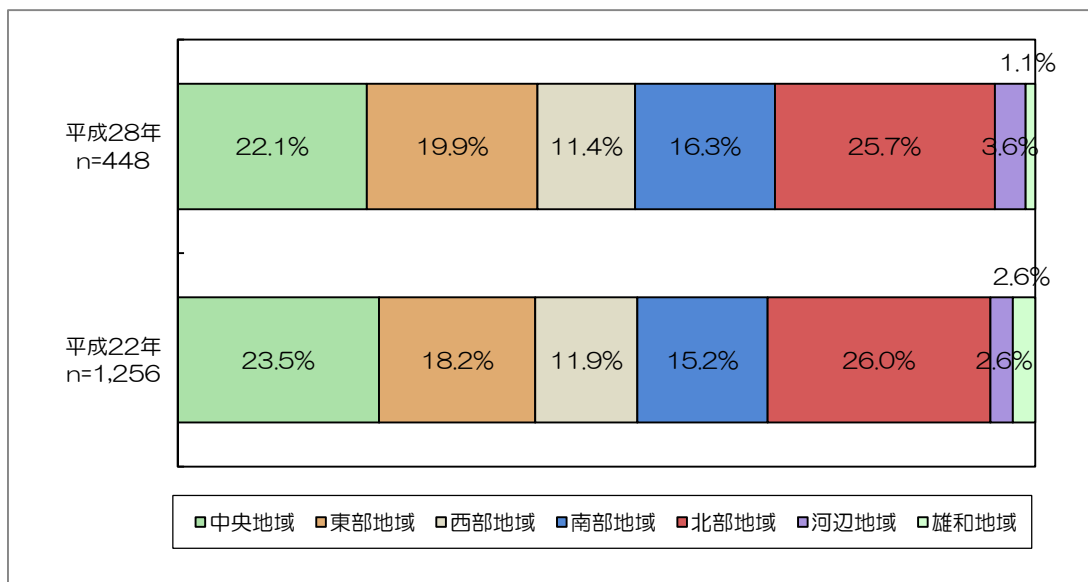
(4) 家族構成

- 家族構成別の回答者の割合は、平成 22 年の調査に比べ、「3 世代以上の世帯」が減少（△3.2 ㊦）し、「単身」が増加（3.2 ㊦）している。



(5) 居住地域

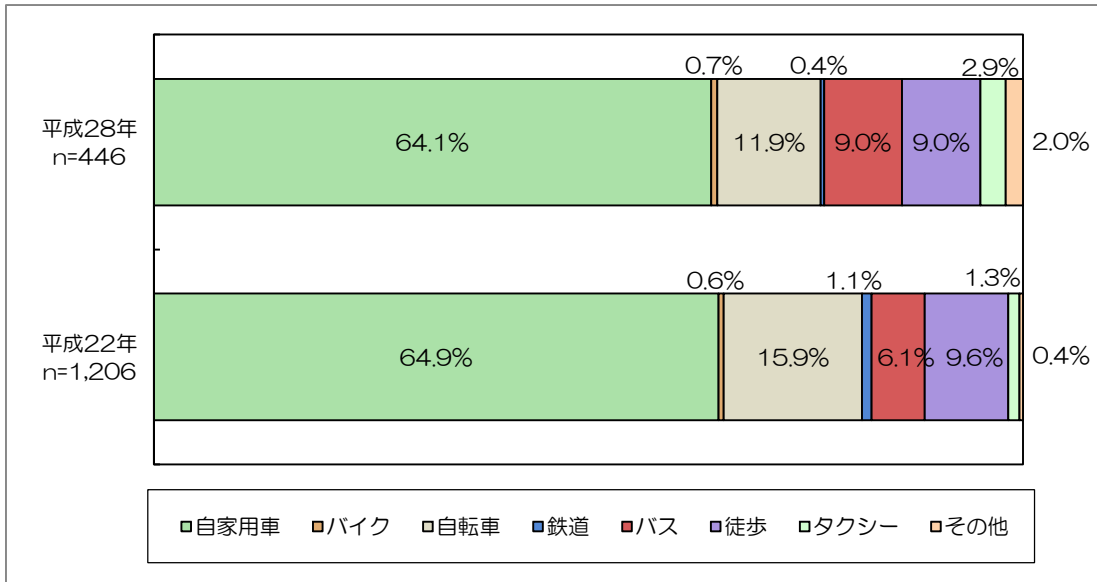
- 居住地域別の回答者の割合は、平成 22 年の調査に比べ、大きな変化はない。



2 交通手段

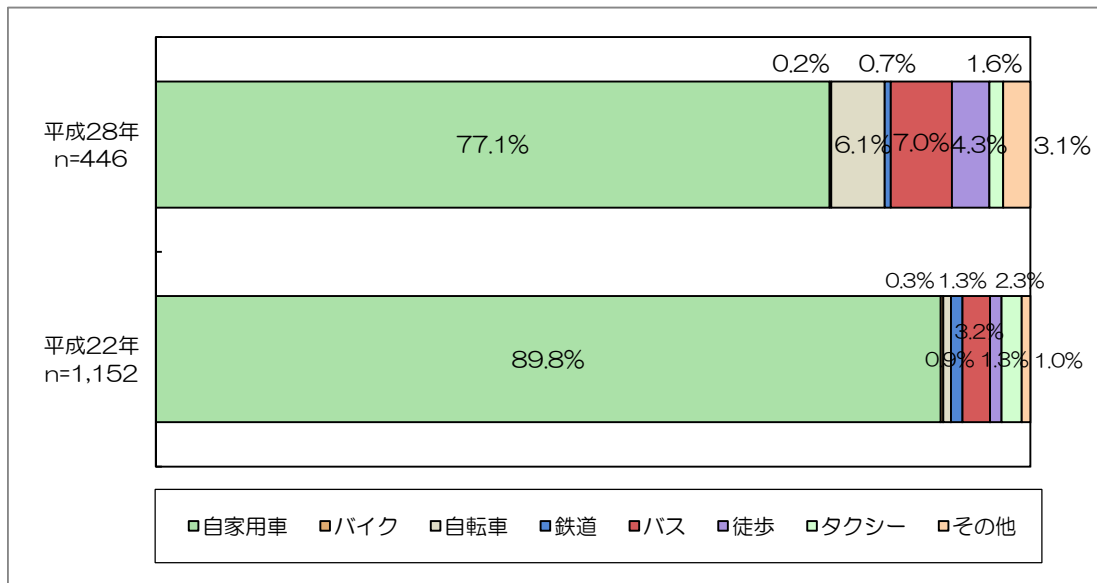
(1) 交通手段（平日）

- 平日の交通手段別の回答者の割合は、平成 22 年の調査に比べ、「自家用車」に大きな変化はないが、「バス（2.9 ㊦）」「タクシー（1.6 ㊦）」が増加し、「自転車(△4.0 ㊦)」が減少した。



(2) 交通手段（休日）

- 休日の交通手段別の回答者の割合は、平成 22 年の調査に比べ、「自家用車(△12.7 ㊦)」が減少し、「自転車(5.2 ㊦)」「バス(3.8 ㊦)」「徒歩(3.0 ㊦)」が増加している。

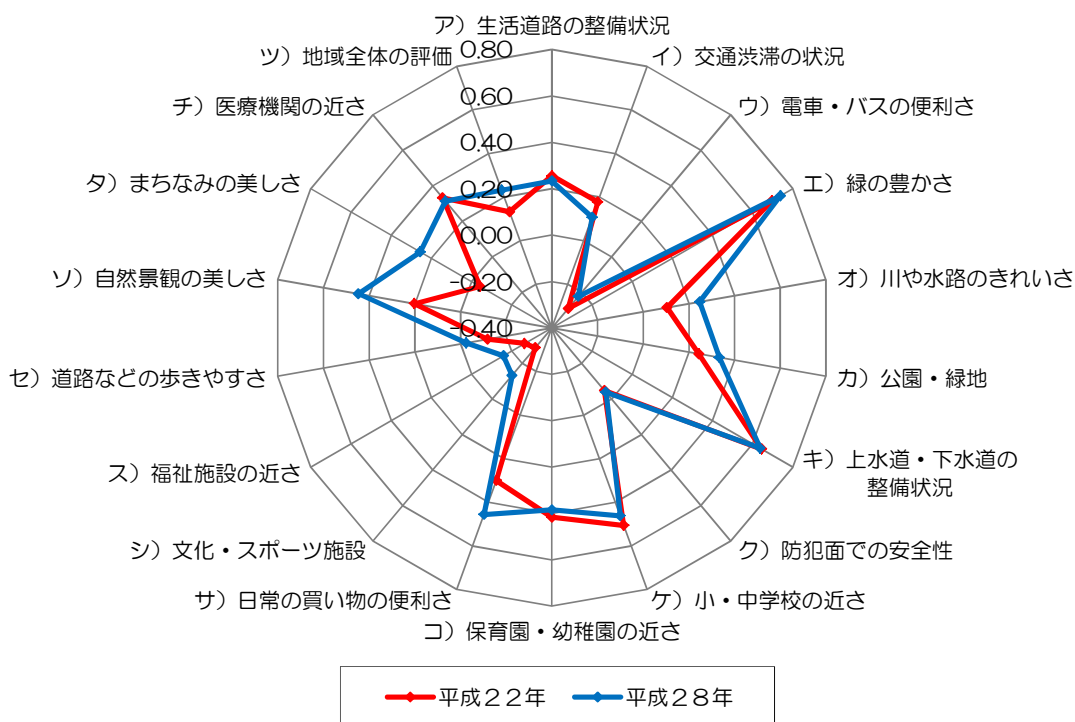


3 居住地域の満足度等について

(1) 地域の満足度

ア 満足度グラフ

- 18項目中、前回調査より満足度が上昇したのは12項目であった。なお、低下のみられた6項目は、課題とするまでの差にはなっていない。
- 満足度が最も上昇したのは「まちなみの美しさ」で、次いで「自然景観の美しさ」となっている。



項目	満足度		
	平成22年	平成28年	増減
生活道路の整備状況	0.26	0.23	△ 0.02
交通渋滞の状況	0.18	0.11	△ 0.07
電車・バスの便利さ	△ 0.29	△ 0.22	0.07
緑の豊かさ	0.70	0.74	0.04
川や水路のきれいさ	0.10	0.25	0.14
公園・緑地	0.24	0.33	0.09
上・下水道の整備状況	0.64	0.64	△ 0.01
防犯面での安全性	△ 0.05	△ 0.04	0.01
小・中学校の近さ	0.51	0.46	△ 0.04
保育園・幼稚園の近さ	0.42	0.38	△ 0.03
日常の買い物の便利さ	0.30	0.46	0.16
文化・スポーツ施設の近さ	△ 0.29	△ 0.13	0.16
福祉施設の近さ	△ 0.26	△ 0.16	0.11
道路などの歩きやすさ	△ 0.12	△ 0.02	0.09
自然景観の美しさ	0.20	0.45	0.25
まちなみの美しさ	△ 0.04	0.26	0.30
医療施設の近さ	0.33	0.31	△ 0.02
地域全体の評価	0.13	0.23	0.10
平均	0.16	0.24	0.07

※上記グラフは「満足度」を比較したもので、数値は加重平均により算出している。

※「災害」については、今回の調査から「震災」と「水害」に細分化したため、比較は行っていない。

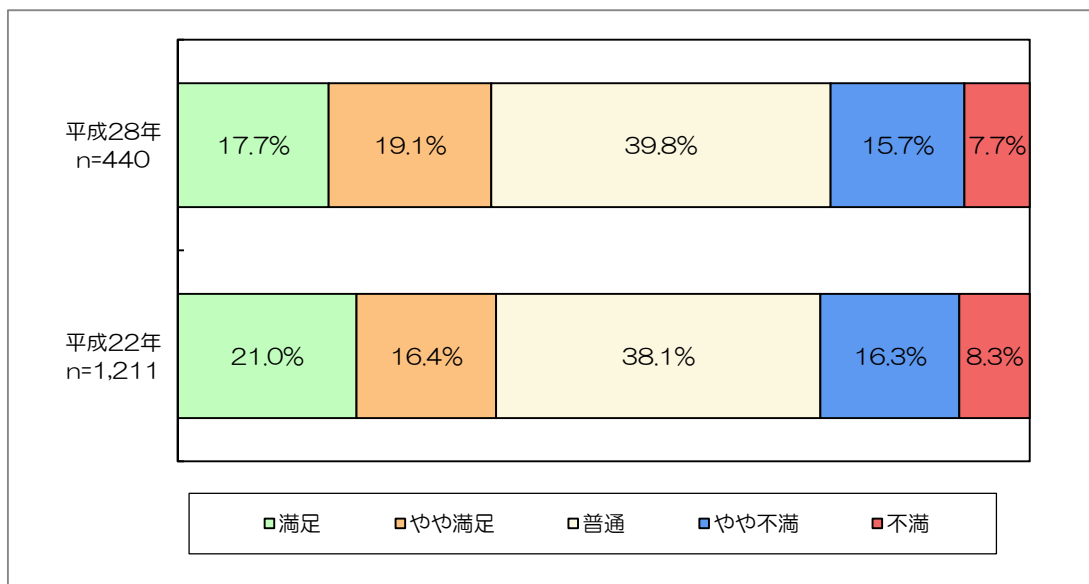
【加重平均の算出方法】

[満足×2 + やや満足×1 + 普通×0 + やや不満×(-1) + 不満×(-2)] / 選択者数

イ 全体集計

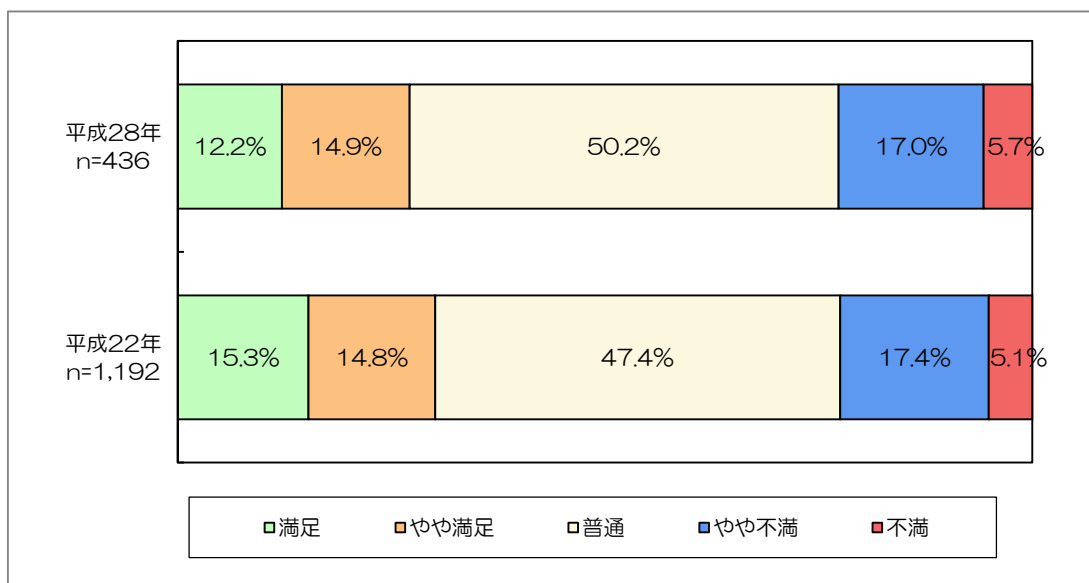
(7) 生活道路の整備状況

- 生活道路の整備状況については、「満足」「やや満足」の合計値、「普通」「不満」「やや不満」の合計値では、大きな差がみられない。



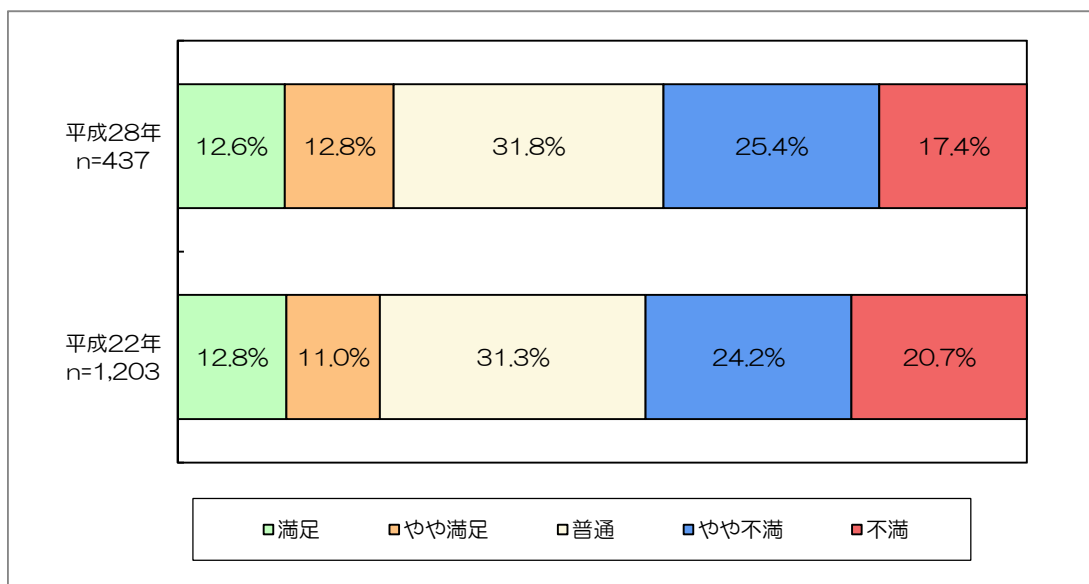
(4) 交通渋滞の状況

- 交通渋滞の状況については、「満足」「やや満足」の割合が低下し(30.1%→27.1%)、「普通」の割合が上昇している(47.4%→50.2%)。



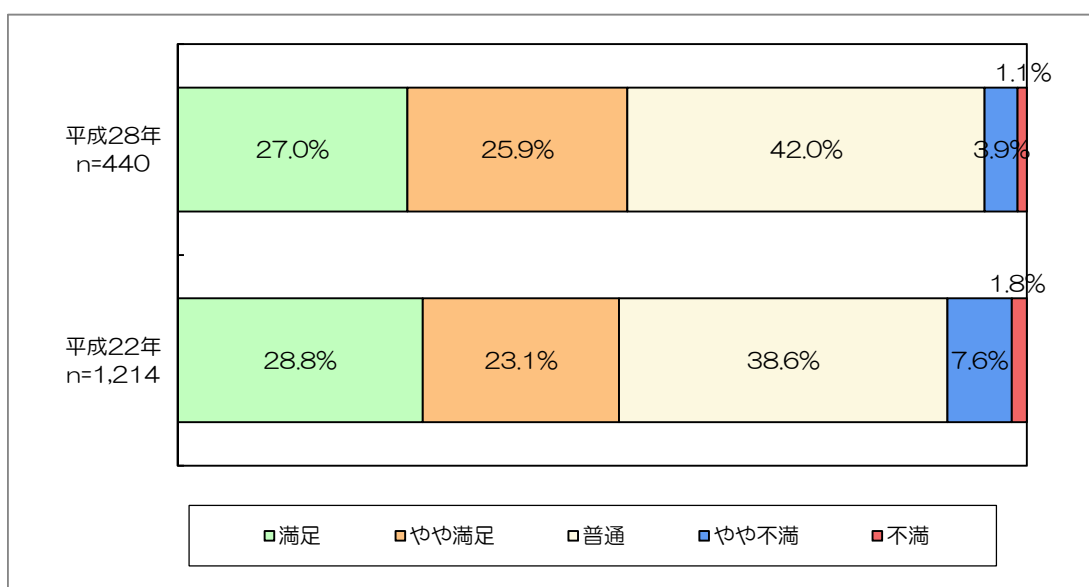
(ウ) 電車・バスの便利さ

- 電車・バスの便利さについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（23.8%→25.4%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（44.9%→42.8%）。



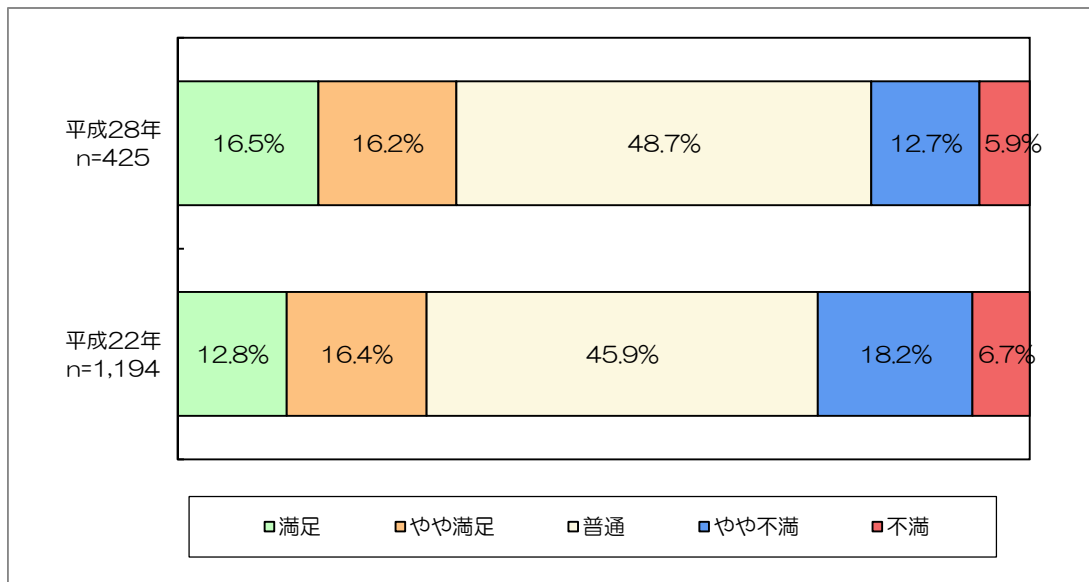
(エ) 緑の豊かさ

- 緑の豊かさについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（51.9%→52.9%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（9.4%→5.0%）。



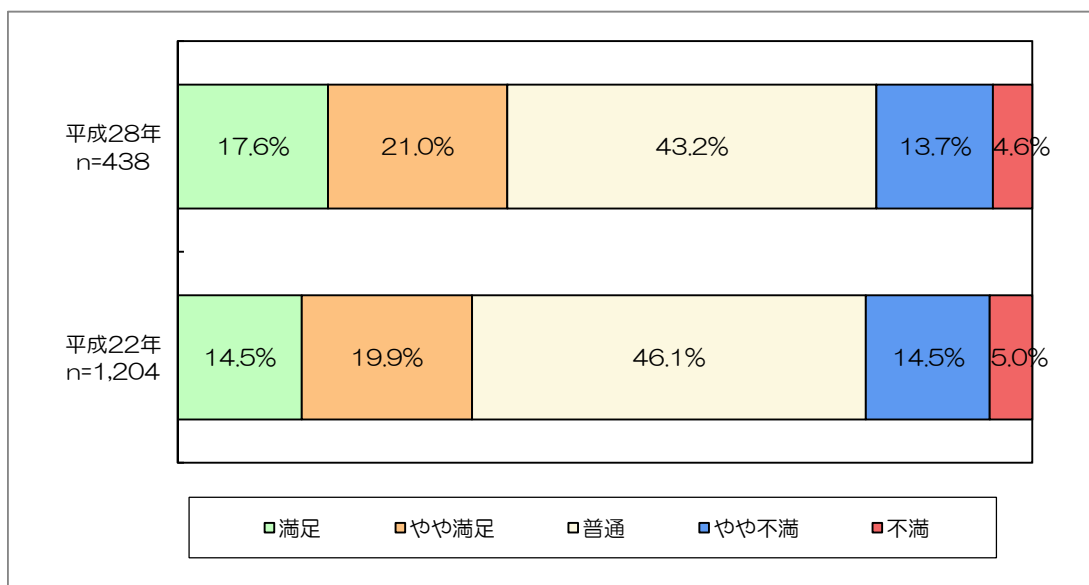
(オ) 川や水路のきれいさ

- 川や水路のきれいさについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（29.2%→32.7%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（24.9%→18.6%）。



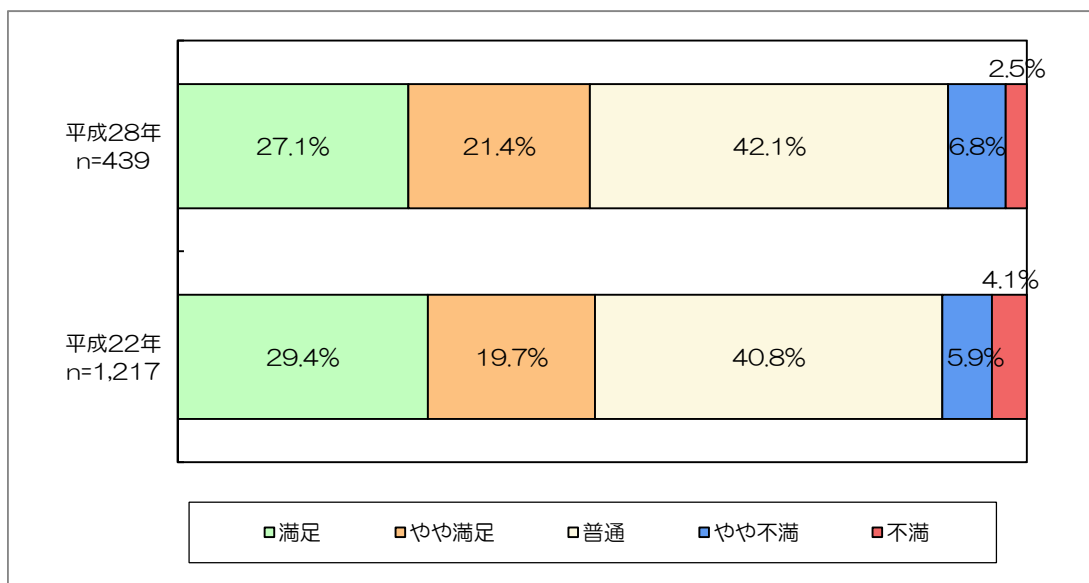
(カ) 公園・緑地

- 公園・緑地については、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（34.4%→38.6%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（19.5%→18.3%）。



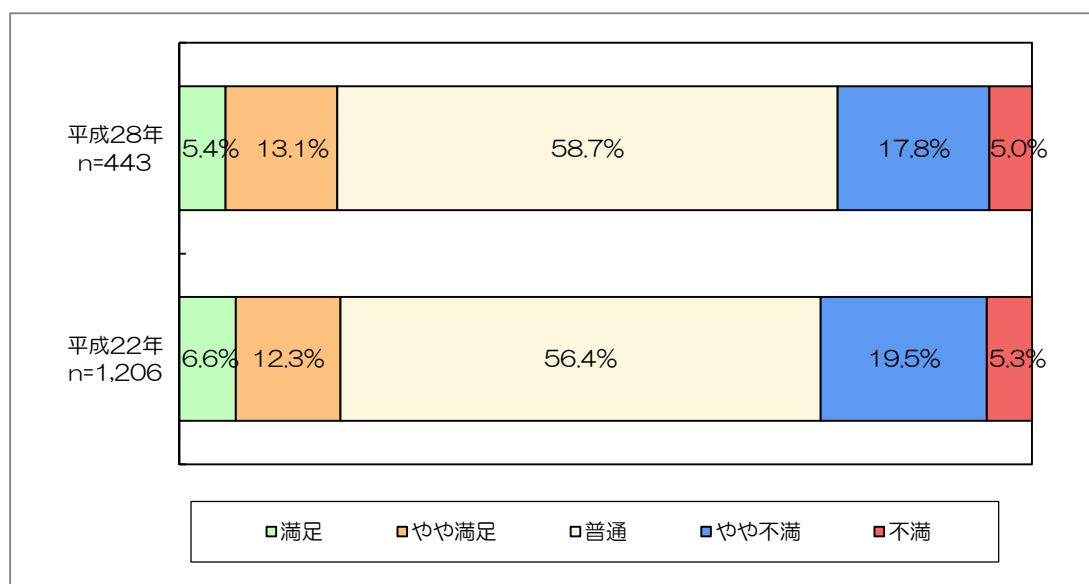
(キ) 上・下水道の整備状況

- 上・下水道については、大きな変化がみられない。



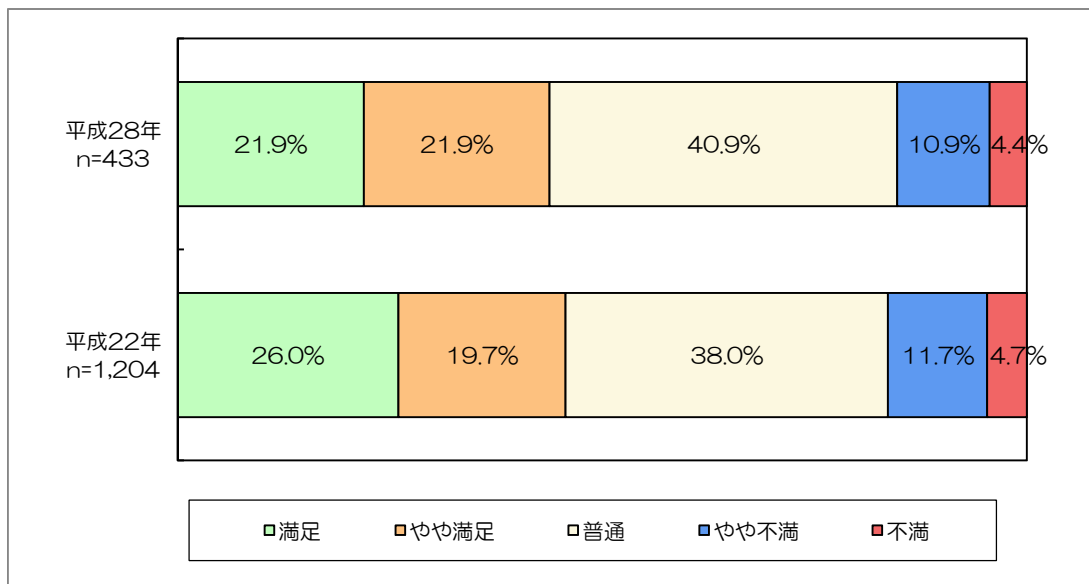
(ク) 防犯面での安全性

- 防犯面での安全性については、大きな変化がみられない。



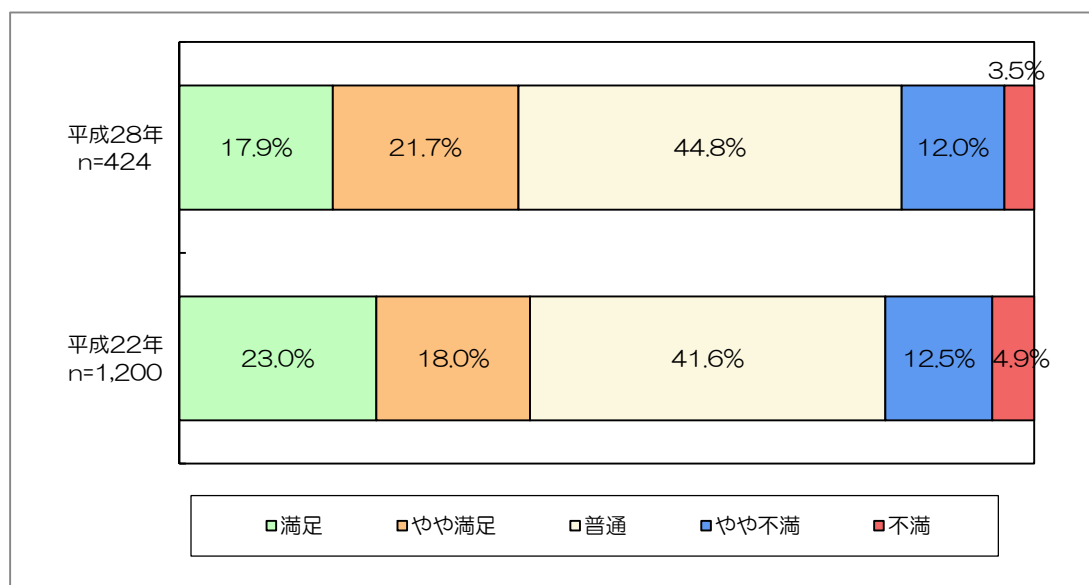
(ケ) 小・中学校の近さ

- 小・中学校の近さについては、「満足 (26.0%→21.9%) 」と「やや満足 (19.7%→21.9%) 」の割合に変化があるが、それ以外の選択肢では、大きな変化がみられない。



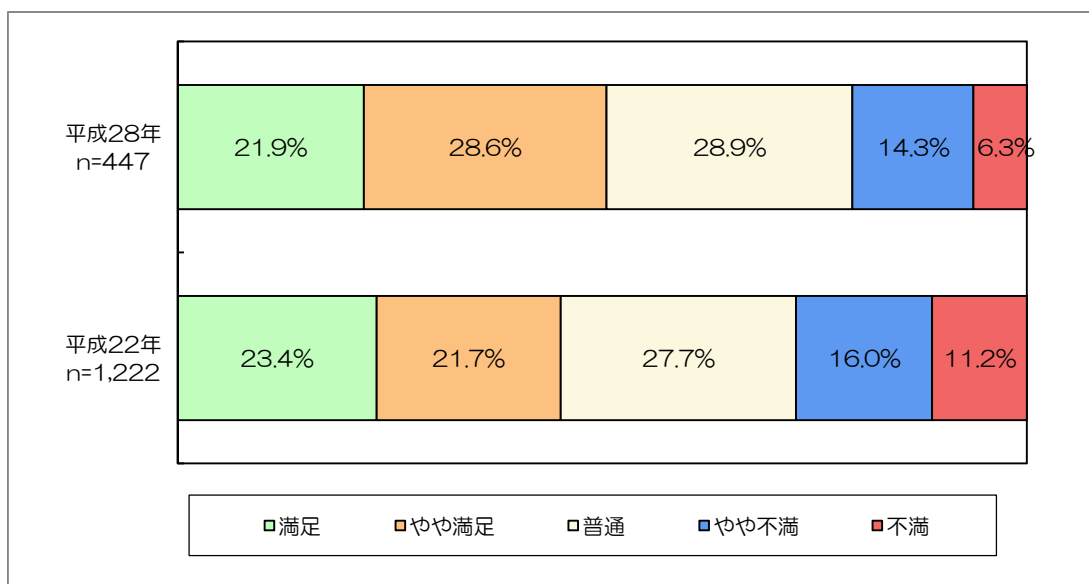
(コ) 保育園・幼稚園の近さ

- 保育園・幼稚園の近さについては、「満足 (23.0%→17.9%) 」と「やや満足 (18.0%→21.7%) 」の割合に変化があるが、それ以外の選択肢では、大きな変化がみられない。



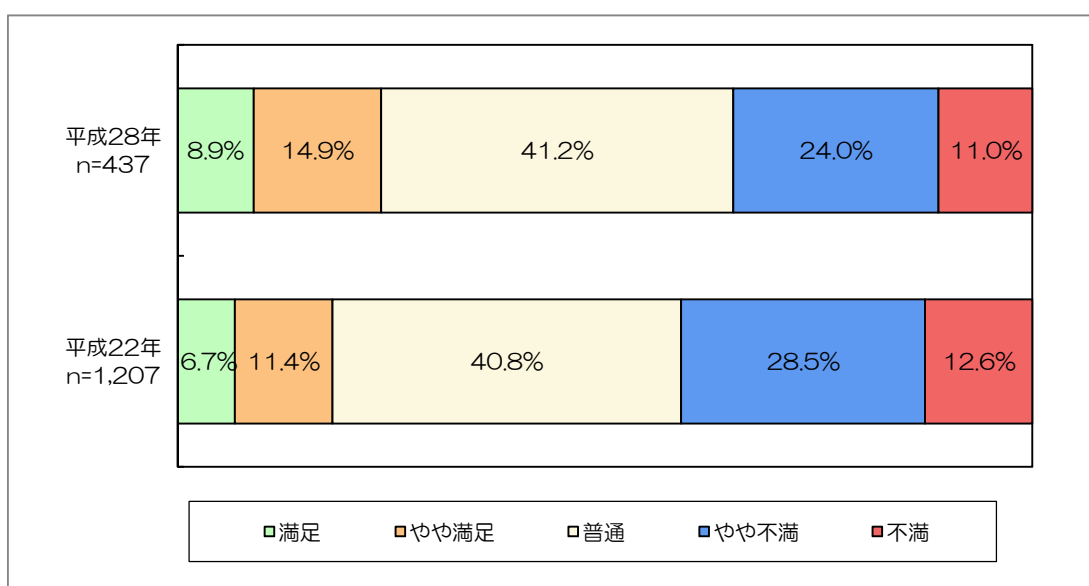
(サ) 日常の買物の便利さ

- 日常の買物の便利さについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（45.1%→50.5%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（27.2%→20.6%）。



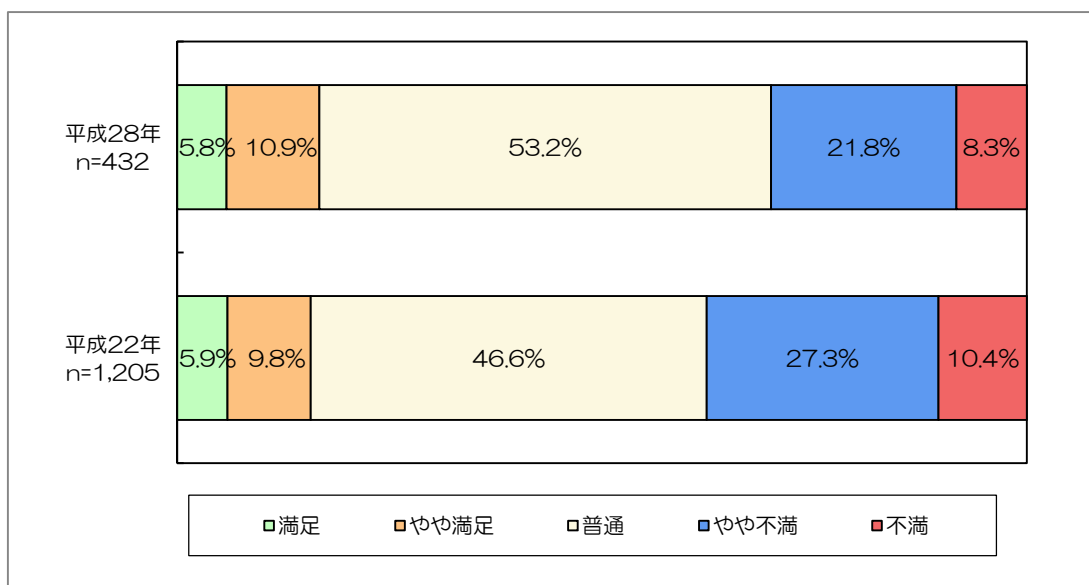
(シ) 文化・スポーツ施設の近さ

- 文化・スポーツ施設の近さについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（18.1%→23.8%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（41.1%→35.0%）。



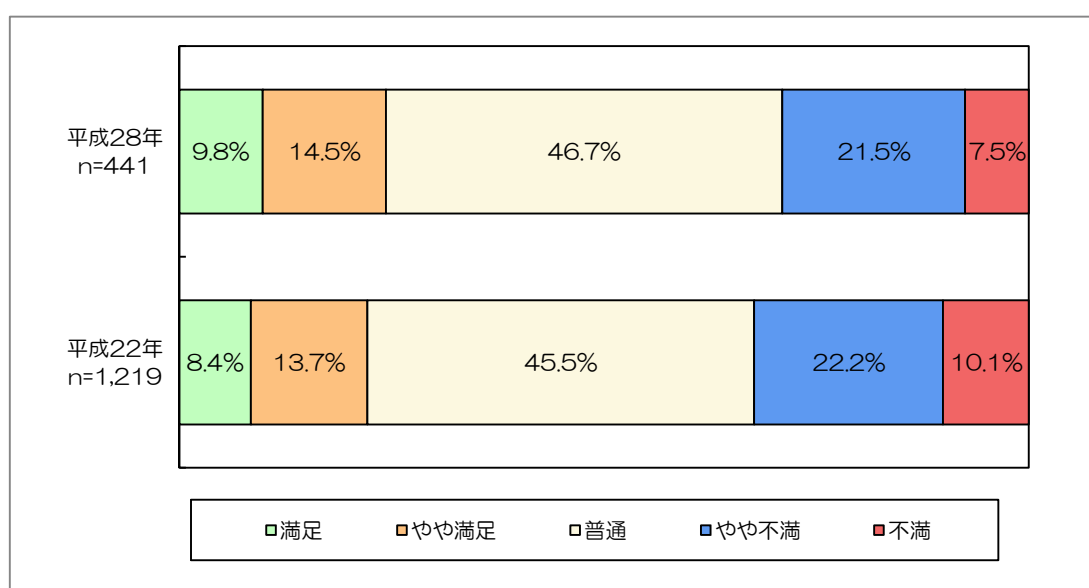
(ス) 福祉施設の近さ

- 福祉施設の近さについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（15.7%→16.7%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（37.7%→30.1%）。



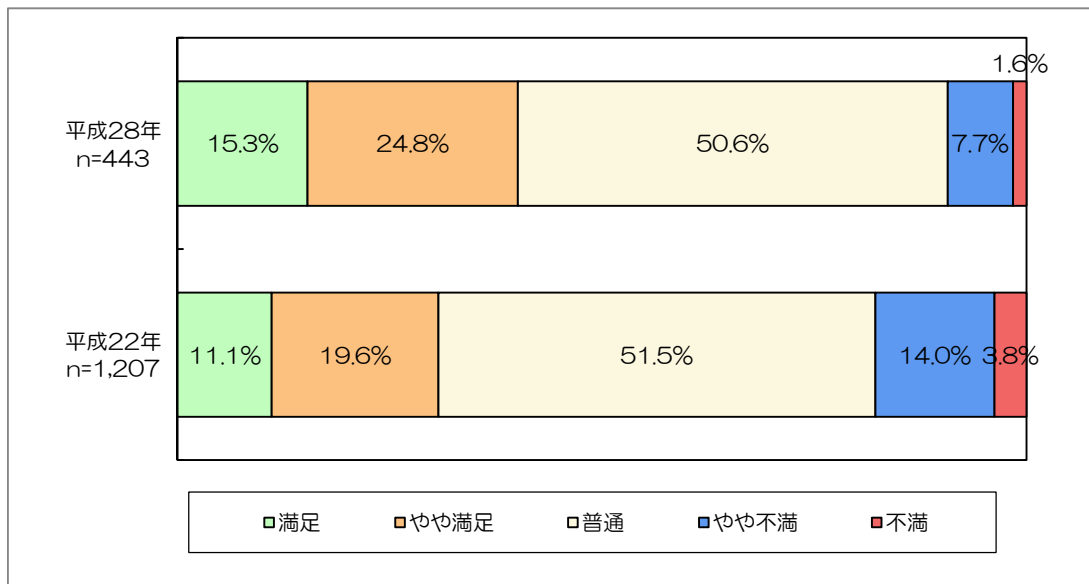
(セ) 道路などの歩きやすさ

- 道路などの歩きやすさについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（22.1%→24.3%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（32.3%→29.0%）。



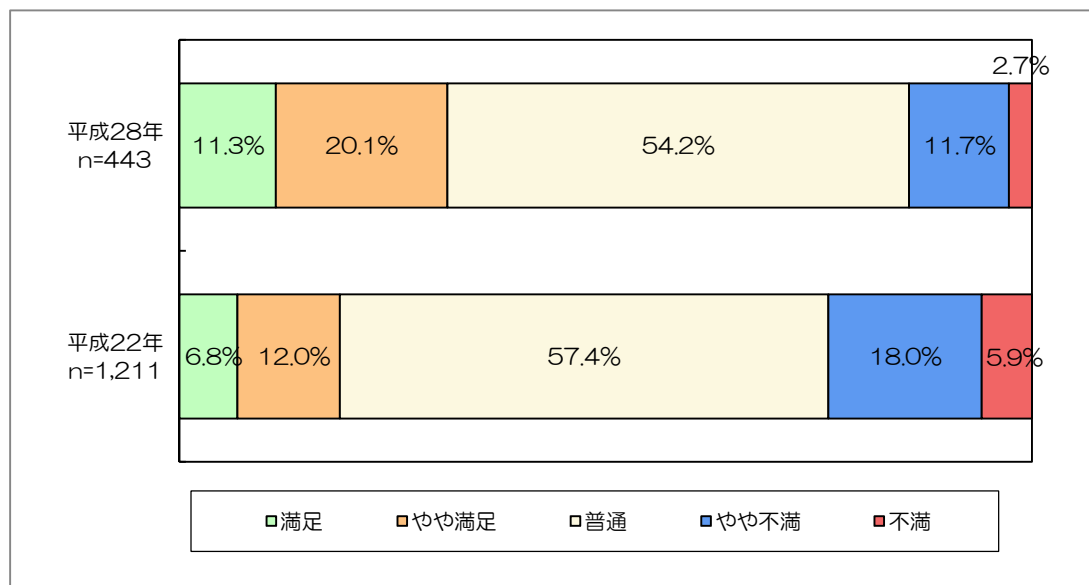
(7) 自然景観の美しさ

- 自然景観の美しさについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（30.7%→40.1%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（17.8%→9.3%）。



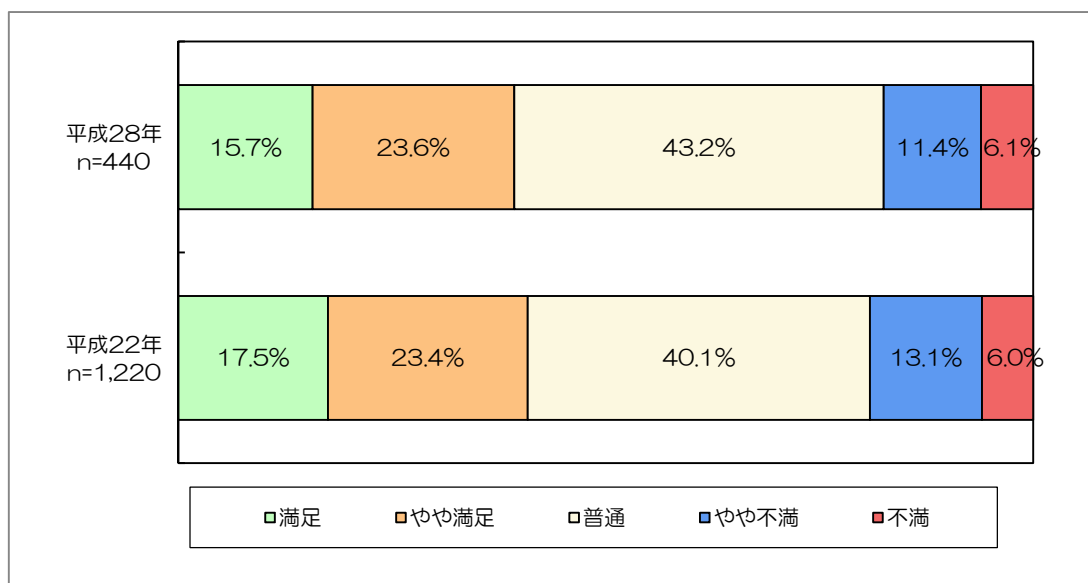
(8) まちなみの美しさ

- まちなみの美しさについては、「満足」「やや満足」の割合が上昇し（18.8%→31.4%）、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている（23.9%→14.4%）。



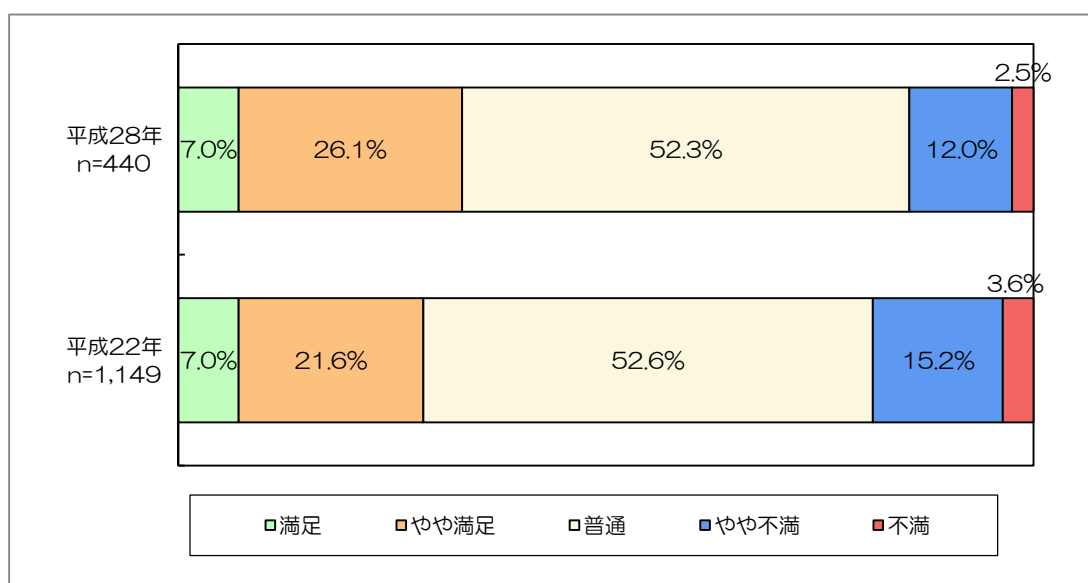
(フ) 医療施設の近さ

- 医療施設の近さについては、大きな変化がみられない。



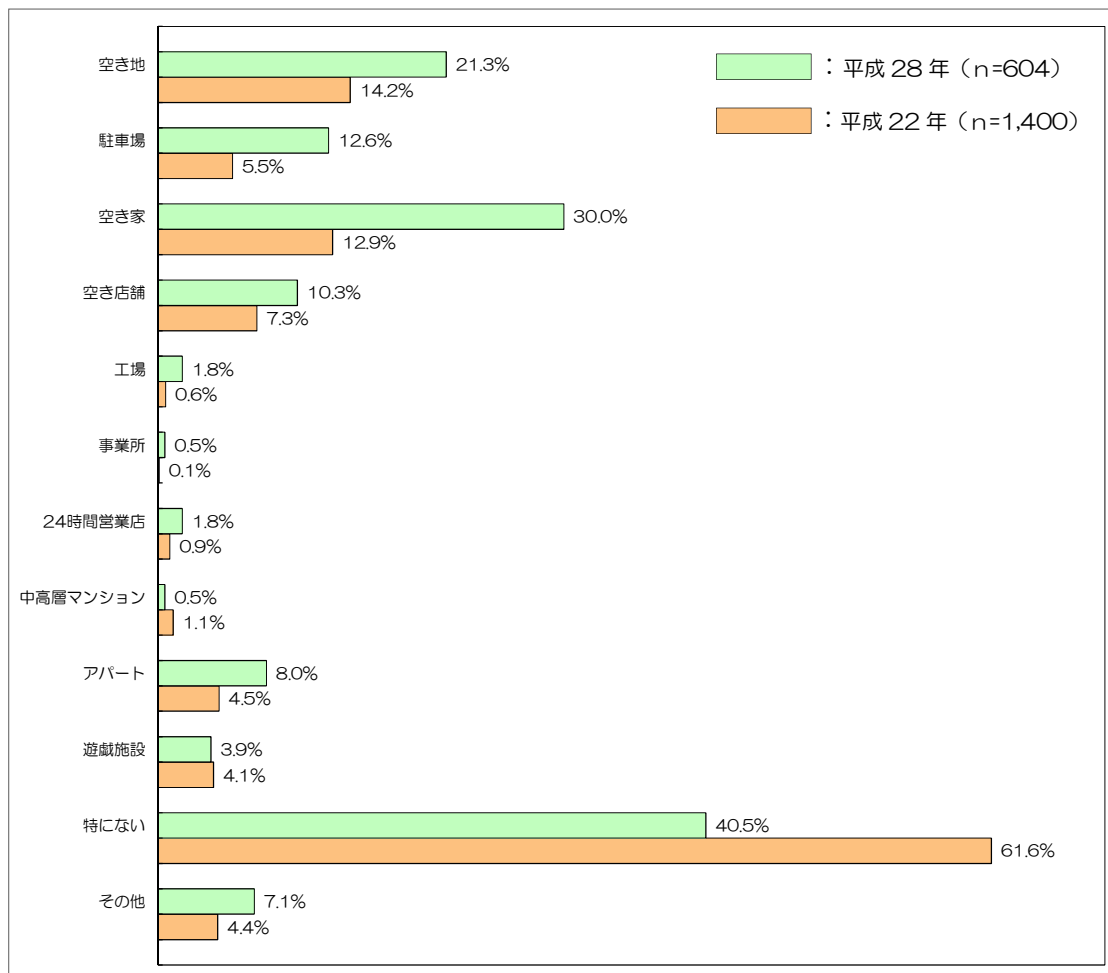
(ツ) 地域全体の評価

- 地域全体の評価については、「満足」「やや満足」の割合が上昇し (28.6%→33.1%)、「不満」「やや不満」の割合が低くなっている (18.8%→14.5%)。



(2) 地域で問題となっている土地・建物

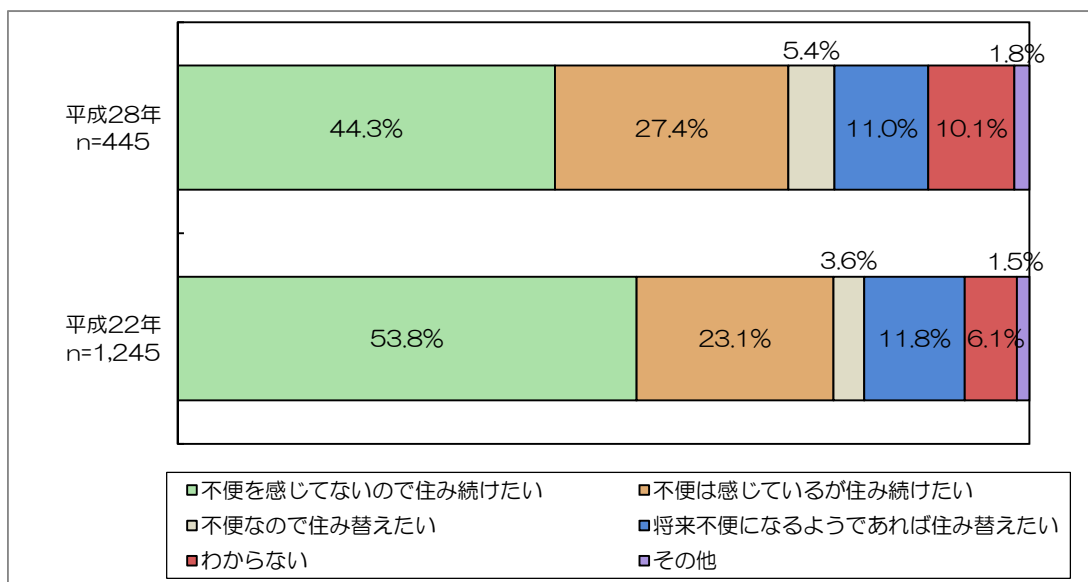
- 地域で問題となっている土地・建物については、「特にない」の割合が低くなり（61.6%→40.5%）、「空き地（14.2%→21.3%）」「空き家（12.9%→30.0%）」の割合が高くなっている。



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

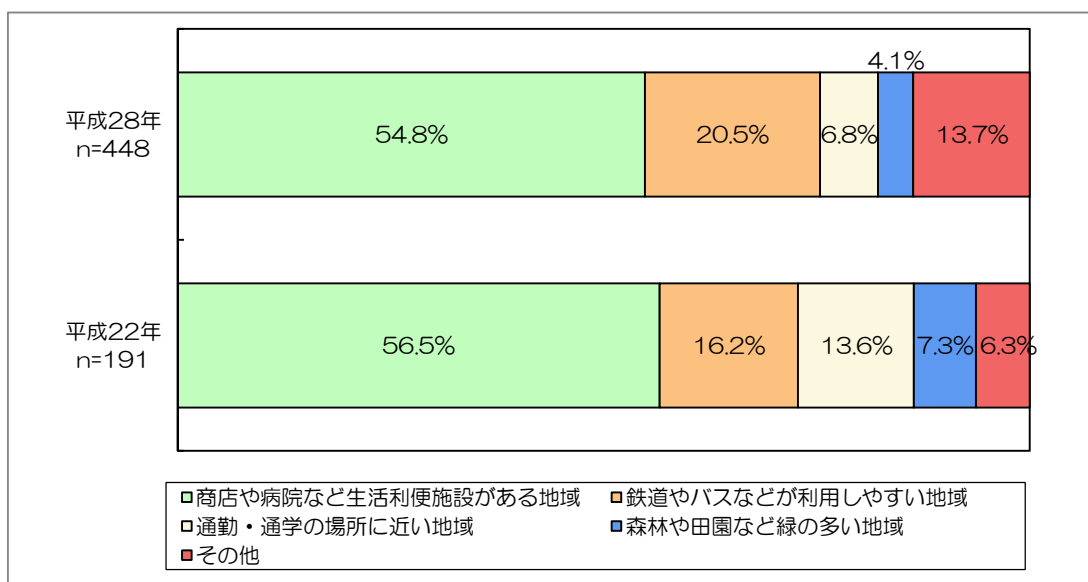
(3) 現在の地域に対する居留意向

- 現在の地域に対する居留意向については、「不便を感じてないので住み続けたい」の割合が低くなり（53.8%→44.3%）、「不便は感じているが住み続けたい」の割合が高くなっている（23.1%→27.4%）。



(4) 住み替える場合に希望する地域のイメージ

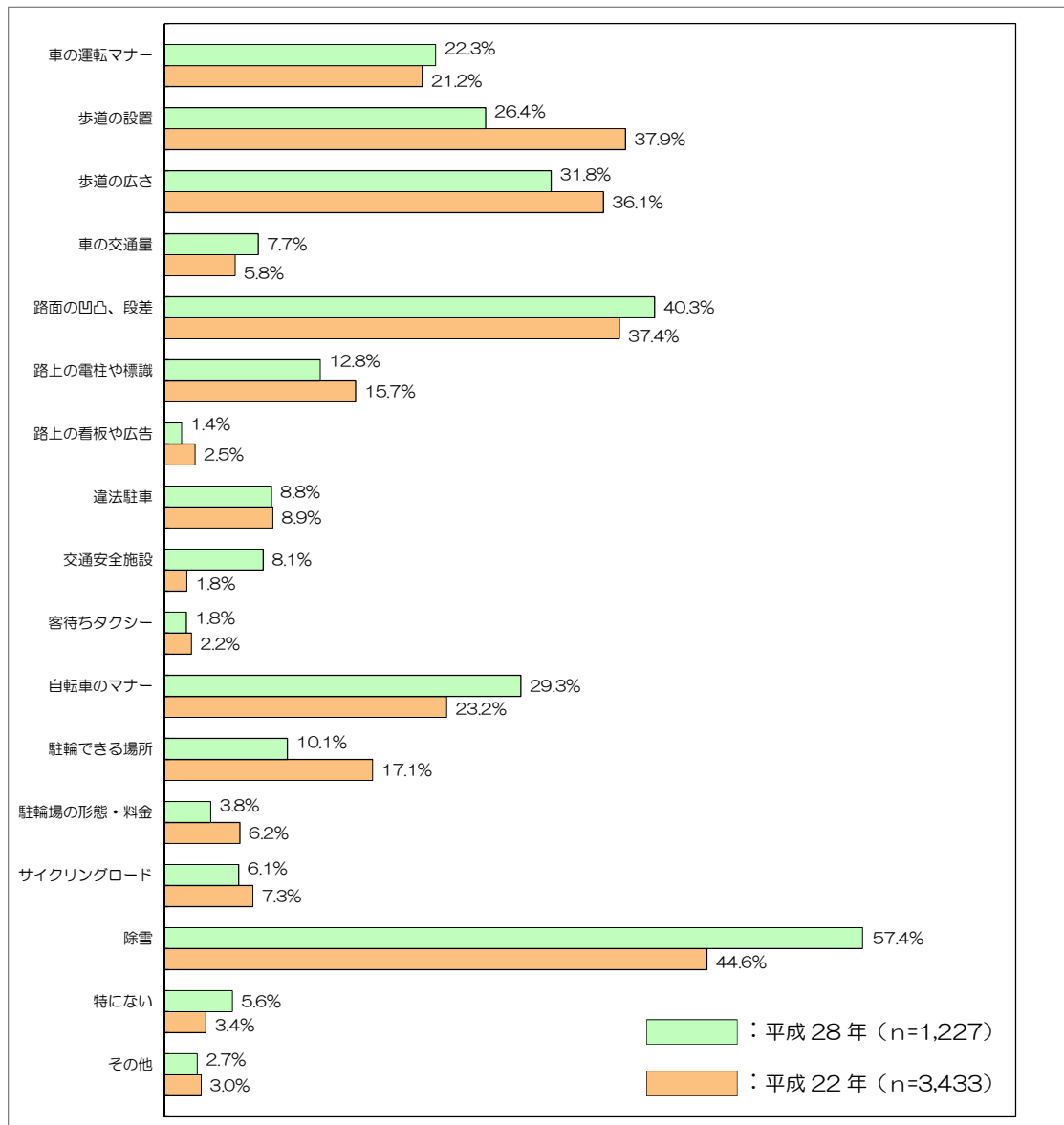
- 住み替える場合に希望する地域のイメージについては、「鉄道やバスなどが利用しやすい地域（16.2%→20.5%）」「その他（6.3%→13.7%）」の割合が高くなり、「通勤・通学の場所に近い地域（13.6%→6.8%）」の割合が低くなっている。
- なお、今回の調査での「その他」の記述では、“まちの雰囲気” “文化レベル” “大通りから外れた所” “地域の結びつき” などが挙げられている。



4 徒歩や自転車、自動車の交通環境

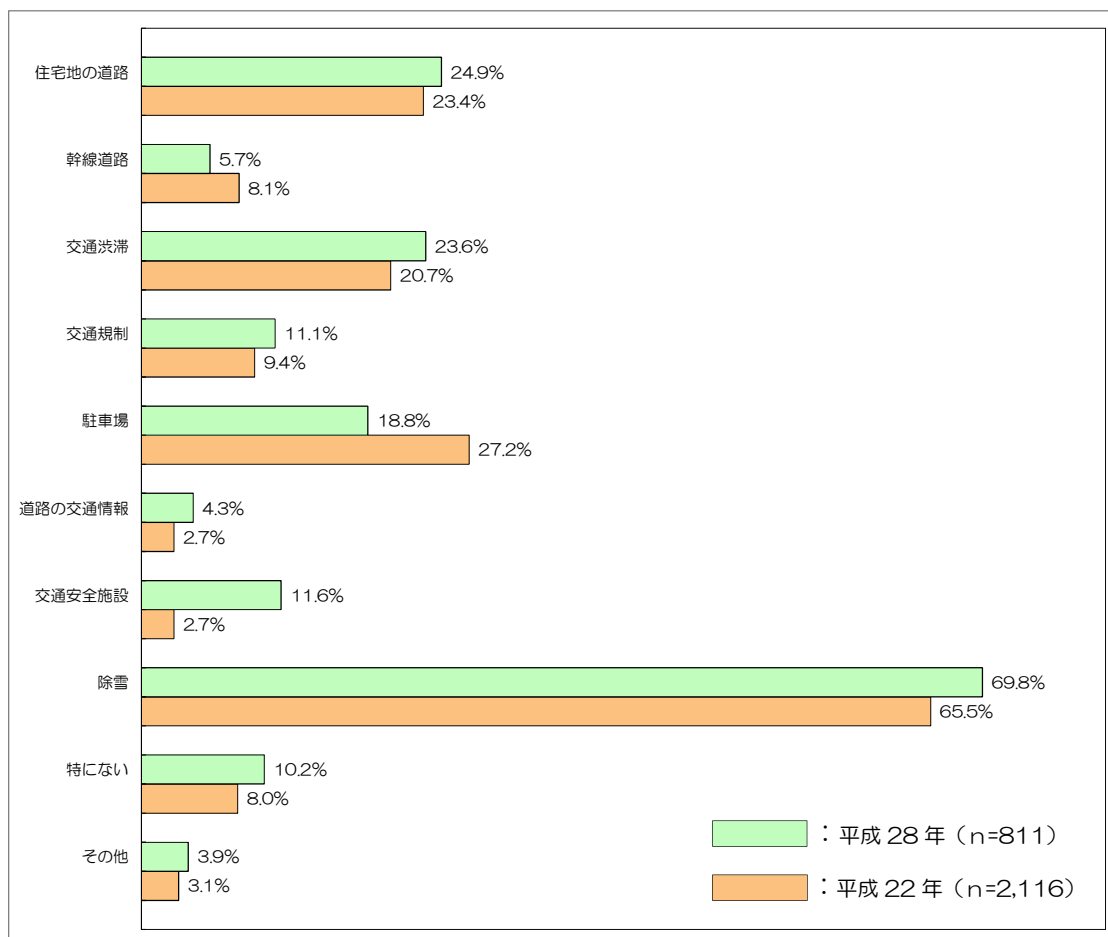
(1) 徒歩や自転車の利用に際しての改善点

- 徒歩や自転車の利用に際しての改善点で、割合が高くなったのは、「除雪（44.6%→57.4%）」「路面の凹凸、段差（37.4%→40.3%）」「自転車のマナー（23.2%→29.3%）」となっている。
- 割合が低くなったのは、「歩道の設置（37.9%→26.4%）」「歩道の広さ（36.1%→31.8%）」「駐輪できる場所（17.1%→10.1%）」となっている。



(2) 自動車の利用に際しての改善点

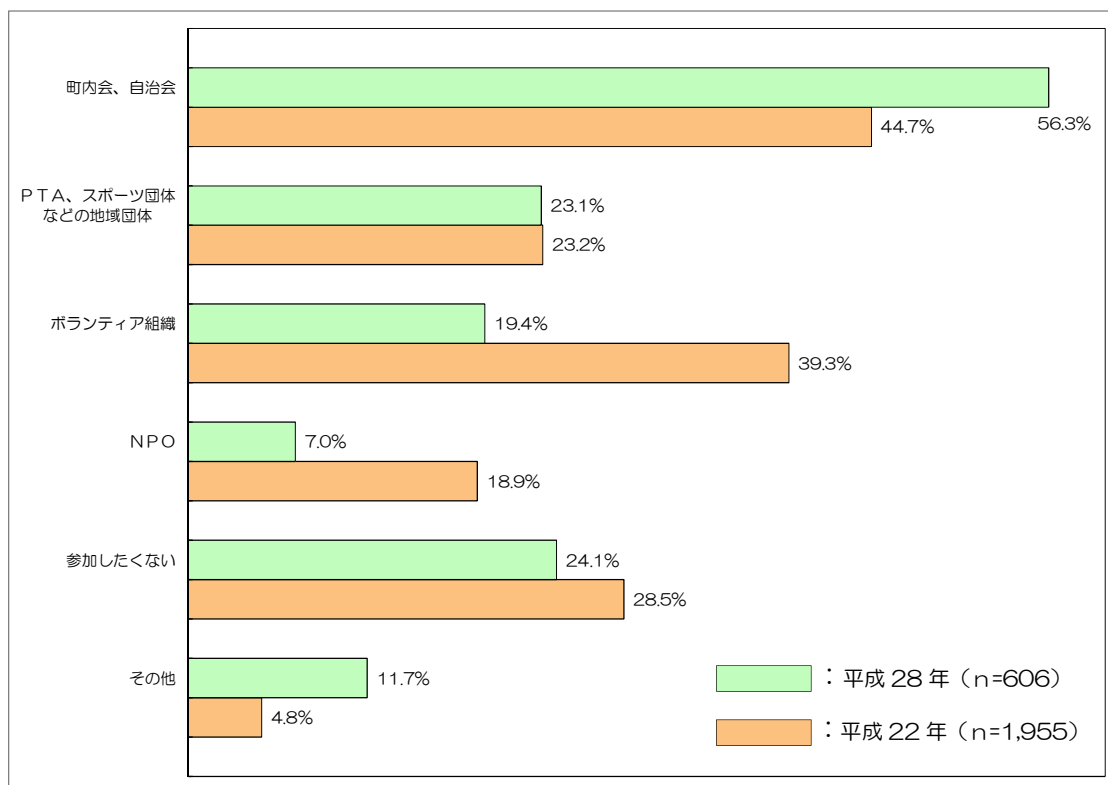
- 自動車の利用についての改善点で、割合が高くなったのは、「除雪（65.5%→69.8%）」「住宅地の道路（23.4%→24.9%）」「交通渋滞（20.7%→23.6%）」「交通安全施設（2.7%→11.6%）」となっている。
- 割合が低くなったのは、「駐車場（27.2%→18.8%）」「幹線道路（8.1%→5.7%）」となっている。



5 まちづくりへの住民参加

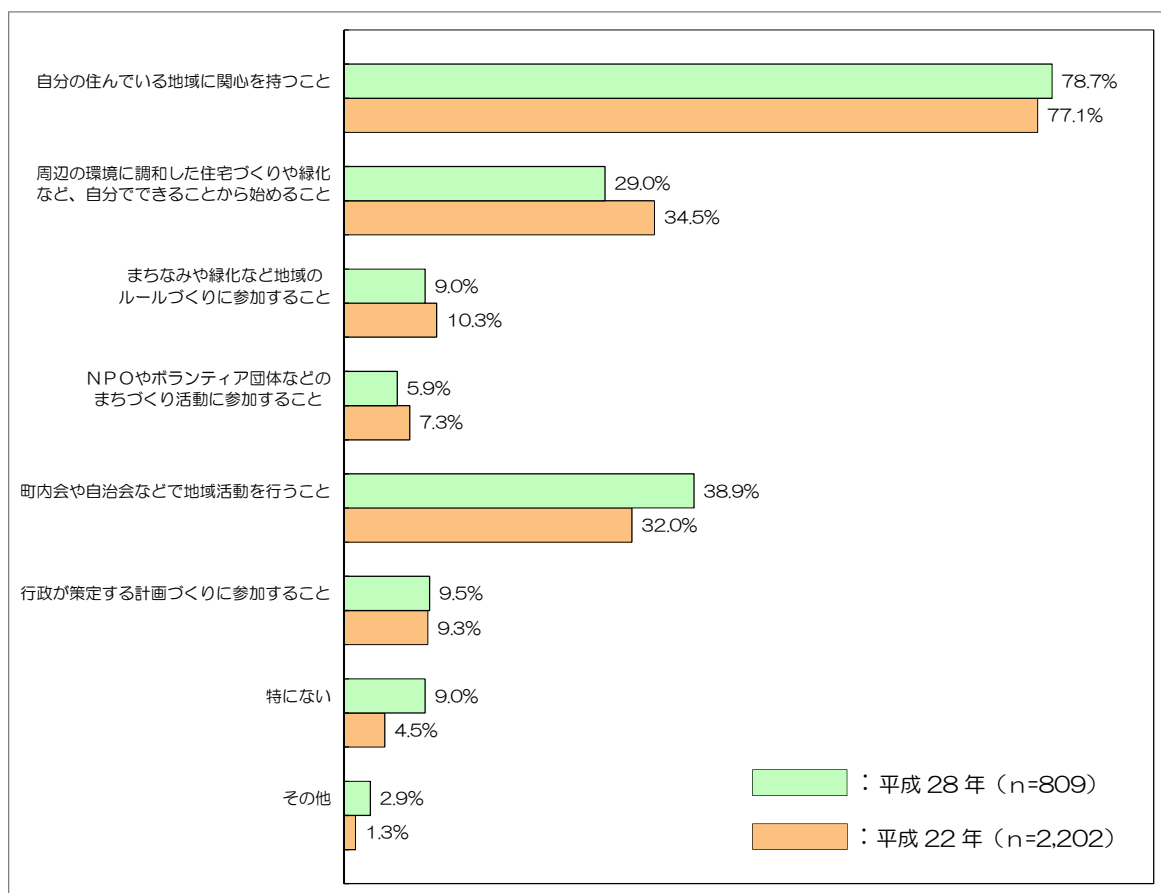
(1) まちづくり活動への参加意向

- まちづくり活動への参加意向で、割合が高くなったのは、「町内会、自治会（44.7%→56.3%）」となっている。
- 割合が低くなったのは、「ボランティア組織（39.3%→19.4%）」
「NPO（18.9%→7.0%）」「参加したくない（28.5%→24.1%）」となっている。



(2) まちづくりを進める中で、市民として大切だと思うこと

- まちづくりを進める上で市民の役割として大切だと思うことで、割合が高くなったのは、「町内会や自治会などで地域活動を行うこと（32.0%→38.9%）」となっている。
- 割合が低くなったのは、「周辺の環境に調和した住宅づくりや緑化など、自分でできることから始めること（34.5%→29.0%）」となっている。



第 5 章
調 查 結 果 集 計 表

問 1 あなたの「性別」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
男性	182	40.6%
女性	266	59.4%
合計	448	100.0%

問 2 あなたの「年齢区分」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
20～29歳	34	7.6%
30～39歳	61	13.6%
40～49歳	62	13.8%
50～59歳	76	17.0%
60～69歳	96	21.4%
70歳以上	119	26.6%
合計	448	100.0%

問 3 あなたの「職業（主なもの）」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
会社員	106	23.7%
公務員・教員	28	6.3%
自営業	25	5.6%
主婦又は主夫	84	18.8%
パート・アルバイト・内職	55	12.3%
学生	4	0.9%
無職	122	27.2%
その他	23	5.1%
無回答	1	0.2%
合計	448	100.0%

問 4 あなたの「お住まい」の形態をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
一戸建て持ち家	338	75.4%
分譲マンション	16	3.6%
公営住宅	17	3.8%
一戸建て借家	18	4.0%
民間賃貸のマンション 又はアパート	49	10.9%
その他	10	2.2%
合計	448	100.0%

問 5 あなたの「家族構成」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
単身	55	12.3%
2世代世帯	217	48.4%
夫婦のみ	118	26.3%
3世代以上の世帯	39	8.7%
その他	18	4.0%
無回答	1	0.2%
合計	448	100.0%

問 6 あなたの「お住まいの地域」をお答えください。

選択項目	回答者数	割合
中央地域	99	22.1%
東部地域	89	19.9%
西部地域	51	11.4%
南部地域	73	16.3%
北部地域	115	25.7%
河辺地域	16	3.6%
雄和地域	5	1.1%
合計	448	100.0%

問 21 あなたが「ここ1～2年の間に、外出先で、障がい者や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるか」お聞きします。

選択項目	回答者数	割合
ある	178	39.7%
ない	270	60.3%
無回答	0	0.0%
合計	448	100.0%

問 22 前の問 21 で「ある」を選んだ方にお聞きします。その時にあなたはどのようにしましたか。

選択項目	回答者数	割合
手助けした	135	75.8%
何もしなかった	30	16.9%
その他	8	4.5%
無回答	5	2.8%
合計	178	100.0%

問 23 前記の問 22 で「手助けした」を選んだ方にお聞きします。具体的にどのような手助けをしましたか。

選択項目	回答者数	割合
荷物を持った	33	24.4%
横断歩道や通行の困難な道路で誘導したり手を引いた	45	33.3%
階段の登り降りに手を貸した	21	15.6%
電車やバスの乗り降りに手を貸した	17	12.6%
車いすを押したり持ち上げたりするのを手伝った	40	29.6%
乗り物で席を譲った	55	40.7%
道や場所を教えた	67	49.6%
扉を開けたり閉めたりした	79	58.5%
落としたりものを拾った	40	29.6%
その他	9	6.7%
無回答	1	0.7%
合計	407	301.5%

問 24 前の問 22 で「何もしなかった」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。

選択項目	回答者数	割合
急いでいた	8	26.7%
自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった	10	33.3%
自分でなくてもほかの人が手助けすると思った	4	13.3%
恥ずかしい気持ちがあった	2	6.7%
自分ひとりではできないと思った	4	13.3%
どのように手助けしたらいいか分からなかった	7	23.3%
手助けしていいものなのかわからなかった	14	46.7%
手助けしたくなかった	0	0.0%
その他	5	16.7%
無回答	3	10.0%
合計	57	190.0%

問 25 「障がい者や高齢者が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします。

選択項目	回答者数	割合
児童生徒と高齢者や障がい者との交流	201	44.9%
学校教育での指導	245	54.7%
街頭キャンペーンやイベントの開催	57	12.7%
ボランティアの育成	120	26.8%
ホームページ等によるバリアフリー情報の提供	30	6.7%
広報やポスターなどによる啓発活動	115	25.7%
セミナーやシンポジウムの開催	41	9.2%
その他	30	6.7%
無回答	14	3.1%
合計	853	190.4%

問 26 商業施設や公共施設にある「車いすのマークのついた駐車スペース」の利用状況をどのように感じているかお聞きします。

選択項目	回答者数	割合
車いす使用者のみが利用している	35	7.8%
車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人のみが利用している	97	21.7%
車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している	181	40.4%
車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している	77	17.2%
わからない	51	11.4%
無回答	7	1.6%
合計	448	100.0%

問 27 ここ最近、高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用も可能な「多目的トイレ（みんなのトイレ）」が増えましたが、その利用状況をどのように感じているかお聞きします。

選択項目	回答者数	割合
高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにはなっていない	257	57.4%
高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになっている	19	4.2%
わからない	166	37.1%
無回答	6	1.3%
合計	448	100.0%

第 6 章
關 係 資 料

秋田市の『都市計画』および『バリアフリー』に関するアンケート調査 ご協力をお願い

日頃より、市政の運営に際しまして、特段のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、良好な市民生活の維持・向上を目指し、平成23年に「第6次秋田市総合計画」および「秋田市バリアフリー基本構想」を策定し、まちづくりを進めています。

現在、これらの計画等の中間年（5年）を経過したことから、これまでの取組に対し、様々な観点から評価を行っています。

このたび、その評価の一環として、性別・年齢・地域別の人口比で、無作為に選んだ20歳以上の市民（千人）を対象にアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査で得られたデータは、計画等の評価はもとより、今後の施策展開の貴重な資料として活用しますので、趣旨をご理解の上、調査にご協力をいただきますようお願いいたします。

【参考のホームページ】

第6次秋田市総合都市計画

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/im/keikaku/6thmasterplan/default.htm>

秋田市バリアフリー基本構想

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/im/keikaku/11koutuu-BF/bfkyougikai/default.htm>

【アンケートの集計と公表】

このアンケートの集計は秋田市都市計画課が行います。また、集計結果は市のホームページに掲載します。

- 調査票は、同封したものをご使用ください。
- 回答は、お送りした封筒の宛名の方がお答えください。事情により、ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を聞いて、ご家族など代理の方が記入ください。
- 調査票への記入は、ボールペン又は鉛筆をご使用ください。
- この調査は、無記名で、統計的な分析のみを行いますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。ご自身のお気持ち、ご意向に一番あてはまる回答を記入ください。
- 調査票への記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手は不用）に入れて、平成28年7月1日までに郵便ポストに投函ください。

【問い合わせ先】

秋田市 都市整備部 都市計画課 計画担当

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号（本庁舎4階）

TEL 018-888-5764 FAX 018-888-5763

E-mail ro-urim@city.akita.akita.jp

調 査 票

あなたご自身についてお伺いします

問 1 あなたの「性別」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 男 2. 女

問 2 あなたの「年齢区分」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上

問 3 あなたの「職業（主なもの）」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 会社員 2. 公務員・教員 3. 自営業
4. 主婦又は主夫 5. パート・アルバイト・内職
6. 学生 7. 無職
8. その他（ ）

問 4 あなたの「お住まい」の形態をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 一戸建て持ち家 2. 分譲マンション
3. 公営住宅 4. 一戸建て借家
5. 民間賃貸のマンション又はアパート
6. その他（ ）

問 5 あなたの「家族構成」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 単身 2. 親と子、夫婦と親など2世代世帯
3. 夫婦のみ 4. 3世代（親と子と孫）以上の世帯
5. その他（ ）

問6 あなたの「お住まいの地域」をお答えください。
あてはまるものを選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 中央地域	（大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉（JR線西側）、千秋、中通、南通、楢山、茨島、八橋）
2. 東部地域	（東通、手形、手形（字）、手形山、泉（JR線東側）、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別、広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、大平台、下北手、太平）
3. 西部地域	（新屋、勝平、浜田、豊岩、下浜、向浜）
4. 南部地域	（牛島東、牛島西、牛島南、卸町、大住、仁井田、御野場、御所野、四ツ小屋、上北手、山手台）
5. 北部地域	（寺内、外旭川、土崎港中央、土崎港東、土崎港西、土崎港南、土崎港北、左記以外の土崎港、将軍野東、将軍野南、左記以外の将軍野、港北、飯島、金足、下新城、上新城）
6. 河辺地域	
7. 雄和地域	

問7 あなたの「平日の主な交通（移動）手段」をお答えください。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 自家用車	2. バイク	3. 自転車
4. 鉄道	5. バス	6. 徒歩
7. タクシー	8. その他（	）

問8 あなたの「休日の主な交通（移動）手段」をお答えください。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 自家用車	2. バイク	3. 自転車
4. 鉄道	5. バス	6. 徒歩
7. タクシー	8. その他（	）

1 都市計画について

あなたが住んでいる地域（おおむね小学校区）のことについてお伺いします

問9 現在、あなたが住んでいる地域の生活環境の満足度を項目ごとにお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

項 目		現在の満足度				
		満 足	やや満足	普 通	やや不満	不 満
交 通	①生活道路の整備状況	1	2	3	4	5
	②交通渋滞の状況	1	2	3	4	5
	③電車・バスの便利さ	1	2	3	4	5
自 然	④緑の豊かさ	1	2	3	4	5
	⑤川や水路のきれいさ	1	2	3	4	5
生 活 環 境	⑥公園・緑地	1	2	3	4	5
	⑦上・下水道の整備状況	1	2	3	4	5
安 全	⑧火災・延焼に対する安全性	1	2	3	4	5
	⑨地震に対する安全性	1	2	3	4	5
	⑩水害に対する安全性	1	2	3	4	5
	⑪防犯面での安全性	1	2	3	4	5
子育て	⑫小・中学校の近さ	1	2	3	4	5
	⑬保育園・幼稚園の近さ	1	2	3	4	5
	⑭子育て支援サービス施設 (児童館での放課後児童ク ラブや民間の学童クラブな ど)の近さ	1	2	3	4	5
	⑮親子で利用しやすい施設 (就学前の子どもと保護者 が一緒に利用する施設な ど)の近さ	1	2	3	4	5
生活し やすさ	⑯日常の買物の便利さ	1	2	3	4	5
	⑰文化・スポーツ施設の近さ	1	2	3	4	5
	⑱福祉施設の近さ	1	2	3	4	5
	⑲道路などの歩きやすさ	1	2	3	4	5
景 観	⑳自然景観の美しさ	1	2	3	4	5
	㉑まちなみの美しさ	1	2	3	4	5
医 療	㉒医療施設の近さ	1	2	3	4	5
地域全体の評価		1	2	3	4	5

問10 現在、あなたが住んでいる地域で問題だと感じている土地や建物についてお聞きします。

特に問題になっている事項を2つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | | | |
|--------------------------|-------------|---------|
| 1. 空き地 | 2. 駐車場 | 3. 空き家 |
| 4. 空き店舗 | 5. 工場 | 6. 事業所 |
| 7. 24時間営業店 | 8. 中高層マンション | 9. アパート |
| 10. 遊戯施設（パチンコ、ゲームセンターなど） | | |
| 11. 特にない | | |
| 12. その他（ ） | | |

問11 将来の居住の意向（あなたがお住まいの地域に住み続けるかどうか）についてお聞きします。

あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | |
|-------------------------|
| 1. 不便を感じていないので住みたい |
| 2. 不便は感じているが住みたい |
| 3. 不便なので住み替えたい |
| 4. 将来、不便になるようであれば住み替えたい |
| 5. わからない |
| 6. その他（ ） |

問12 前の **問11** で「3. 不便なので住み替えたい」又は「4. 将来、不便になるようであれば住み替えたい」を選んだ方にお聞きします。（それ以外の番号を選んだ方は **問13** へお進みください）

もし、住み替える（費用を考慮せず）としたら、どのような場所が良いですかあてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | |
|-----------------------|
| 1. 商店や病院など生活利便施設がある地域 |
| 2. 鉄道やバスなどを利用しやすい地域 |
| 3. 通勤地や通学地に近い地域 |
| 4. 自然や田園など緑が多い地域 |
| 5. その他（ ） |

交通環境についてお伺いします

問13 徒歩や自転車の利用に際しての改善点についてお聞きします。
重要だと思う事項を3つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 車の運転マナー | 2. 歩道の設置 |
| 3. 歩道の広さ | 4. 車の交通量 |
| 5. 路面の凹凸、段差 | 6. 路上の電柱や標識 |
| 7. 路上の看板や広告 | 8. 違法駐車 |
| 9. 交通安全施設（ガードレールや信号など） | |
| 10. 客待ちタクシー | 11. 自転車のマナー |
| 12. 駐輪できる場所 | 13. 駐輪場の形態・料金 |
| 14. サイクリングロード | 15. 除雪 |
| 16. 特にない | 17. その他（ ） |

問14 自動車の利用に際しての改善点についてお聞きします。
重要だと思う事項を2つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 住宅地の道路 | 2. 幹線道路 |
| 3. 交通渋滞 | 4. 交通規制（一方通行、時間規制） |
| 5. 駐車場 | 6. 道路の交通情報 |
| 7. 交通安全施設（ガードレールや信号など） | |
| 8. 除雪 | 9. 特にない |
| 10. その他（ ） | |

まちづくりへの参加について伺います

問17 あなたの「現在のまちづくり活動への参加状況」についてお聞きします。
あてはまるものをすべて選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 町内会、自治会の活動
2. P T A、スポーツ団体などの地域団体の活動
3. ボランティア組織の活動
4. N P O（特定非営利活動法人）の活動
5. 参加していない
6. その他（ ）

問18 あなたの「今後のまちづくり活動への参加の意向」についてお聞きします。
あてはまるものをすべて選んで右の記入欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 町内会、自治会
2. P T A、スポーツ団体などの地域団体
3. ボランティア組織
4. N P O（特定非営利活動法人）
5. 参加したくない
6. その他（ ）

問19 あなたが「まちづくりを進める上で市民の役割として大事だと思うこと」をお聞きします。
あてはまるものを2つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 自分の住んでいる地域に関心を持つこと
2. 周辺の環境に調和した住宅づくりや緑化など、自分でできることから始めること
3. まちなみや緑化など地域のルールづくりに参加すること
4. N P Oやボランティア団体などのまちづくり活動に参加すること
5. 町内会や自治会などで地域活動を行うこと
6. 行政が策定する計画づくりに参加すること
7. 特にない
8. その他（ ）

自由意見 秋田市の「都市計画（まちづくり）の取組」について、ご意見やご提案がありましたら、下記に記入ください。

続いて次頁より「バリアフリー」に関することをお伺いします

2 バリアフリーについて

バリアフリーなどの言葉の意味についてお伺いします

問20 次の「言葉の意味」を知っているかどうかお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

-1 バリアフリー

番号記入欄

1. 知っており、大体説明できる
2. 聞いたことはあるが、説明できない
3. 知らない
4. その他 ()

-2 ユニバーサルデザイン

番号記入欄

1. 知っており、大体説明できる
2. 聞いたことはあるが、説明できない
3. 知らない
4. その他 ()

-3 ノーマライゼーション

番号記入欄

1. 知っており、大体説明できる
2. 聞いたことはあるが、説明できない
3. 知らない
4. その他 ()

障がい者や高齢者が困っている場面での行動についてお伺いします

問21 あなたが「ここ1～2年の間に、外出先で、障がい者や高齢者が困っている場面を見かけたことがあるか」お聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. ある 2. ない

問22 前の **問21** で「1. ある」を選んだ方にお聞きします。「2. ない」を選んだ方は下の **問25** へお進みください。
 その時にあなたはどのようにしましたか。
 あてはまるもの 1つ 選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | |
|--------------------------------|
| 1. 手助けした (相手から求められて手助けした場合を含む) |
| 2. 何もしなかった |
| 3. その他 () |

--

問23 前記の **問22** で「1. 手助けした」を選んだ方にお聞きします。「2. 何もしなかった」を選んだ方は 下の **問24** へお進みください。
 具体的にどのような手助けをしましたか。
 あてはまるものを すべて 選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | |
|-----------------------------|
| 1. 荷物を持った |
| 2. 横断歩道や通行の困難な道路で誘導したり手を引いた |
| 3. 階段の登り降りに手を貸した |
| 4. 電車やバスの乗り降りに手を貸した |
| 5. 車いすを押ししたり持ち上げたりするのを手伝った |
| 6. 乗り物で席を譲った |
| 7. 道や場所を教えた |
| 8. 扉を開けたり閉めたりした |
| 9. 落としたものを拾った |
| 10. その他 () |

問24 前の **問22** で「3. 何もしなかった」を選んだ方にお聞きします。
 その理由は何ですか。
 あてはまるものを すべて 選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

- | |
|-------------------------------|
| 1. 急いでいた |
| 2. 自分自身も困っていて、手助けをできる状態ではなかった |
| 3. 自分でなくてもほかの人が手助けすると思った |
| 4. 恥ずかしい気持ちがあった |
| 5. 自分ひとりではできないと思った |
| 6. どのように手助けしたらいいか分からなかった |
| 7. 手助けしていいものなのか分からなかった |
| 8. 手助けしたくなかった |
| 9. その他 () |

問25 「障がい者や高齢者が困っている場面などで、市民が手助けする行動を促進させていくためにはどのような取組が有効か」お聞きします。
特に有効だと思うものを2つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 児童生徒と高齢者や障がい者との交流
2. 学校教育での指導
3. 街頭キャンペーンやイベントの開催
4. ボランティアの育成
5. ホームページ等によるバリアフリー情報の提供
6. 広報やポスターなどによる啓発活動
7. セミナーやシンポジウムの開催
8. その他 ()

問26 商業施設や公共施設にある「車いすのマークのついた駐車スペース」の利用状況をどのように感じているかお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 車いす使用者のみが利用している
2. 車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人のみが利用している
3. 車いす使用者や高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにならないが、一般の車も利用している
4. 車いす使用者および高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになるほど、一般の車が利用している
5. わからない

--

問27 ここ最近、高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用も可能な「多目的トイレ（みんなのトイレ）^{※3}」が増えましたが、その利用状況をどのように感じているかお聞きします。
あてはまるものを1つ選んで右の欄に番号を記入ください。

番号記入欄

1. 高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げにはなっていない
2. 高齢者、障がい者、妊婦等、歩行困難な人の利用の妨げになっている
3. わからない

--

多目的トイレ（みんなのトイレ）^{※3}

車いす使用者対応設備やオストメイト（人工肛門や人工膀胱の排泄口を造設した人）対応設備のほか、子ども連れにはおむつ換えシートやベビーチェアなどが設置されたトイレ

自由意見 秋田市の「バリアフリーの取組」について、ご意見やご提案がありましたら、下記に記入ください。

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました

『都市計画』および『バリアフリー』
に関するアンケート調査
調査結果報告書

平成28年11月

作成 秋田市都市整備部都市計画課

〒010-8560

秋田市山王一丁目1番1号

TEL 018-888-5764 FAX 018-888-5763

e-mail : ro-urim@city.akita.akita.jp